## ２　第 11 次緑地環境診断調査結果との比較における緑被地増減箇所に関する詳細調査

300 ㎡以上の緑被地について、経年的な増減要因を把握するために、「横浜市第 11 次緑地環境診断調査」の成果と比較し、緑被地の増加箇所・減少箇所の要因の整理と集計を行った。

### （１）　緑被地増減要因の分類

第 11 次調査時点の緑被地と第２章１項で整備した 300㎡以上の緑被地（以下略、第 12 次調査という）を重ね合わせて緑被地の増減箇所を抽出し、オルソ画像を用いた目視判読により要因を分類した。なお、同一の緑被地の増減箇所内に複数の増減要因（一戸建てと道路用地など）が含まれる場合には優占するものを選択した。増減要因の分類項目ごとの内容及び留意点を図表 2-2-1 に、分類項目ごとのサンプル画像を図表 2-2-2、図表 2-2-3 に示す。

**図表　2-2-1　増減要因の分類項目ごとの内容及び留意点**

| 分類項目 | | | 内容／分類する際の留意点 |
|---|---|---|---|
| 増加要因 | 1 | 植生の生長/一団化 | 建物の取り壊し後に植生が増えた箇所や第 11 次調査時に 300 ㎡未満の疎な緑被地が生長により一団性をもった緑被地となった箇所を分類した。 |
| | 2 | 精度向上 | 第 11 次調査時点では、建物の影や倒れ込みなどによって抽出されていなかった箇所を分類した。 |
| | 3 | 緑化等 | 第 11 次調査時点で緑化により新しく抽出された箇所を分類した（農業用ハウスが撤去された農地を含む）。 |
| | 4 | その他 | 埋め立て後の植生やエリアの面積が小さすぎて判読が困難な箇所を分類した。 |
| 減少要因 | 1 | 戸建住宅 | 戸建住宅に変化した箇所を分類した。 |
| | 2 | 集合住宅 | 集合住宅（アパート、マンションなど）に変化した箇所を分類した。 |
| | 3 | 空き地・造成・建設工事中 | 宅地造成中や道路工事中の箇所などを分類した。 |
| | 4 | 工場・事業施設 | 工場、事業所、商業施設などに変化した箇所を分類した。 |
| | 5 | 道路整備 | 道路に変化した箇所を分類した。なお、第 11 次調査時点で既に供用を開始している道路を対象とした。 |
| | 6 | グラウンド・広場 | グラウンドや広場に変化した箇所を分類した。 |
| | 7 | 学校・公共施設 | 学校、公共施設（福祉施設など）に変化した箇所を分類した。 |
| | 8 | 駐車場・駐輪場 | コインパーキング、共同駐車場などの青空駐車場に変化した箇所を分類した。ただし、集合住宅の付帯施設としての駐車場などは各施設区分を優先した。 |
| | 9 | コンクリートのり面 | コンクリートのり面に変化した箇所を分類した。 |
| | 10 | 墓地 | 墓地に変化した箇所を分類した。 |
| | 11 | 資材置場 | 資材置き場に変化した箇所を分類した。 |
| | 12 | 農業用ハウス・作業小屋 | 農業用ハウス、作業小屋に変化した箇所を分類した。 |
| | 13 | ソーラーパネル | ソーラーパネルに変化した箇所を分類した。 |
| | 14 | 水域（用水路、河川、池） | 第 11 次調査時点で新規に整備されたものを対象とした。 |
| | 15 | 精度向上 | 第 11 次調査時点で人工芝など、本来緑被地でなかった箇所が減少と判断されたものを分類した。 |
| | 16 | その他 | 鉄塔、防火水槽など上記に該当しないものやエリアの面積が小さすぎて判読が困難なものを分類した。 |

**出所：アジア航測株式会社が作成**

図表　2-2-2　増加要因の分類イメージ

| 1. 植生の成長/一団化 | 戸塚区小雀町 |
|---|---|
| 第 11 次調査 | 第 12 次調査 |

| 2. 精度向上（影、建物の倒れ込み修正） | 西区みなとみらい 6 丁目 |
|---|---|
| 第 11 次調査 | 第 12 次調査 |

| 3. 緑化等 | 西区みなとみらい 5 丁目 |
|---|---|
| 第 11 次調査 | 第 12 次調査 |

| 4. その他（埋立地等） | 中区南本牧 |
|---|---|
| 第 11 次調査 | 第 12 次調査 |

出所：アジア航測株式会社が作成

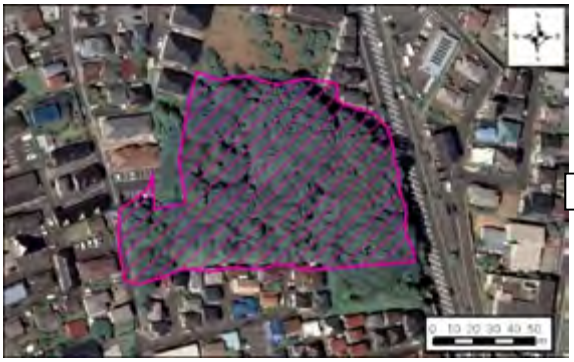
図表　2-2-3(1/4)　減少要因の分類イメージ

| 1. 戸建住宅 | 鶴見区駒岡４丁目 |
|---|---|
| 第 11 次調査 | 第 12 次調査 |

| 2. 集合住宅 | 港南区野庭町 |
|---|---|
| 第 11 次調査 | 第 12 次調査 |

| 3. 空き地・造成・建設工事中 | 泉区和泉町 |
|---|---|
| 第 11 次調査 | 第 12 次調査 |

| 4. 工場・事業施設 | 瀬谷区下瀬谷２丁目 |
|---|---|
| 第 11 次調査 | 第 12 次調査 |



出所：アジア航測株式会社が作成

図表　2-2-3(2/4)　減少要因の分類イメージ

| 5. 道路整備 | 港北区新吉田３丁目 |
|---|---|
| 第 11 次調査 | 第 12 次調査 |

| 6. グラウンド・広場 | 栄区笠間２丁目 |
|---|---|
| 第 11 次調査 | 第 12 次調査 |

| 7. 学校・公共施設 | 泉区緑園５丁目 |
|---|---|
| 第 11 次調査 | 第 12 次調査 |

| 8. 駐車場・駐輪場 | 保土ヶ谷区藤塚町 |
|---|---|
| 第 11 次調査 | 第 12 次調査 |

出所：アジア航測株式会社が作成

図表　2-2-3(3/4)　減少要因の分類イメージ

| 9. コンクリートのり面 | 戸塚区上柏尾町 |
|---|---|
| 第 11 次調査 | 第 12 次調査 |

| 10. 墓地 | 旭区四季美台 |
|---|---|
| 第 11 次調査 | 第 12 次調査 |

| 11. 資材置き場 | 旭区　上川井町 |
|---|---|
| 第 11 次調査 | 第 12 次調査 |

| 12. 農業用ハウス・作業小屋 | 保土ヶ谷区仏向町 |
|---|---|
| 第 11 次調査 | 第 12 次調査 |

出所：アジア航測株式会社が作成

図表　2-2-3(4/4)　減少要因の分類イメージ

| 13. ソーラーパネル | 中区錦町 |
|---|---|
| 第 11 次調査 | 第 12 次調査 |

| 14. 水域（用水路、河川、池） | 都筑区早渕３丁目 |
|---|---|
| 第 11 次調査 | 第 12 次調査 |

| 15. 精度向上 | 鶴見区北寺尾３丁目 |
|---|---|
| 第 11 次調査 | 第 12 次調査 |

| 16. その他 | 神奈川区星野町 |
|---|---|
| 第 11 次調査 | 第 12 次調査 |

出所：アジア航測株式会社が作成

## （2）　緑被地増減要因の集計・整理

### ア　市全域の集計結果

市全域における増加、減少要因・緑被地別の面積、箇所数、1 箇所当たりの面積の平均値を集計した。集計結果を図表 2-2-4 に、増減箇所の分布図を図表 2-2-5 に示す。

第 11 次調査から第 12 次調査において、**横浜市全域の緑被地面積は、増加箇所が 125ha、減少箇所が 420ha で、差し引き 295ha 減少していた。**

「戸建住宅」による比較的小規模な“樹林地”、“草地”の減少箇所が多い一方で、「空き地・造成・建設工事中」や「工場・事業施設」などによる大規模な“草地”、“農地”の減少がみられた。また、「駐車場・駐輪場」による比較的小規模な“農地”の減少もみられた。

**図表　2-2-4　市全域における増減要因別・緑被地別の集計結果**

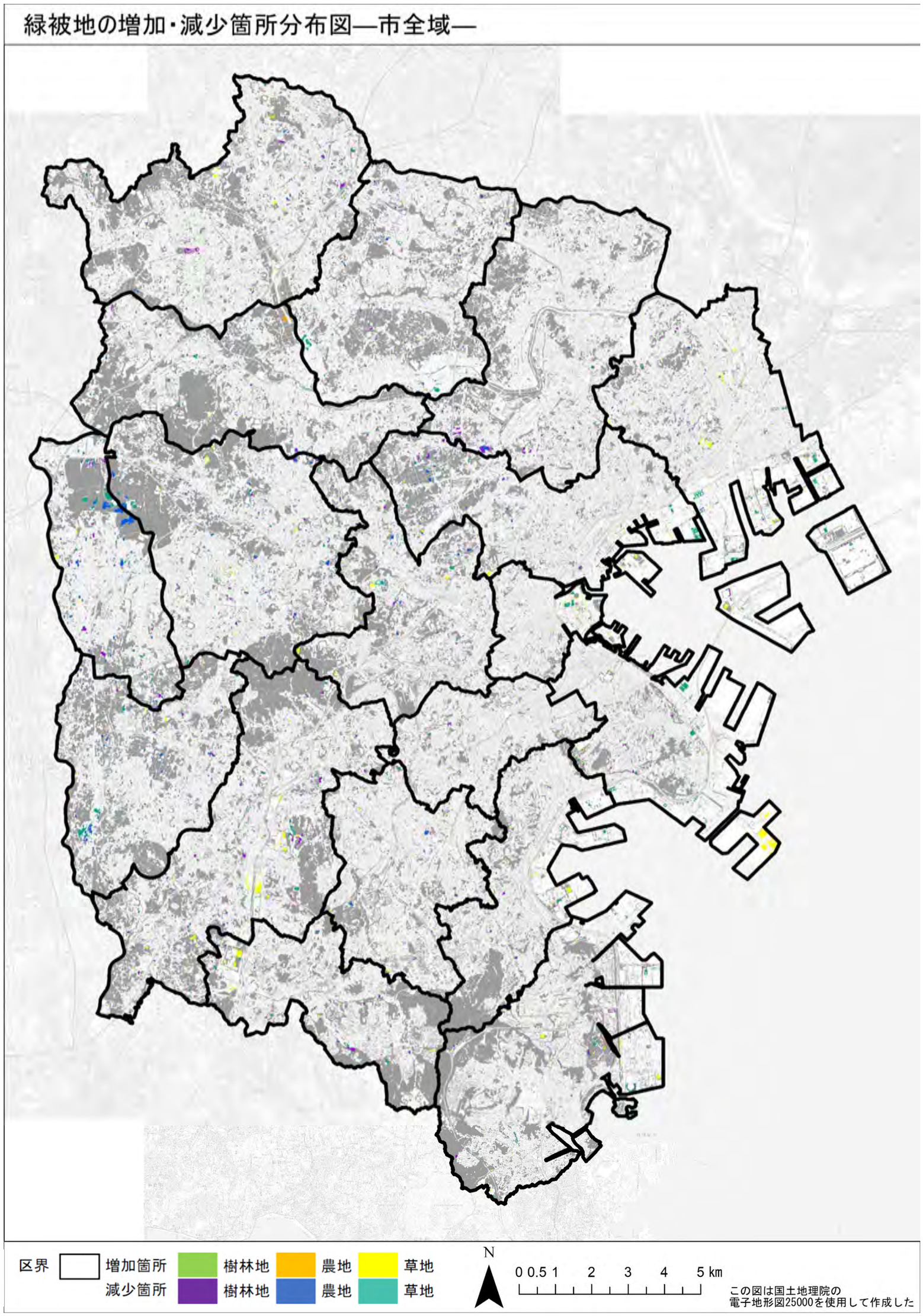
| 分類項目 | | | 増減箇所の緑被地面積（ha） | | | | 箇所数（箇所） | | | | 1 箇所当たりの面積の平均値（㎡） | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 樹林地 | 草地 | 農地 | 合計 | 樹林地 | 草地 | 農地 | 合計 | 樹林地 | 草地 | 農地 | 合計 |
| 増加要因 | 1 | 植生の生長/一団化 | 14.2 | 76.9 | 0.0 | 91.2 (72.8%) | 248 | 625 | 0 | 873 | 574 | 1,231 | | 1,044 |
| | 2 | 精度向上 | 3.4 | 2.3 | 2.4 | 8.1 (6.5%) | 68 | 40 | 35 | 143 | 501 | 570 | 690 | 567 |
| | 3 | 緑化等 | 1.3 | 8.1 | 4.5 | 13.9 (11.1%) | 8 | 40 | 39 | 87 | 1,573 | 2,033 | 1,154 | 1,597 |
| | 4 | その他 | 0.0 | 12.0 | 0.0 | 12.0 (9.6%) | 0 | 17 | 1 | 18 | | 7,057 | 163 | 6,674 |
| | 合計 | | 18.9 | 99.3 | 6.9 | 125.2 (-) | 324 | 722 | 75 | 1,121 | 583 | 1,376 | 924 | 1,117 |
| 減少要因 | 1 | 戸建住宅 | 31.4 | 28.5 | 29.1 | 89.0 (21.2%) | 545 | 455 | 380 | 1,380 | 576 | 626 | 766 | 645 |
| | 2 | 集合住宅 | 5.1 | 5.4 | 4.9 | 15.5 (3.7%) | 75 | 65 | 52 | 192 | 685 | 833 | 943 | 805 |
| | 3 | 空き地・造成・建設工事中 | 46.0 | 58.6 | 33.5 | 138.1 (32.9%) | 377 | 422 | 159 | 958 | 1,220 | 1,389 | 2,105 | 1,441 |
| | 4 | 工場・事業施設 | 16.1 | 45.6 | 12.5 | 74.3 (17.7%) | 140 | 252 | 99 | 491 | 1,151 | 1,811 | 1,262 | 1,512 |
| | 5 | 道路整備 | 4.7 | 7.5 | 1.8 | 13.9 (3.3%) | 96 | 114 | 29 | 239 | 489 | 655 | 616 | 584 |
| | 6 | グラウンド・広場 | 1.7 | 8.7 | 0.9 | 11.2 (2.7%) | 27 | 51 | 5 | 83 | 616 | 1,703 | 1,773 | 1,354 |
| | 7 | 学校・公共施設 | 1.8 | 4.2 | 2.5 | 8.5 (2.0%) | 23 | 21 | 15 | 59 | 780 | 2,004 | 1,636 | 1,434 |
| | 8 | 駐車場・駐輪場 | 4.8 | 7.3 | 14.3 | 26.5 (6.3%) | 79 | 107 | 170 | 356 | 614 | 683 | 841 | 743 |
| | 9 | コンクリートのり面 | 6.9 | 2.9 | 0.1 | 9.9 (2.3%) | 62 | 28 | 1 | 91 | 1,109 | 1,039 | 692 | 1,083 |
| | 10 | 墓地 | 0.4 | 0.3 | 0.3 | 1.0 (0.2%) | 8 | 3 | 2 | 13 | 499 | 1,100 | 1,314 | 763 |
| | 11 | 資材置き場 | 0.8 | 2.8 | 5.4 | 9.0 (2.2%) | 17 | 34 | 43 | 94 | 476 | 836 | 1,254 | 962 |
| | 12 | 農業用ハウス・作業小屋 | 0.0 | 0.2 | 6.1 | 6.4 (1.5%) | 3 | 3 | 69 | 75 | 161 | 709 | 888 | 852 |
| | 13 | ソーラーパネル | 0.1 | 0.5 | 0.2 | 0.8 (0.2%) | 2 | 3 | 3 | 8 | 586 | 1,731 | 571 | 1,010 |
| | 14 | 水域（用水路、河川、池） | 0.1 | 0.9 | 0.0 | 1.0 (0.2%) | 1 | 12 | 0 | 13 | 653 | 763 | | 755 |
| | 15 | 精度向上 | 3.9 | 7.9 | 0.4 | 12.1 (2.9%) | 103 | 87 | 7 | 197 | 375 | 910 | 521 | 617 |
| | 16 | その他 | 0.3 | 2.1 | 0.1 | 2.6 (0.6%) | 10 | 19 | 7 | 36 | 316 | 1,128 | 162 | 715 |
| | 合計 | | 124.1 | 183.6 | 111.9 | 419.7 (-) | 1,568 | 1,676 | 1,041 | 4,285 | 792 | 1,096 | 1,075 | 979 |

※　凡例：変化量／少ない　多い

※（　）内の数値は、増加・減少要因の合計で割った値

出所：アジア航測株式会社が作成

図表　2-2-5　市全域における緑被地の増加・減少箇所の分布




出所：アジア航測株式会社が作成

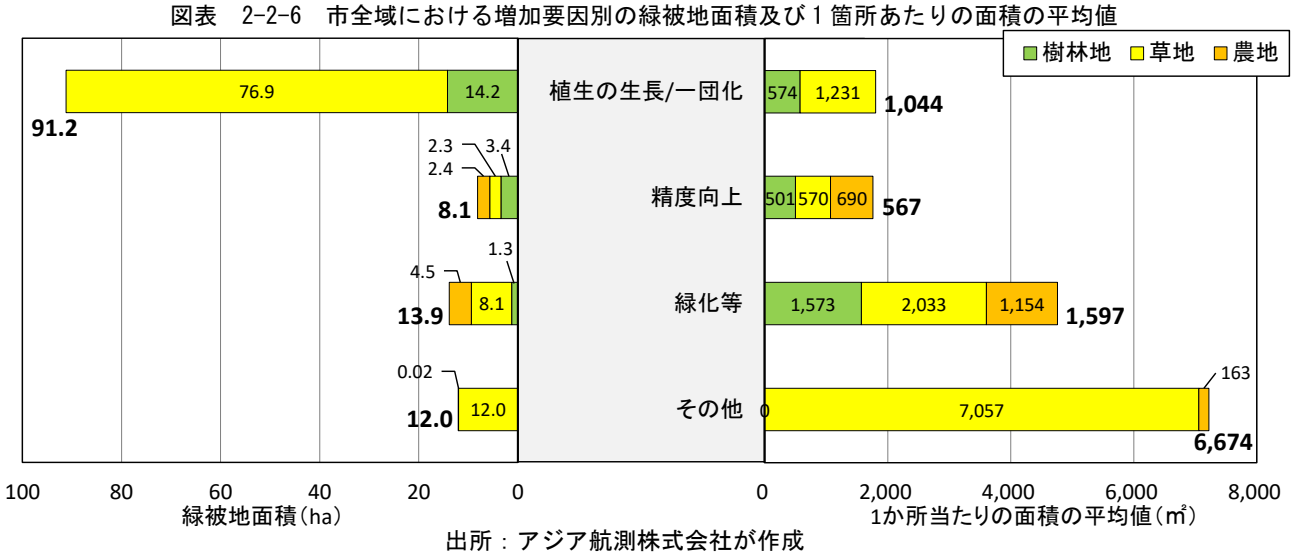
①増加要因

市全域における増加要因別の緑被地面積及び 1 箇所あたりの面積の平均値を図表 2-2-6 に示す。

増加要因別の緑被地面積は、「植生の生長/一団化」が 91.2ha と最も多く、全体の 73%を占めていた。次いで、「緑化等」が 13.9ha(11%)、「その他」が 12.0ha(10%)であった。緑被地別は、「植生の生長/一団化」による“草地”の増加が最も大きく 76.9ha、次いで「植生の生長/一団化」による“樹林地”の増加が 14.2ha、「その他」による“草地”の増加が 12.0ha であった。なお、「その他」による“草地”の増加箇所については、すべてが中区における埋立地に分布していた（詳細は第 2 章イ④を参照）。

増加箇所の 1 箇所当たりの平均面積を見ると、“草地”の「緑化等」が最も大きく 2,033 ㎡、次いで“樹林地”の「緑化等」が 1,573 ㎡、“草地”の「植生の生長/一団化」が 1,231 ㎡であった。

図表　2-2-6　市全域における増加要因別の緑被地面積及び 1 箇所あたりの面積の平均値




出所：アジア航測株式会社が作成

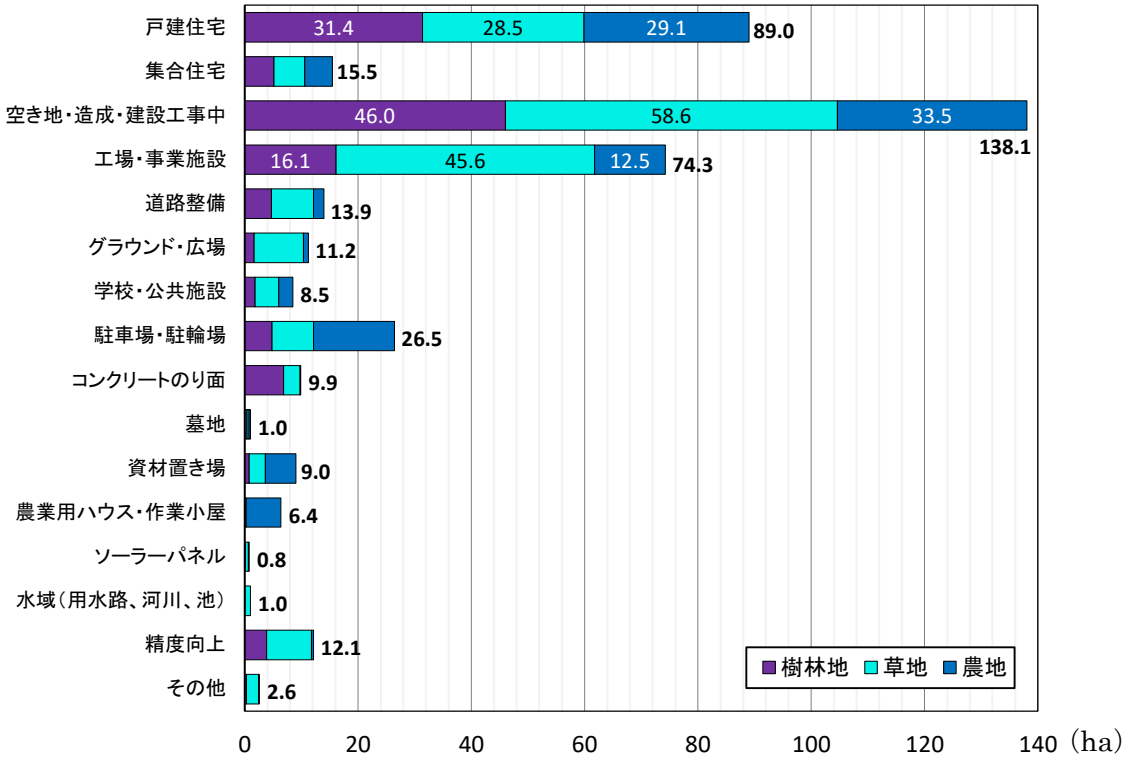
②減少要因

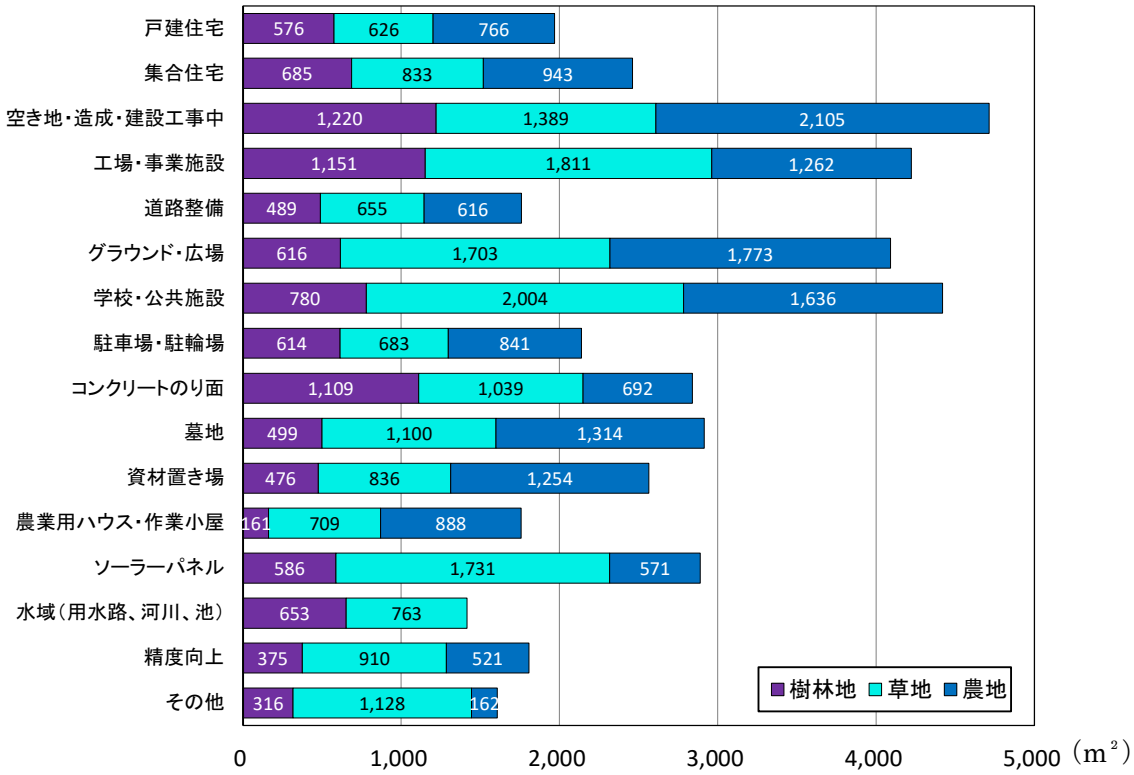
市全域における減少要因別の緑被地面積及び 1 箇所当たりの面積の平均値を図表 2-2-7 に示す。

減少要因別の緑被地面積は、「空地・造成・建設工事中」が 138.1ha(32.9%)と最も多く、次いで「戸建住宅」が 89.0ha(21.2%)、「工場・事業施設」が 74.3ha(17.7%)であった。上位 2 つの減少要因で、減少箇所の緑被地面積の半分以上を占めていた。緑被地別は、「空地・造成・建設工事中」による“草地”の減少が最も大きく 58.6ha、次いで「空地・造成・建設工事中」による“樹林地”の減少が 46.0ha、「工場・事業施設」による“草地”の減少が 45.6ha であった。

減少箇所の 1 箇所当たりの平均面積を見ると、“農地”の「空地・造成・建設工事中」が最も大きく 2,105 ㎡、次いで“草地”の「学校・公共施設」が 2,004 ㎡、“草地”の「工場・事業施設」が 1,811 ㎡であった。

図表　2-2-7　減少要因別の緑被地面積：ha（上）及び 1 箇所あたりの面積の平均値：㎡（下）




出所：アジア航測株式会社が作成

### イ　18 区別の集計結果

横浜市の 18 区における増加、減少要因別の緑被地面積を集計した。集計結果を図表 2-2-8～9 に示す。また、18 区の増加、減少要因別・緑被地別の集計結果は、①～⑱に整理した。

増加箇所における緑被地面積は、鶴見区の植生の成長/一団化（13.8ha）が最も大きく、次いで、中区のその他（12.0ha）、戸塚区の植生の成長/一団化（9.3ha）であった。

一方で、減少箇所における緑被地面積は、瀬谷区の空き地・造成・建設工事中（30.0ha）が最も大きく、次いで、戸塚区の空き地・造成・建設工事中（12.7ha）、青葉区の戸建住宅（11.2ha）であった。

図表　2-2-8　18 区における増加要因別の緑被地面積

| 区別 | 増加要因別の緑被地面積(ha) | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | 1 | 2 | 3 | 4 | |
| | 植生の生長/一団化 | 精度向上 | 緑化等 | その他 | 合計 |
| 鶴見区 | 13.8（0.4%） | 0.6（0.0%） | 0.5（0.0%） | 0.0（0.0%） | 15.0（0.5%） |
| 神奈川区 | 5.8（0.2%） | 0.6（0.0%） | 0.1（0.0%） | 0.0（0.0%） | 6.6（0.3%） |
| 西区 | 1.8（0.3%） | 1.2（0.2%） | 0.8（0.1%） | 0.0（0.0%） | 3.7（0.5%） |
| 中区 | 4.1（0.2%） | 0.7（0.0%） | 0.0（0.0%） | 12.0（0.6%） | 16.9（0.8%） |
| 南区 | 2.4（0.2%） | 0.3（0.0%） | 0.1（0.0%） | 0.0（0.0%） | 2.8（0.2%） |
| 港南区 | 4.2（0.2%） | 0.6（0.0%） | 0.0（0.0%） | 0.0（0.0%） | 4.8（0.2%） |
| 保土ケ谷区 | 6.5（0.3%） | 0.1（0.0%） | 0.2（0.0%） | 0.0（0.0%） | 6.8（0.3%） |
| 旭区 | 5.8（0.2%） | 0.2（0.0%） | 1.2（0.0%） | 0.0（0.0%） | 7.2（0.2%） |
| 磯子区 | 4.7（0.2%） | 0.4（0.0%） | 0.1（0.0%） | 0.0（0.0%） | 5.2（0.3%） |
| 金沢区 | 5.8（0.2%） | 0.2（0.0%） | 0.6（0.0%） | 0.0（0.0%） | 6.6（0.2%） |
| 港北区 | 1.7（0.1%） | 0.2（0.0%） | 0.1（0.0%） | 0.0（0.0%） | 2.0（0.1%） |
| 緑区 | 1.9（0.1%） | 0.1（0.0%） | 1.8（0.1%） | 0.0（0.0%） | 3.8（0.1%） |
| 青葉区 | 7.2（0.2%） | 0.7（0.0%） | 0.9（0.0%） | 0.0（0.0%） | 8.9（0.3%） |
| 都筑区 | 3.1（0.1%） | 0.4（0.0%） | 0.2（0.0%） | 0.0（0.0%） | 3.7（0.1%） |
| 戸塚区 | 9.3（0.3%） | 0.3（0.0%） | 6.0（0.2%） | 0.0（0.0%） | 15.5（0.4%） |
| 栄区 | 8.0（0.4%） | 0.1（0.0%） | 0.1（0.0%） | 0.0（0.0%） | 8.3（0.4%） |
| 泉区 | 3.0（0.1%） | 0.9（0.0%） | 0.8（0.0%） | 0.0（0.0%） | 4.7（0.2%） |
| 瀬谷区 | 2.1（0.1%） | 0.4（0.0%） | 0.2（0.0%） | 0.0（0.0%） | 2.8（0.2%） |

※（　）内は令和 5 年度末時点の値（出典：第 103 回横浜市統計書）に対する増減面積の割合を示す

※表中の青字は、区別、増加要因別に変化量が大きかった 1～3 位を示す

出所：アジア航測株式会社が作成

## 図表　2-2-9　18 区における減少要因別の緑被地面積

| 区別 | 減少要因別の緑被地面積(ha) | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | |
| | 戸建住宅 | 集合住宅 | 空き地・造成・建設工事中 | 工場・事業施設 | 道路整備 | グラウンド・広場 | 学校・公共施設 | 駐車場・駐輪場 | コンクリートのり面 | 墓地 | 資材置き場 | 農業用ハウス・作業小屋 | ソーラーパネル | 水域（用水路、河川、池） | 精度向上 | その他 | 合計 |
| 鶴見区 | 3.4（0.1%） | 0.4（0.0%） | 8.5（0.3%） | 10.9（0.3%） | 0.8（0.0%） | 0.4（0.0%） | 0.1（0.0%） | 0.6（0.0%） | 0.3（0.0%） | 0.0（0.0%） | 0.5（0.0%） | 0.0（0.0%） | 0.0（0.0%） | 0.0（0.0%） | 2.9（0.1%） | 0.9（0.0%） | 29.6（0.9%） |
| 神奈川区 | 3.9（0.2%） | 1.1（0.0%） | 6.1（0.3%） | 8.2（0.3%） | 0.8（0.0%） | 0.2（0.0%） | 0.1（0.0%） | 1.3（0.1%） | 0.1（0.0%） | 0.0（0.0%） | 0.7（0.0%） | 1.0（0.0%） | 0.0（0.0%） | 0.0（0.0%） | 0.0（0.0%） | 0.1（0.0%） | 23.6（1.0%） |
| 西区 | 0.2（0.0%） | 0.0（0.0%） | 2.3（0.3%） | 3.0（0.4%） | 0.3（0.0%） | 0.1（0.0%） | 0.1（0.0%） | 0.1（0.0%） | 0.0（0.0%） | 0.0（0.0%） | 0.0（0.0%） | 0.0（0.0%） | 0.0（0.0%） | 0.0（0.0%） | 0.1（0.0%） | 0.0（0.0%） | 6.1（0.9%） |
| 中区 | 1.3（0.1%） | 1.3（0.1%） | 7.1（0.3%） | 3.0（0.1%） | 1.6（0.1%） | 0.6（0.0%） | 1.8（0.1%） | 0.0（0.0%） | 1.2（0.1%） | 0.0（0.0%） | 0.2（0.0%） | 0.0（0.0%） | 0.0（0.0%） | 0.0（0.0%） | 3.0（0.1%） | 0.2（0.0%） | 21.4（1.0%） |
| 南区 | 1.0（0.1%） | 0.1（0.0%） | 1.0（0.1%） | 0.5（0.0%） | 0.1（0.0%） | 0.0（0.0%） | 0.7（0.1%） | 0.1（0.0%） | 0.9（0.1%） | 0.0（0.0%） | 0.0（0.0%） | 0.0（0.0%） | 0.0（0.0%） | 0.0（0.0%） | 0.1（0.0%） | 0.0（0.0%） | 4.6（0.4%） |
| 港南区 | 5.5（0.3%） | 1.6（0.1%） | 3.0（0.2%） | 1.1（0.1%） | 0.3（0.0%） | 0.3（0.0%） | 1.1（0.1%） | 0.5（0.0%） | 1.0（0.1%） | 0.0（0.0%） | 0.2（0.0%） | 0.1（0.0%） | 0.0（0.0%） | 0.1（0.0%） | 2.5（0.1%） | 0.1（0.0%） | 17.5（0.9%） |
| 保土ケ谷区 | 5.8（0.3%） | 0.2（0.0%） | 5.9（0.3%） | 3.2（0.1%） | 0.6（0.0%） | 0.2（0.0%） | 0.5（0.0%） | 0.7（0.0%） | 1.1（0.1%） | 0.0（0.0%） | 0.1（0.0%） | 0.1（0.0%） | 0.2（0.0%） | 0.1（0.0%） | 0.2（0.0%） | 0.0（0.0%） | 19.0（0.9%） |
| 旭区 | 7.7（0.2%） | 0.5（0.0%） | 9.9（0.3%） | 3.5（0.1%） | 1.0（0.0%） | 1.9（0.1%） | 0.3（0.0%） | 1.8（0.1%） | 0.0（0.0%） | 0.7（0.0%） | 3.1（0.1%） | 0.6（0.0%） | 0.0（0.0%） | 0.2（0.0%） | 2.2（0.1%） | 0.0（0.0%） | **33.5**（1.0%） |
| 磯子区 | 3.6（0.2%） | 0.8（0.0%） | 4.1（0.2%） | 5.2（0.3%） | 0.5（0.0%） | 0.7（0.0%） | 0.0（0.0%） | 0.8（0.0%） | 1.1（0.1%） | 0.0（0.0%） | 0.3（0.0%） | 0.0（0.0%） | 0.0（0.0%） | 0.0（0.0%） | 0.0（0.0%） | 0.0（0.0%） | 17.2（0.9%） |
| 金沢区 | 1.9（0.1%） | 0.1（0.0%） | 8.4（0.3%） | 7.0（0.2%） | 1.1（0.0%） | 0.3（0.0%） | 0.1（0.0%） | 1.6（0.1%） | 2.1（0.1%） | 0.0（0.0%） | 0.1（0.0%） | 0.2（0.0%） | 0.0（0.0%） | 0.0（0.0%） | 0.0（0.0%） | 0.2（0.0%） | 23.2（0.8%） |
| 港北区 | 8.0（0.3%） | 1.2（0.0%） | 8.6（0.3%） | 2.1（0.1%） | 0.9（0.0%） | 0.2（0.0%） | 0.2（0.0%） | 3.2（0.1%） | 0.1（0.0%） | 0.0（0.0%） | 0.4（0.0%） | 0.8（0.0%） | 0.1（0.0%） | 0.1（0.0%） | 0.3（0.0%） | 0.0（0.0%） | 26.4（0.8%） |
| 緑区 | 5.8（0.2%） | 0.8（0.0%） | 3.7（0.1%） | 1.2（0.0%） | 0.3（0.0%） | 1.1（0.0%） | 0.1（0.0%） | 2.0（0.1%） | 0.0（0.0%） | 0.0（0.0%） | 0.1（0.0%） | 0.0（0.0%） | 0.0（0.0%） | 1.0（0.0%） | 0.0（0.0%） | 0.0（0.0%） | 16.1（0.6%） |
| 青葉区 | **11.2**（0.3%） | 1.0（0.0%） | 7.4（0.2%） | 4.8（0.1%） | 1.1（0.0%） | 1.3（0.0%） | 0.2（0.0%） | 1.0（0.0%） | 0.2（0.0%） | 0.0（0.0%） | 0.8（0.0%） | 0.6（0.0%） | 0.0（0.0%） | 0.0（0.0%） | 0.2（0.0%） | 0.0（0.0%） | 29.7（0.8%） |
| 都筑区 | 7.1（0.3%） | 1.1（0.0%） | 3.1（0.1%） | 6.5（0.2%） | 0.4（0.0%） | 0.6（0.0%） | 0.9（0.0%） | 5.2（0.2%） | 0.1（0.0%） | 0.0（0.0%） | 0.7（0.0%） | 0.8（0.0%） | 0.0（0.0%） | 0.5（0.0%） | 0.0（0.0%） | 0.1（0.0%） | 27.0（1.0%） |
| 戸塚区 | 7.0（0.2%） | 2.5（0.1%） | **12.7**（0.4%） | 3.1（0.1%） | 1.8（0.0%） | 2.1（0.1%） | 0.5（0.0%） | 2.3（0.1%） | 1.3（0.0%） | 0.1（0.0%） | 0.4（0.0%） | 0.9（0.0%） | 0.0（0.0%） | 0.0（0.0%） | 0.2（0.0%） | 0.0（0.0%） | **34.8**（1.0%） |
| 栄区 | 1.7（0.1%） | 0.5（0.0%） | 9.3（0.5%） | 0.6（0.0%） | 0.4（0.0%） | 0.8（0.0%） | 0.2（0.0%） | 0.1（0.0%） | 0.3（0.0%） | 0.0（0.0%） | 0.3（0.0%） | 0.2（0.0%） | 0.0（0.0%） | 0.0（0.0%） | 0.3（0.0%） | 0.0（0.0%） | 14.6（0.8%） |
| 泉区 | 6.5（0.3%） | 1.6（0.1%） | 6.9（0.3%） | 6.6（0.3%） | 1.6（0.1%） | 0.5（0.0%） | 1.6（0.1%） | 2.0（0.1%） | 0.0（0.0%） | 0.1（0.0%） | 1.0（0.0%） | 0.9（0.0%） | 0.4（0.0%） | 0.0（0.0%） | 0.2（0.0%） | 0.0（0.0%） | 30.0（1.3%） |
| 瀬谷区 | 7.4（0.4%） | 0.7（0.0%） | **30.0**（1.8%） | 3.6（0.2%） | 0.4（0.0%） | 0.0（0.0%） | 0.0（0.0%） | 3.1（0.2%） | 0.0（0.0%） | 0.0（0.0%） | 0.2（0.0%） | 0.2（0.0%） | 0.0（0.0%） | 0.0（0.0%） | 0.0（0.0%） | 0.0（0.0%） | **45.7**（2.7%） |

※（　）内は令和 5 年度末時点の値（出典：第 103 回横浜市統計書）に対する増減面積の割合を示す

※表中の赤字部分は、区別、減少要因別に変化量が大きかった 1～3 位を示す

出所：アジア航測株式会社が作成

**①鶴見区**

鶴見区における増減要因別、緑被地別の分類結果を集計した（図表 2-2-10）。また、鶴見区の緑被地の増減箇所の分布状況は図表 2-2-11 の通りであった。第 11 次調査から鶴見区の緑被地は、増加箇所が 15.0ha、減少箇所が 29.6ha で、差し引き 14.6ha 減少していた。

増加要因別の緑被地面積は、「植生の生長/一団化」が 13.8ha と最も大きく、全体の約 92.3%を占めていた。緑被地別では「植生の生長/一団化」による“草地”の増加が最も大きく 12.5ha であった。増加箇所の 1 箇所当たりの平均面積を見ると、“草地”の「植生の生長/一団化」が最も大きく 1,549 ㎡、次いで“草地”の「精度向上」が 864 ㎡、“樹林地”の「精度向上」が 806 ㎡であった。

減少要因別の緑被地面積は、「工場・事業施設」が 10.9ha と最も大きく、全体の 37.0%を占めていた。緑被地別は、「工場・事業施設」による“草地”の減少が最も大きく 8.1ha であった。減少箇所の 1 箇所当たりの平均値を見ると、“草地”の「資材置き場」が最も大きく 4,864 ㎡、次いで“草地”の「工場・事業施設」が 2,133 ㎡、“草地”の「その他」が 1,831 ㎡であった。

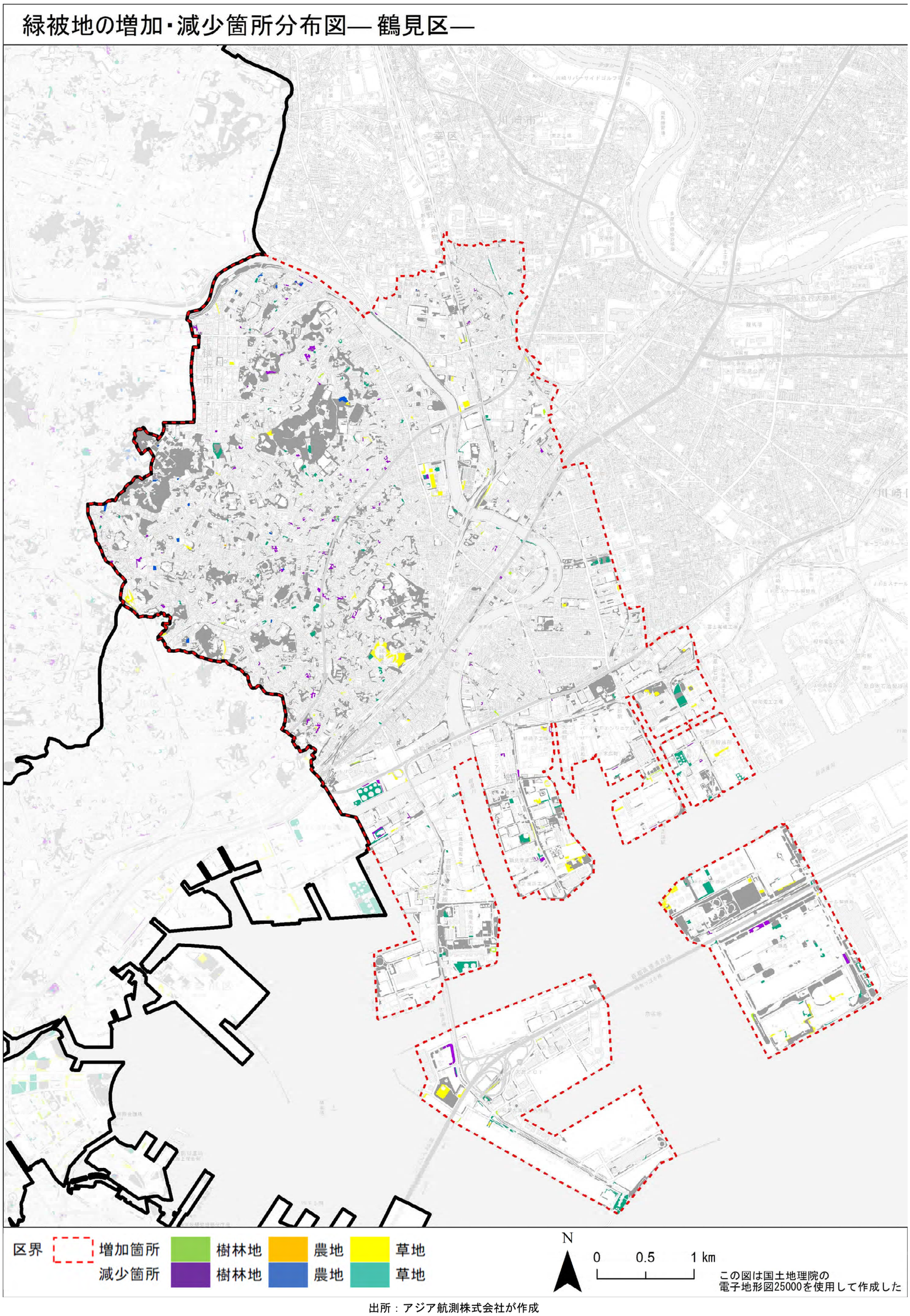
図表　2-2-10　鶴見区における増減要因別・緑被地別の集計結果

| 分類項目 | | | 増減箇所の緑被地面積（ha） | | | | 箇所数（箇所） | | | | 1箇所当たりの面積の平均値（㎡） | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 樹林地 | 草地 | 農地 | 合計 | 樹林地 | 草地 | 農地 | 合計 | 樹林地 | 草地 | 農地 | 合計 |
| 増加要因 | 1 | 植生の生長/一団化 | 1.3 | 12.5 | 0.0 | 13.8 (92.3%) | 29 | 81 | 0 | 110 | 443 | 1,549 | 0 | 1,257 |
| | 2 | 精度向上 | 0.2 | 0.4 | 0.0 | 0.6 (4.2%) | 2 | 5 | 1 | 8 | 806 | 864 | 285 | 777 |
| | 3 | 緑化等 | 0.0 | 0.5 | 0.0 | 0.5 (3.5%) | 0 | 7 | 1 | 8 | 0 | 692 | 424 | 658 |
| | 4 | その他 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 (0.0%) | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 合計 | | 1.4 | 13.5 | 0.1 | 15.0 (-) | 31 | 93 | 2 | 126 | 466 | 1,447 | 355 | 1,189 |
| 減少要因 | 1 | 戸建住宅 | 1.4 | 1.4 | 0.6 | 3.4 (11.5%) | 28 | 25 | 8 | 61 | 491 | 575 | 753 | 560 |
| | 2 | 集合住宅 | 0.3 | 0.0 | 0.0 | 0.4 (1.2%) | 7 | 1 | 0 | 8 | 459 | 334 | 0 | 443 |
| | 3 | 空き地・造成・建設工事中 | 2.7 | 4.9 | 0.9 | 8.5 (28.6%) | 28 | 33 | 6 | 67 | 950 | 1,500 | 1,440 | 1,265 |
| | 4 | 工場・事業施設 | 2.7 | 8.1 | 0.1 | 10.9 (37.0%) | 26 | 38 | 3 | 67 | 1,038 | 2,133 | 454 | 1,633 |
| | 5 | 道路整備 | 0.2 | 0.6 | 0.0 | 0.8 (2.9%) | 6 | 10 | 0 | 16 | 360 | 628 | 0 | 528 |
| | 6 | グラウンド・広場 | 0.2 | 0.2 | 0.0 | 0.4 (1.2%) | 3 | 2 | 0 | 5 | 534 | 995 | 0 | 718 |
| | 7 | 学校・公共施設 | 0.1 | 0.0 | 0.0 | 0.1 (0.2%) | 1 | 1 | 0 | 2 | 511 | 186 | 0 | 349 |
| | 8 | 駐車場・駐輪場 | 0.1 | 0.4 | 0.0 | 0.6 (2.0%) | 4 | 6 | 1 | 11 | 338 | 719 | 134 | 527 |
| | 9 | コンクリートのり面 | 0.0 | 0.2 | 0.0 | 0.3 (0.9%) | 1 | 2 | 0 | 3 | 415 | 1,070 | 0 | 852 |
| | 10 | 墓地 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 (0.1%) | 1 | 0 | 0 | 1 | 163 | 0 | 0 | 163 |
| | 11 | 資材置き場 | 0.0 | 0.5 | 0.0 | 0.5 (1.7%) | 1 | 1 | 0 | 2 | 118 | 4,864 | 0 | 2,491 |
| | 12 | 農業用ハウス・作業小屋 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 (0.0%) | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 13 | ソーラーパネル | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 (0.0%) | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 14 | 水域（用水路、河川、池） | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 (0.0%) | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 15 | 精度向上 | 0.8 | 2.0 | 0.0 | 2.9 (9.7%) | 25 | 23 | 1 | 49 | 338 | 869 | 341 | 587 |
| | 16 | その他 | 0.0 | 0.9 | 0.0 | 0.9 (3.1%) | 0 | 5 | 0 | 5 | 0 | 1,831 | 0 | 1,831 |
| | 合計 | | 8.5 | 19.4 | 1.7 | 29.6 (-) | 131 | 147 | 19 | 297 | 651 | 1,321 | 869 | 997 |

※表中の（　）内は、増加・減少要因別の合計で割った値

出所：アジア航測株式会社が作成

図表　2-2-11　鶴見区における緑被地の増加・減少箇所の分布




出所：アジア航測株式会社が作成

**②神奈川区**

神奈川区における増減要因別、緑被地別の分類結果を集計した（図表 2-2-12）。また、神奈川区の緑被地の増減箇所の分布状況は図表 2-2-13 の通りであった。第 11 次調査から神奈川区の緑被地は、増加箇所が 6.6ha、減少箇所が 23.6ha で、差し引き 17.0ha 減少していた。

増加要因別の緑被地面積は、「植生の生長/一団化」が 5.8ha と最も大きく、全体の約 88.1%を占めていた。緑被地別では「植生の生長/一団化」による“草地”の増加が最も大きく 5.0ha であった。増加箇所の 1 箇所当たりの平均値をみると、“草地”の「植生の生長/一団化」が最も大きく 1,609 ㎡、次いで“農地”の「精度向上」が 881 ㎡、“草地”の「精度向上」が 769 ㎡であった。

減少要因別の緑被地面積は、「工場・事業施設」が 8.2ha と最も大きく、全体の 35.0%を占めていた。緑被地別は、「工場・事業施設」による“草地”の減少が最も大きく 5.6ha であった。減少箇所の 1 箇所当たりの平均値を見ると、“草地”の「工場・事業施設」が最も大きく 4,015 ㎡、次いで“樹林地”の「工場・事業施設」が 1,414 ㎡、“農地”の「農業用ハウス・作業小屋」が 1,379 ㎡であった。

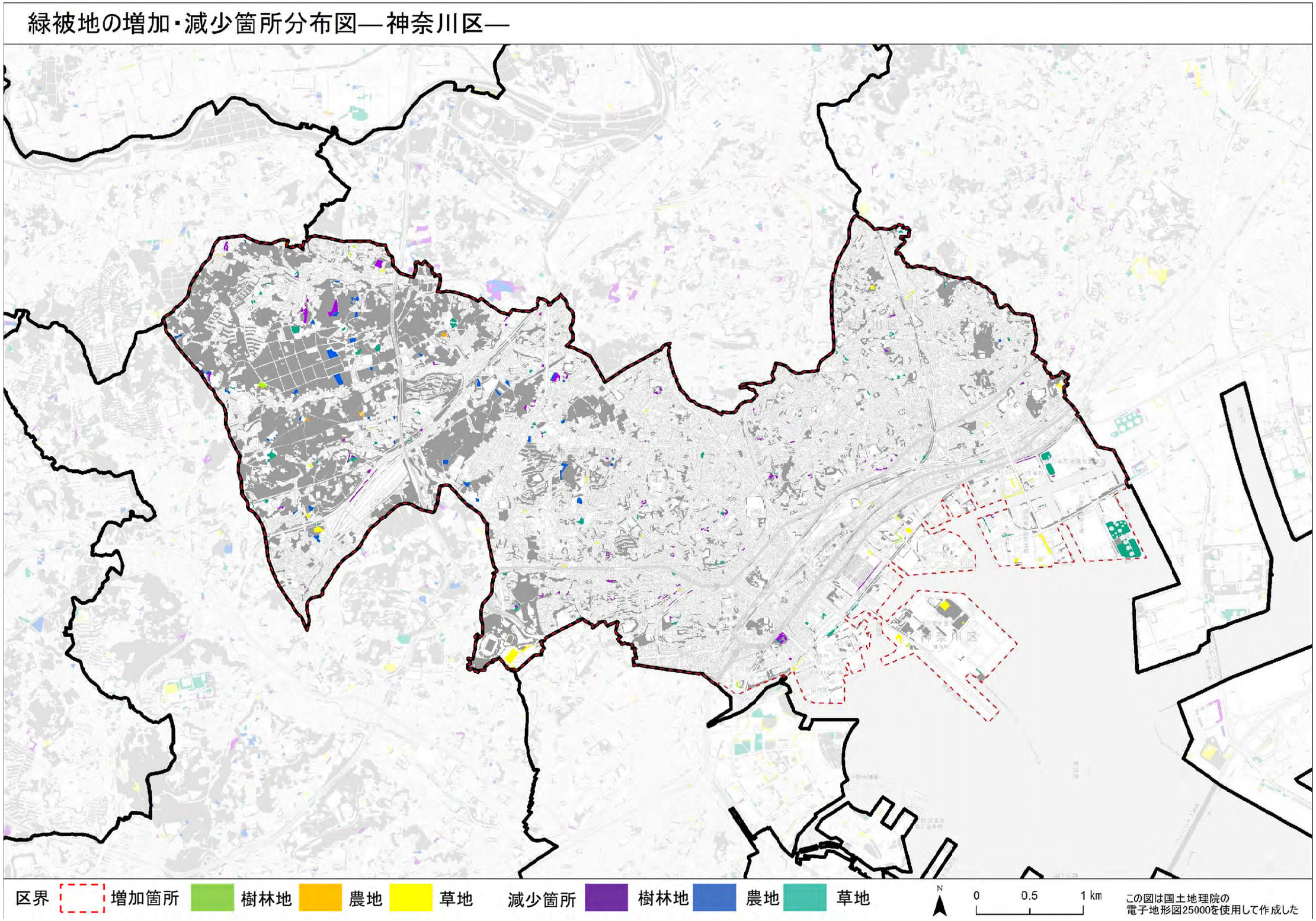
図表　2-2-12　神奈川区における増減要因別・緑被地別の集計結果

| 分類項目 | | | 増減箇所の緑被地面積（ha） | | | | | 箇所数（箇所） | | | | 1箇所当たりの面積の平均値（㎡） | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 樹林地 | 草地 | 農地 | 合計 | | 樹林地 | 草地 | 農地 | 合計 | 樹林地 | 草地 | 農地 | 合計 |
| 増加要因 | 1 | 植生の生長/一団化 | 0.8 | 5.0 | 0.0 | 5.8 | (88.1%) | 11 | 31 | 0 | 42 | 753 | 1,609 | 0 | 1,385 |
| | 2 | 精度向上 | 0.0 | 0.4 | 0.3 | 0.6 | (9.8%) | 0 | 5 | 3 | 8 | 0 | 769 | 881 | 811 |
| | 3 | 緑化等 | 0.0 | 0.0 | 0.1 | 0.1 | (2.1%) | 0 | 0 | 2 | 2 | 0 | 0 | 692 | 692 |
| | 4 | その他 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | (0.0%) | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 合計 | | 0.8 | 5.4 | 0.4 | 6.6 | (-) | 11 | 36 | 5 | 52 | 753 | 1,493 | 805 | 1,270 |
| 減少要因 | 1 | 戸建住宅 | 1.7 | 1.4 | 0.7 | 3.9 | (16.4%) | 29 | 25 | 7 | 61 | 592 | 565 | 1,039 | 632 |
| | 2 | 集合住宅 | 0.3 | 0.2 | 0.5 | 1.1 | (4.7%) | 7 | 4 | 5 | 16 | 459 | 593 | 1,079 | 686 |
| | 3 | 空き地・造成・建設工事中 | 2.6 | 3.0 | 0.5 | 6.1 | (25.9%) | 27 | 24 | 6 | 57 | 954 | 1,256 | 857 | 1,071 |
| | 4 | 工場・事業施設 | 1.1 | 5.6 | 1.5 | 8.2 | (35.0%) | 8 | 14 | 11 | 33 | 1,414 | 4,015 | 1,347 | 2,495 |
| | 5 | 道路整備 | 0.7 | 0.1 | 0.0 | 0.8 | (3.2%) | 12 | 2 | 0 | 14 | 578 | 297 | 0 | 537 |
| | 6 | グラウンド・広場 | 0.1 | 0.2 | 0.0 | 0.2 | (1.0%) | 2 | 4 | 0 | 6 | 389 | 395 | 0 | 393 |
| | 7 | 学校・公共施設 | 0.0 | 0.0 | 0.1 | 0.1 | (0.6%) | 1 | 0 | 2 | 3 | 454 | 0 | 492 | 479 |
| | 8 | 駐車場・駐輪場 | 0.2 | 0.4 | 0.7 | 1.3 | (5.4%) | 3 | 3 | 6 | 12 | 565 | 1,205 | 1,249 | 1,067 |
| | 9 | コンクリートのり面 | 0.0 | 0.1 | 0.0 | 0.1 | (0.5%) | 1 | 1 | 0 | 2 | 344 | 720 | 0 | 532 |
| | 10 | 墓地 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | (0.0%) | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 11 | 資材置き場 | 0.1 | 0.1 | 0.5 | 0.7 | (3.0%) | 1 | 2 | 5 | 8 | 660 | 590 | 1,028 | 873 |
| | 12 | 農業用ハウス・作業小屋 | 0.0 | 0.0 | 1.0 | 1.0 | (4.1%) | 1 | 0 | 7 | 8 | 90 | 0 | 1,379 | 1,217 |
| | 13 | ソーラーパネル | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | (0.0%) | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 14 | 水域（用水路、河川、池） | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | (0.0%) | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 15 | 精度向上 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | (0.0%) | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 16 | その他 | 0.1 | 0.0 | 0.0 | 0.1 | (0.3%) | 3 | 2 | 0 | 5 | 175 | 100 | 0 | 145 |
| | 合計 | | 6.9 | 11.1 | 5.6 | 23.6 | (-) | 95 | 81 | 49 | 225 | 726 | 1,367 | 1,141 | 1,047 |

※表中の（　）内は、増加・減少要因別の合計で割った値

出所：アジア航測株式会社が作成

図表　2-2-13　神奈川区における緑被地の増加・減少箇所の分布




出所：アジア航測株式会社が作成

**③西区**

西区における増減要因別、緑被地別の分類結果を集計した（図表 2-2-14）。また、西区の緑被地の増減箇所の分布状況は図表 2-2-15 の通りであった。第 11 次調査から西区の緑被地は、増加箇所が 3.7ha、減少箇所が 6.1ha で、差し引き 2.4ha 減少していた。

増加要因別の緑被地面積は、「植生の生長/一団化」が 1.8ha と最も大きく、全体の約 48.3%を占めていた。緑被地別では「精度向上」による“樹林地”の増加が最も大きく 1.0ha であった。増加箇所の 1 箇所当たりの平均面積を見ると、“草地”の「植生の生長/一団化」が最も大きく 781 ㎡、次いで“草地”の「緑化」が 721 ㎡、“樹林地”の「緑化等」が 677 ㎡であった。

減少要因別の緑被地面積は、「工場・事業施設」が 3.0ha と最も大きく、全体の 48.9%を占めていた。緑被地別は、「工場・事業施設」による“草地”の減少が最も大きく 2.7ha であった。減少箇所の 1 箇所当たりの平均面積を見ると、“草地”の「工場・事業施設」が最も大きく 2,726 ㎡、次いで“草地”の「空き地・造成・建設工事中」が 2,190 ㎡、“樹林地”の「工場・事業施設」が 1,243 ㎡であった。

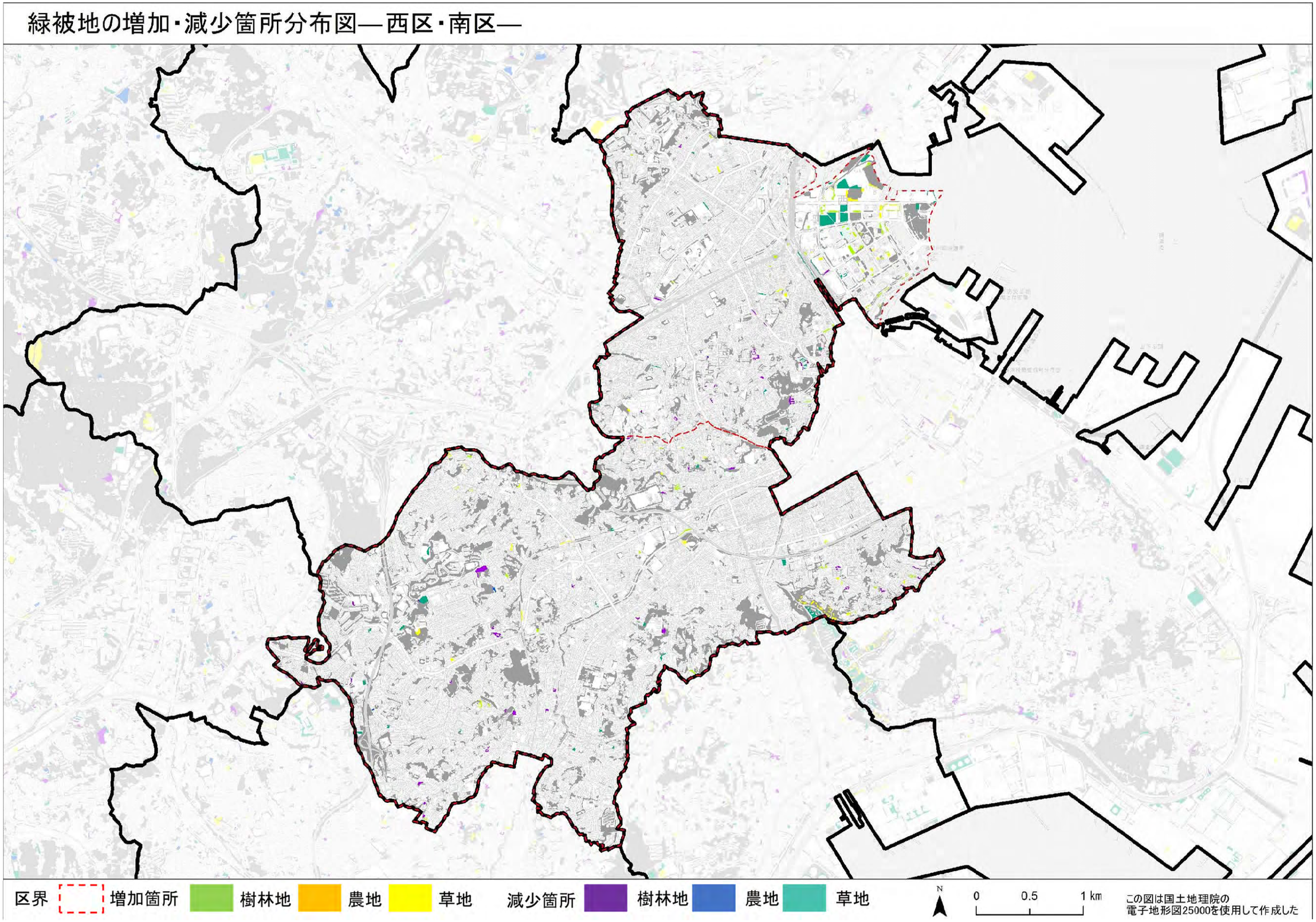
図表　2-2-14　西区における増減要因別・緑被地別の集計結果

| 分類項目 | | | 増減箇所の緑被地面積（ha） | | | | | 箇所数（箇所） | | | | 1箇所当たりの面積の平均値（㎡） | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 樹林地 | 草地 | 農地 | 合計 | | 樹林地 | 草地 | 農地 | 合計 | 樹林地 | 草地 | 農地 | 合計 |
| 増加要因 | 1 | 植生の生長/一団化 | 0.9 | 0.9 | 0.0 | 1.8 | (48.3%) | 26 | 11 | 0 | 37 | 360 | 781 | 0 | 485 |
| | 2 | 精度向上 | 1.0 | 0.1 | 0.0 | 1.2 | (31.1%) | 20 | 3 | 0 | 23 | 521 | 383 | 0 | 503 |
| | 3 | 緑化等 | 0.4 | 0.4 | 0.0 | 0.8 | (20.6%) | 6 | 5 | 0 | 11 | 677 | 721 | 0 | 697 |
| | 4 | その他 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | (0.0%) | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 合計 | | 2.4 | 1.3 | 0.0 | 3.7 | (-) | 52 | 19 | 0 | 71 | 459 | 702 | 0 | 524 |
| 減少要因 | 1 | 戸建住宅 | 0.1 | 0.1 | 0.0 | 0.2 | (3.4%) | 3 | 3 | 0 | 6 | 294 | 404 | 0 | 349 |
| | 2 | 集合住宅 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | (0.5%) | 1 | 0 | 0 | 1 | 297 | 0 | 0 | 297 |
| | 3 | 空き地・造成・建設工事中 | 0.5 | 1.8 | 0.0 | 2.3 | (37.0%) | 8 | 8 | 0 | 16 | 624 | 2,190 | 0 | 1,407 |
| | 4 | 工場・事業施設 | 0.2 | 2.7 | 0.0 | 3.0 | (48.9%) | 2 | 10 | 0 | 12 | 1,243 | 2,726 | 0 | 2,478 |
| | 5 | 道路整備 | 0.1 | 0.2 | 0.0 | 0.3 | (4.8%) | 3 | 3 | 0 | 6 | 284 | 688 | 0 | 486 |
| | 6 | グラウンド・広場 | 0.0 | 0.1 | 0.0 | 0.1 | (1.9%) | 0 | 2 | 0 | 2 | 0 | 591 | 0 | 591 |
| | 7 | 学校・公共施設 | 0.0 | 0.1 | 0.0 | 0.1 | (1.1%) | 0 | 1 | 0 | 1 | 0 | 639 | 0 | 639 |
| | 8 | 駐車場・駐輪場 | 0.1 | 0.0 | 0.0 | 0.1 | (1.2%) | 2 | 0 | 0 | 2 | 358 | 0 | 0 | 358 |
| | 9 | コンクリートのり面 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | (0.0%) | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 10 | 墓地 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | (0.0%) | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 11 | 資材置き場 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | (0.0%) | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 12 | 農業用ハウス・作業小屋 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | (0.0%) | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 13 | ソーラーパネル | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | (0.0%) | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 14 | 水域（用水路、河川、池） | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | (0.0%) | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 15 | 精度向上 | 0.0 | 0.1 | 0.0 | 0.1 | (1.2%) | 0 | 1 | 0 | 1 | 0 | 719 | 0 | 719 |
| | 16 | その他 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | (0.0%) | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 合計 | | 1.0 | 5.1 | 0.0 | 6.1 | (-) | 19 | 28 | 0 | 47 | 538 | 1,807 | 0 | 1,294 |

※表中の（　）内は、増加・減少要因別の合計で割った値

出所：アジア航測株式会社が作成

図表　2-2-15　西区・南区おける緑被地の増加・減少箇所の分布




出所：アジア航測株式会社が作成

### ④中区

中区における増減要因別、緑被地別の分類結果を集計した（図表 2-2-16）。また、中区の緑被地の増減箇所の分布状況は図表 2-2-17 の通りであった。第 11 次調査から中区の緑被地は、増加箇所が 16.9ha、減少箇所が 21.4ha で、差し引き 4.5ha 減少していた。

増加要因別の緑被地面積は、「その他」が 12.0ha と最も大きく、全体の約 71.0%を占めていた。緑被地別でも同様に、「その他」による“草地”の増加が最も大きく 12.0ha であった。増加箇所の 1 箇所当たりの平均面積を見ると、“草地”の「その他」が最も大きく 7,057 ㎡、次いで“樹林地”の「植生の成長/一団化」が 607 ㎡、“樹林地”の「精度向上」が 542 ㎡であった。「その他」の“草地”について、第 11 次調査時点からの変化を確認すると図表 2-2-18 に示す通り埋立地における草地の抽出が要因であった。

減少要因別の緑被地面積は、「空き地・造成・建設工事中」が 7.1ha と最も大きく、全体の 33.3%を占めていた。緑被地別は、「空き地・造成・建設工事中」による“草地”の減少が最も大きく 5.7ha であった。減少箇所の 1 箇所当たりの平均面積を見ると、“草地”の「学校・公共施設」が最も大きく 5,125 ㎡、次いで“草地”の「集合住宅」が 2,245 ㎡、“樹林地”の「コンクリートのり面」が 1,552 ㎡であった。

**図表　2-2-16　中区における増減要因別・緑被地別の集計結果**

| 分類項目 | | | 増減箇所の緑被地面積（ha） | | | | 箇所数（箇所） | | | | 1 箇所当たりの面積の平均値（㎡） | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 樹林地 | 草地 | 農地 | 合計 | 樹林地 | 草地 | 農地 | 合計 | 樹林地 | 草地 | 農地 | 合計 |
| 増加要因 | 1 | 植生の生長/一団化 | 1.0 | 3.1 | 0.0 | 4.1 (24.5%) | 17 | 75 | 0 | 92 | 607 | 414 | 0 | 449 |
| | 2 | 精度向上 | 0.5 | 0.2 | 0.0 | 0.7 (4.3%) | 10 | 4 | 0 | 14 | 542 | 449 | 0 | 515 |
| | 3 | 緑化等 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 (0.3%) | 0 | 1 | 0 | 1 | 0 | 463 | 0 | 463 |
| | 4 | その他 | 0.0 | 12.0 | 0.0 | 12.0 (71.0%) | 0 | 17 | 0 | 17 | 0 | 7,057 | 0 | 7,057 |
| | 合計 | | 1.6 | 15.3 | 0.0 | 16.9 (-) | 27 | 97 | 0 | 124 | 583 | 1,580 | 0 | 1,363 |
| 減少要因 | 1 | 戸建住宅 | 0.9 | 0.4 | 0.0 | 1.3 (5.9%) | 20 | 10 | 0 | 30 | 435 | 395 | 0 | 422 |
| | 2 | 集合住宅 | 0.4 | 0.9 | 0.0 | 1.3 (6.2%) | 5 | 4 | 0 | 9 | 845 | 2,245 | 0 | 1,467 |
| | 3 | 空き地・造成・建設工事中 | 1.4 | 5.7 | 0.0 | 7.1 (33.3%) | 24 | 43 | 0 | 67 | 581 | 1,332 | 0 | 1,063 |
| | 4 | 工場・事業施設 | 0.4 | 2.6 | 0.0 | 3.0 (14.1%) | 9 | 21 | 0 | 30 | 430 | 1,250 | 0 | 1,004 |
| | 5 | 道路整備 | 0.6 | 1.1 | 0.0 | 1.6 (7.7%) | 12 | 16 | 0 | 28 | 484 | 664 | 0 | 587 |
| | 6 | グラウンド・広場 | 0.0 | 0.5 | 0.0 | 0.6 (2.7%) | 1 | 5 | 0 | 6 | 325 | 1,085 | 0 | 958 |
| | 7 | 学校・公共施設 | 0.3 | 1.5 | 0.0 | 1.8 (8.6%) | 3 | 3 | 0 | 6 | 1,032 | 5,125 | 0 | 3,078 |
| | 8 | 駐車場・駐輪場 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 (0.0%) | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 9 | コンクリートのり面 | 1.2 | 0.0 | 0.0 | 1.2 (5.8%) | 8 | 0 | 0 | 8 | 1,552 | 0 | 0 | 1,552 |
| | 10 | 墓地 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 (0.0%) | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 11 | 資材置き場 | 0.0 | 0.2 | 0.0 | 0.2 (0.9%) | 0 | 2 | 0 | 2 | 0 | 959 | 0 | 959 |
| | 12 | 農業用ハウス・作業小屋 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 (0.0%) | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 13 | ソーラーパネル | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 (0.1%) | 0 | 1 | 0 | 1 | 0 | 305 | 0 | 305 |
| | 14 | 水域（用水路、河川、池） | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 (0.0%) | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 15 | 精度向上 | 0.7 | 2.2 | 0.0 | 3.0 (13.8%) | 16 | 24 | 0 | 40 | 447 | 934 | 0 | 739 |
| | 16 | その他 | 0.0 | 0.2 | 0.0 | 0.2 (0.9%) | 0 | 5 | 0 | 5 | 0 | 396 | 0 | 396 |
| | 合計 | | 6.0 | 15.4 | 0.0 | 21.4 (-) | 98 | 134 | 0 | 232 | 607 | 1,153 | 0 | 922 |

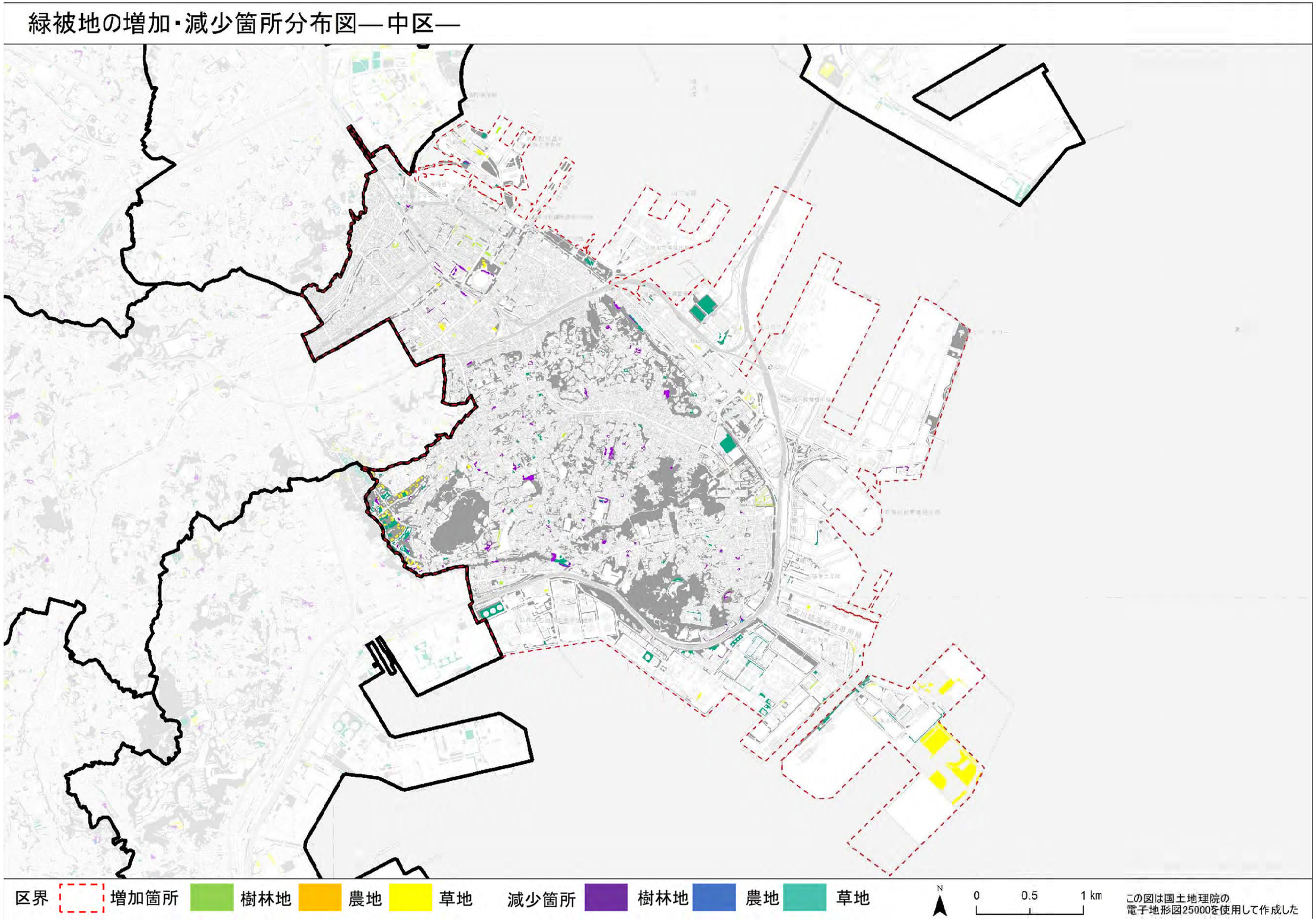
※表中の（　）内は、増加・減少要因別の合計で割った値

**出所：アジア航測株式会社が作成**

図表　2-2-17　埋立地における草地の抽出状況

出所：アジア航測株式会社が作成

図表　2-2-18　中区おける緑被地の増加・減少箇所の分布




出所：アジア航測株式会社が作成

### ⑤南区

南区における増減要因別、緑被地別の分類結果を集計した（図表 2-2-19）。また、南区の緑被地の増減箇所の分布状況は③西区にて示した図表 2-2-15 の通りであった。第 11 次調査から南区の緑被地は、増加箇所が 2.8ha、減少箇所が 4.6ha で、差し引き 1.7ha 減少していた。

増加要因別の緑被地面積は、「植生の生長/一団化」が 2.4ha と最も大きく、全体の約 84.7%を占めていた。緑被地別では「植生の生長/一団化」による“草地”の増加が最も大きく 1.5ha であった。増加箇所の 1 箇所当たりの平均値を見ると、“草地”の「緑化等」が最も大きく 561 ㎡、次いで“樹林地”の「植生の成長/一団化」が 536 ㎡、“草地”の「植生の成長/一団化」が 466 ㎡であった。

減少要因別の緑被地面積は、「空き地・造成・建設工事中」が 1.0ha と最も大きく、全体の 22.9%を占めていた。緑被地別は、「空き地・造成・建設工事中」による“草地”の減少が最も大きく 0.8ha であった。減少箇所の 1 箇所当たりの平均値を見ると、“草地”の「学校・公共施設」が最も大きく 2,317 ㎡、次いで、“樹林地”の「コンクリートのり面」が 1,615 ㎡、“草地”の「空き地・造成・建設工事中」が 1,501 ㎡であった。

**図表　2-2-19　南区における増減要因別・緑被地別の集計結果**

| 分類項目 | | | 増減箇所の緑被地面積（ha） | | | | 箇所数（箇所） | | | | 1箇所当たりの面積の平均値（㎡） | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 樹林地 | 草地 | 農地 | 合計 | 樹林地 | 草地 | 農地 | 合計 | 樹林地 | 草地 | 農地 | 合計 |
| 増加要因 | 1 | 植生の生長/一団化 | 0.9 | 1.5 | 0.0 | 2.4 (84.7%) | 17 | 32 | 0 | 49 | 536 | 466 | 0 | 490 |
| | 2 | 精度向上 | 0.2 | 0.1 | 0.0 | 0.3 (11.3%) | 7 | 4 | 0 | 11 | 340 | 206 | 0 | 292 |
| | 3 | 緑化等 | 0.0 | 0.1 | 0.0 | 0.1 (4.0%) | 0 | 2 | 0 | 2 | 0 | 561 | 0 | 561 |
| | 4 | その他 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 (0.0%) | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 合計 | | 1.2 | 1.7 | 0.0 | 2.8 (-) | 24 | 38 | 0 | 62 | 479 | 444 | 0 | 457 |
| 減少要因 | 1 | 戸建住宅 | 0.6 | 0.3 | 0.1 | 1.0 (22.7%) | 10 | 5 | 2 | 17 | 647 | 558 | 537 | 608 |
| | 2 | 集合住宅 | 0.1 | 0.1 | 0.0 | 0.1 (3.3%) | 1 | 2 | 0 | 3 | 518 | 486 | 0 | 497 |
| | 3 | 空き地・造成・建設工事中 | 0.3 | 0.8 | 0.0 | 1.0 (22.9%) | 6 | 5 | 0 | 11 | 487 | 1,501 | 0 | 948 |
| | 4 | 工場・事業施設 | 0.1 | 0.4 | 0.0 | 0.5 (10.1%) | 1 | 4 | 1 | 6 | 654 | 906 | 313 | 765 |
| | 5 | 道路整備 | 0.1 | 0.0 | 0.0 | 0.1 (1.5%) | 2 | 0 | 0 | 2 | 335 | 0 | 0 | 335 |
| | 6 | グラウンド・広場 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 (0.0%) | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 7 | 学校・公共施設 | 0.2 | 0.5 | 0.0 | 0.7 (15.5%) | 3 | 2 | 0 | 5 | 811 | 2,317 | 0 | 1,414 |
| | 8 | 駐車場・駐輪場 | 0.0 | 0.1 | 0.0 | 0.1 (2.6%) | 1 | 1 | 0 | 2 | 491 | 688 | 0 | 590 |
| | 9 | コンクリートのり面 | 0.6 | 0.2 | 0.0 | 0.9 (18.8%) | 4 | 3 | 0 | 7 | 1,615 | 692 | 0 | 1,220 |
| | 10 | 墓地 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 (0.0%) | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 11 | 資材置き場 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 (0.0%) | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 12 | 農業用ハウス・作業小屋 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 (0.0%) | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 13 | ソーラーパネル | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 (0.0%) | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 14 | 水域（用水路、河川、池） | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 (0.0%) | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 15 | 精度向上 | 0.1 | 0.0 | 0.0 | 0.1 (2.7%) | 3 | 0 | 0 | 3 | 412 | 0 | 0 | 412 |
| | 16 | その他 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 (0.0%) | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 合計 | | 2.2 | 2.2 | 0.1 | 4.6 (-) | 31 | 22 | 3 | 56 | 705 | 1,013 | 462 | 813 |

※表中の（　）内は、増加・減少要因別の合計で割った値
※数値の単位未満は四捨五入し表示しているため、内訳を積み上げた数値は合計の数値と一致しない場合がある。

**出所：アジア航測株式会社が作成**

### ⑥港南区

港南区における増減要因別、緑被地別の分類結果を集計した（図表 2-2-20）。また、港南区の緑被地の増減箇所の分布状況は図表 2-2-21 の通りであった。第 11 次調査から港南区の緑被地は、増加箇所が 4.8ha、減少箇所が 17.5ha で、差し引き 12.7ha 減少していた。

増加要因別の緑被地面積は、「植生の生長/一団化」が 4.2ha と最も大きく、全体の約 87.5%を占めていた。緑被地別では「植生の生長/一団化」による“草地”の増加が最も大きく 3.8ha であった。増加箇所の 1 箇所当たりの平均面積を見ると、“草地”の「植生の生長/一団化」が最も大きく 861 ㎡、次いで“樹林地”の「精度向上」が 595 ㎡、“草地”の「精度向上」が 565 ㎡であった。

減少要因別の緑被地面積は、「戸建住宅」が 5.5ha と最も大きく、全体の 31.6%を占めていた。緑被地別は、「戸建住宅」による“草地”の減少が最も大きく 2.7ha であった。減少箇所の 1 箇所当たりの平均面積を見ると、“農地”の「学校・公共施設」が最も大きく 7,733 ㎡、次いで“農地”の「集合住宅」が 5,336 ㎡、“草地”の「コンクリートのり面」が 1,604 ㎡であった。

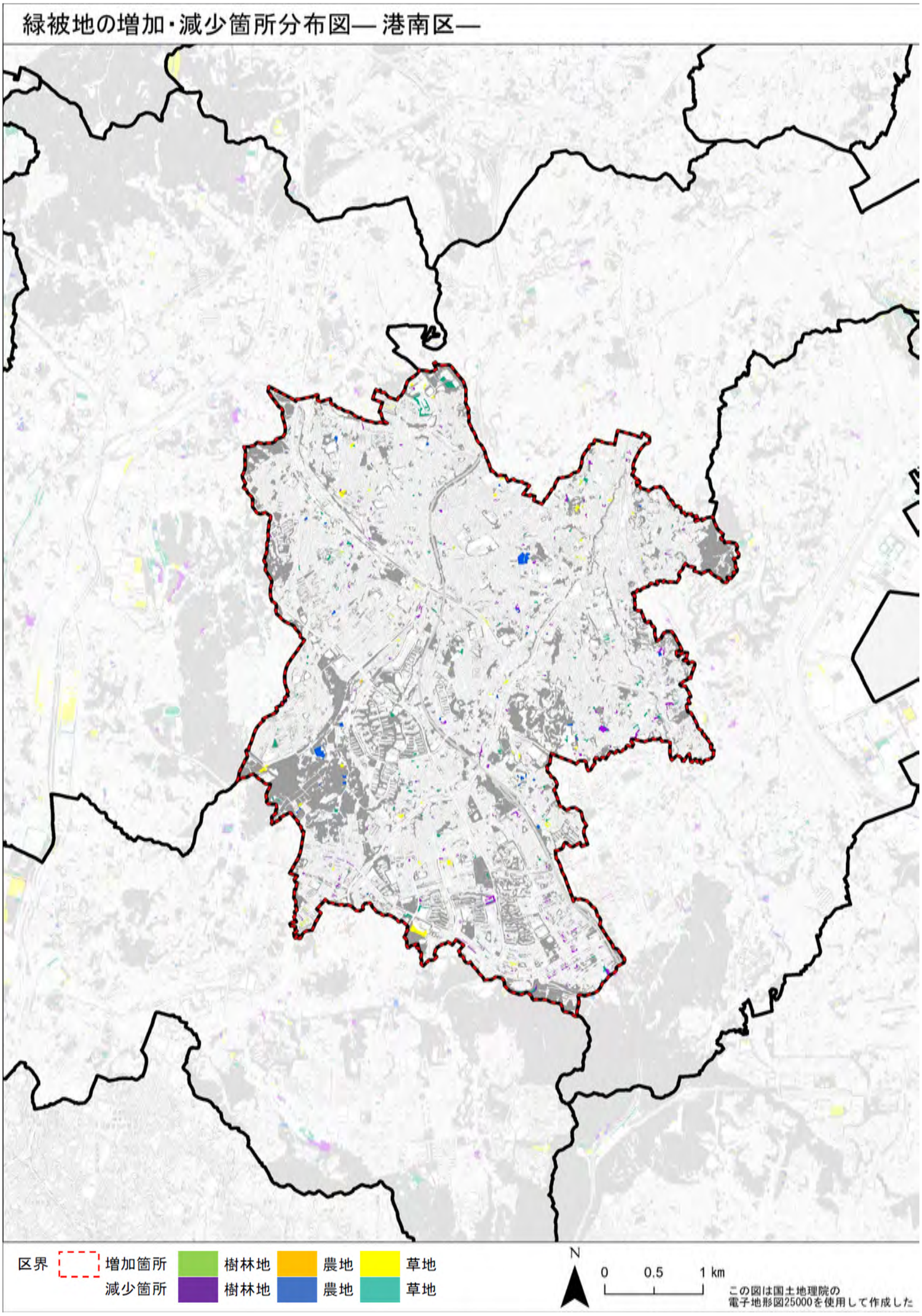
**図表　2-2-20　港南区における増減要因別・緑被地別の集計結果**

| 分類項目 | | | 増減箇所の緑被地面積（ha） | | | | 箇所数（箇所） | | | | 1箇所当たりの面積の平均値（㎡） | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 樹林地 | 草地 | 農地 | 合計 | 樹林地 | 草地 | 農地 | 合計 | 樹林地 | 草地 | 農地 | 合計 |
| 増加要因 | 1 | 植生の生長/一団化 | 0.4 | 3.8 | 0.0 | 4.2 (87.5%) | 10 | 44 | 0 | 54 | 406 | 861 | 0 | 777 |
| | 2 | 精度向上 | 0.3 | 0.2 | 0.1 | 0.6 (12.5%) | 5 | 4 | 2 | 11 | 595 | 565 | 377 | 544 |
| | 3 | 緑化等 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 (0.0%) | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 4 | その他 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 (0.0%) | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 合計 | | 0.7 | 4.0 | 0.1 | 4.8 (-) | 15 | 48 | 2 | 65 | 469 | 836 | 377 | 737 |
| 減少要因 | 1 | 戸建住宅 | 2.0 | 2.7 | 0.8 | 5.5 (31.6%) | 48 | 45 | 14 | 107 | 421 | 611 | 548 | 518 |
| | 2 | 集合住宅 | 0.2 | 0.3 | 1.1 | 1.6 (9.0%) | 6 | 6 | 2 | 14 | 410 | 452 | 5,336 | 1,131 |
| | 3 | 空き地・造成・建設工事中 | 1.7 | 0.8 | 0.5 | 3.0 (17.2%) | 20 | 14 | 7 | 41 | 868 | 547 | 737 | 736 |
| | 4 | 工場・事業施設 | 0.3 | 0.8 | 0.0 | 1.1 (6.6%) | 6 | 7 | 0 | 13 | 564 | 1,156 | 0 | 883 |
| | 5 | 道路整備 | 0.3 | 0.0 | 0.0 | 0.3 (2.0%) | 7 | 1 | 0 | 8 | 477 | 85 | 0 | 428 |
| | 6 | グラウンド・広場 | 0.2 | 0.1 | 0.0 | 0.3 (1.7%) | 5 | 2 | 1 | 8 | 374 | 420 | 240 | 369 |
| | 7 | 学校・公共施設 | 0.1 | 0.2 | 0.8 | 1.1 (6.2%) | 1 | 2 | 1 | 4 | 884 | 1,114 | 7,733 | 2,711 |
| | 8 | 駐車場・駐輪場 | 0.1 | 0.2 | 0.2 | 0.5 (3.1%) | 3 | 4 | 3 | 10 | 482 | 439 | 752 | 546 |
| | 9 | コンクリートのり面 | 0.4 | 0.6 | 0.0 | 1.0 (5.9%) | 5 | 4 | 0 | 9 | 779 | 1,604 | 0 | 1,146 |
| | 10 | 墓地 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 (0.1%) | 1 | 0 | 0 | 1 | 139 | 0 | 0 | 139 |
| | 11 | 資材置き場 | 0.0 | 0.0 | 0.1 | 0.2 (0.9%) | 0 | 1 | 2 | 3 | 0 | 442 | 582 | 535 |
| | 12 | 農業用ハウス・作業小屋 | 0.0 | 0.0 | 0.1 | 0.1 (0.5%) | 0 | 0 | 3 | 3 | 0 | 0 | 315 | 315 |
| | 13 | ソーラーパネル | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 (0.0%) | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 14 | 水域（用水路、河川、池） | 0.1 | 0.0 | 0.0 | 0.1 (0.4%) | 1 | 0 | 0 | 1 | 653 | 0 | 0 | 653 |
| | 15 | 精度向上 | 1.3 | 1.1 | 0.1 | 2.5 (14.3%) | 47 | 27 | 2 | 76 | 278 | 424 | 292 | 330 |
| | 16 | その他 | 0.0 | 0.0 | 0.1 | 0.1 (0.5%) | 0 | 0 | 1 | 1 | 0 | 0 | 804 | 804 |
| | 合計 | | 6.9 | 6.9 | 3.7 | 17.5 (-) | 150 | 113 | 36 | 299 | 458 | 612 | 1,034 | 586 |

※表中の（　）内は、増加・減少要因別の合計で割った値

**出所：アジア航測株式会社が作成**

図表　2-2-21　港南区における緑被地の増加・減少箇所の分布




出所：アジア航測株式会社が作成

**⑦保土ヶ谷区**

保土ヶ谷区における増減要因別、緑被地別の分類結果を集計した（図表 2-2-22）。また、保土ヶ谷区の緑被地の増減箇所の分布状況は図表 2-2-23 の通りであった。第 11 次調査から保土ヶ谷区の緑被地は、増加箇所が 6.8ha、減少箇所が 19.0ha で、差し引き 12.2ha 減少していた。

増加要因別の緑被地面積は、「植生の生長/一団化」が 6.5ha と最も大きく、全体の約 95.0%を占めていた。緑被地別では「植生の生長/一団化」による“草地”の増加が最も大きく 5.7ha であった。増加箇所の 1 箇所当たりの平均値を見ると、“草地”の「植生の生長/一団化」が最も大きく 2,127 ㎡、次いで“草地”の「緑化等」が 754 ㎡、“樹林地”の「植生の成長/一団化」が 603 ㎡であった。

減少要因別の緑被地面積は、「空き地・造成・建設工事中」が 5.9ha と最も大きく、全体の 31.3%を占めていた。緑被地別は、「空き地・造成・建設工事中」による“草地”の減少が最も大きく 3.6ha であった。減少箇所の 1 箇所当たりの平均値を見ると、“草地”の「ソーラーパネル」が最も大きく 1,794 ㎡、次いで“樹林地”の「コンクリートのり面」が 1,775 ㎡、“農地”の「工場・事業施設」が 1,493 ㎡であった。

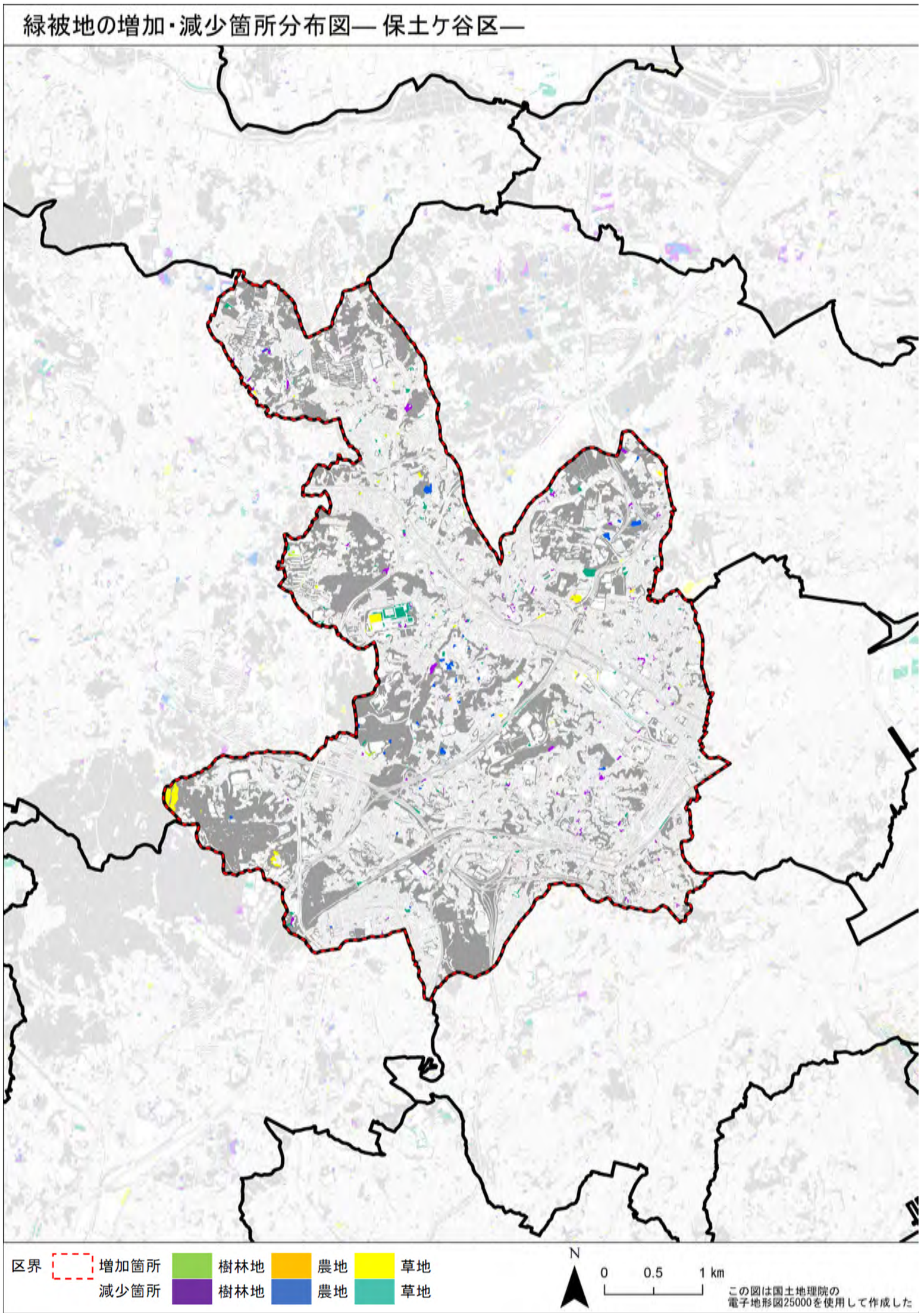
図表　2-2-22　保土ヶ谷区における増減要因別・緑被地別の集計結果

| 分類項目 | | | 増減箇所の緑被地面積（ha） | | | | 箇所数（箇所） | | | | 1箇所当たりの面積の平均値（㎡） | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 樹林地 | 草地 | 農地 | 合計 | 樹林地 | 草地 | 農地 | 合計 | 樹林地 | 草地 | 農地 | 合計 |
| 増加要因 | 1 | 植生の生長/一団化 | 0.7 | 5.7 | 0.0 | 6.5 (95.0%) | 12 | 27 | 0 | 39 | 603 | 2,127 | 0 | 1,658 |
| | 2 | 精度向上 | 0.0 | 0.0 | 0.1 | 0.1 (1.7%) | 0 | 1 | 2 | 3 | 0 | 453 | 342 | 379 |
| | 3 | 緑化等 | 0.0 | 0.2 | 0.0 | 0.2 (3.3%) | 0 | 3 | 0 | 3 | 0 | 754 | 0 | 754 |
| | 4 | その他 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 (0.0%) | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 合計 | | 0.7 | 6.0 | 0.1 | 6.8 (-) | 12 | 31 | 2 | 45 | 603 | 1,940 | 342 | 1,513 |
| 減少要因 | 1 | 戸建住宅 | 2.1 | 1.9 | 1.8 | 5.8 (30.5%) | 35 | 29 | 13 | 77 | 593 | 650 | 1,402 | 751 |
| | 2 | 集合住宅 | 0.0 | 0.2 | 0.0 | 0.2 (1.2%) | 1 | 2 | 0 | 3 | 461 | 893 | 0 | 749 |
| | 3 | 空き地・造成・建設工事中 | 1.9 | 3.6 | 0.5 | 5.9 (31.3%) | 28 | 36 | 4 | 68 | 667 | 1,004 | 1,127 | 872 |
| | 4 | 工場・事業施設 | 0.3 | 2.0 | 0.9 | 3.2 (16.7%) | 5 | 15 | 6 | 26 | 507 | 1,347 | 1,493 | 1,219 |
| | 5 | 道路整備 | 0.2 | 0.4 | 0.0 | 0.6 (3.2%) | 5 | 5 | 2 | 12 | 326 | 884 | 46 | 512 |
| | 6 | グラウンド・広場 | 0.1 | 0.1 | 0.0 | 0.2 (1.1%) | 4 | 1 | 0 | 5 | 362 | 633 | 0 | 416 |
| | 7 | 学校・公共施設 | 0.3 | 0.2 | 0.0 | 0.5 (2.7%) | 4 | 2 | 0 | 6 | 705 | 1,169 | 0 | 860 |
| | 8 | 駐車場・駐輪場 | 0.1 | 0.1 | 0.5 | 0.7 (3.9%) | 3 | 2 | 4 | 9 | 387 | 634 | 1,238 | 820 |
| | 9 | コンクリートのり面 | 1.1 | 0.1 | 0.0 | 1.1 (5.9%) | 6 | 1 | 0 | 7 | 1,775 | 568 | 0 | 1,603 |
| | 10 | 墓地 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 (0.0%) | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 11 | 資材置き場 | 0.0 | 0.0 | 0.1 | 0.1 (0.4%) | 0 | 0 | 1 | 1 | 0 | 0 | 833 | 833 |
| | 12 | 農業用ハウス・作業小屋 | 0.0 | 0.0 | 0.1 | 0.1 (0.6%) | 0 | 0 | 1 | 1 | 0 | 0 | 1,195 | 1,195 |
| | 13 | ソーラーパネル | 0.0 | 0.2 | 0.0 | 0.2 (1.1%) | 0 | 1 | 1 | 2 | 0 | 1,794 | 211 | 1,003 |
| | 14 | 水域（用水路、河川、池） | 0.0 | 0.1 | 0.0 | 0.1 (0.4%) | 0 | 1 | 0 | 1 | 0 | 677 | 0 | 677 |
| | 15 | 精度向上 | 0.1 | 0.1 | 0.0 | 0.2 (0.9%) | 2 | 1 | 0 | 3 | 607 | 513 | 0 | 576 |
| | 16 | その他 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 (0.1%) | 0 | 1 | 0 | 1 | 0 | 118 | 0 | 118 |
| | 合計 | | 6.1 | 8.9 | 3.9 | 19.0 (-) | 93 | 97 | 32 | 222 | 660 | 921 | 1,218 | 854 |

※表中の（　）内は、増加・減少要因別の合計で割った値

出所：アジア航測株式会社が作成

図表　2-2-23　保土ヶ谷区における緑被地の増加・減少箇所の分布




出所：アジア航測株式会社が作成

### ⑧旭区

旭区における増減要因別、緑被地別の分類結果を集計した（図表 2-2-24）。また、旭区の緑被地の増減箇所の分布状況は図表 2-2-25 の通りであった。第 11 次調査から旭区の緑被地は、増加箇所が 7.2ha、減少箇所が 33.5ha で、差し引き 26.3ha 減少していた。

増加要因別の緑被地面積は、「植生の生長/一団化」が 5.8ha と最も大きく、全体の約 80.4%を占めていた。緑被地別では「植生の生長/一団化」による“草地”の増加が最も大きく 4.0ha であった。増加箇所の 1 箇所当たりの平均値を見ると、“樹林地”の「緑化等」が最も大きく 3,592 ㎡、次いで“草地”の「緑化等」が 1,921 ㎡、“草地”の「植生の成長/一団化」が 883 ㎡であった。

減少要因別の緑被地面積は、「空き地・造成・建設工事中」が 9.9ha と最も大きく、全体の 29.7%を占めていた。緑被地別は、「空き地・造成・建設工事中」による“農地”の減少が最も大きく 5.4ha であった。減少箇所の 1 箇所当たりの平均値を見ると、“草地”の「精度向上」が最も大きく 9,439 ㎡、次いで“草地”の「グラウンド・広場」が 3,775 ㎡、“農地”の「グラウンド・広場」が 3,613 ㎡であった。

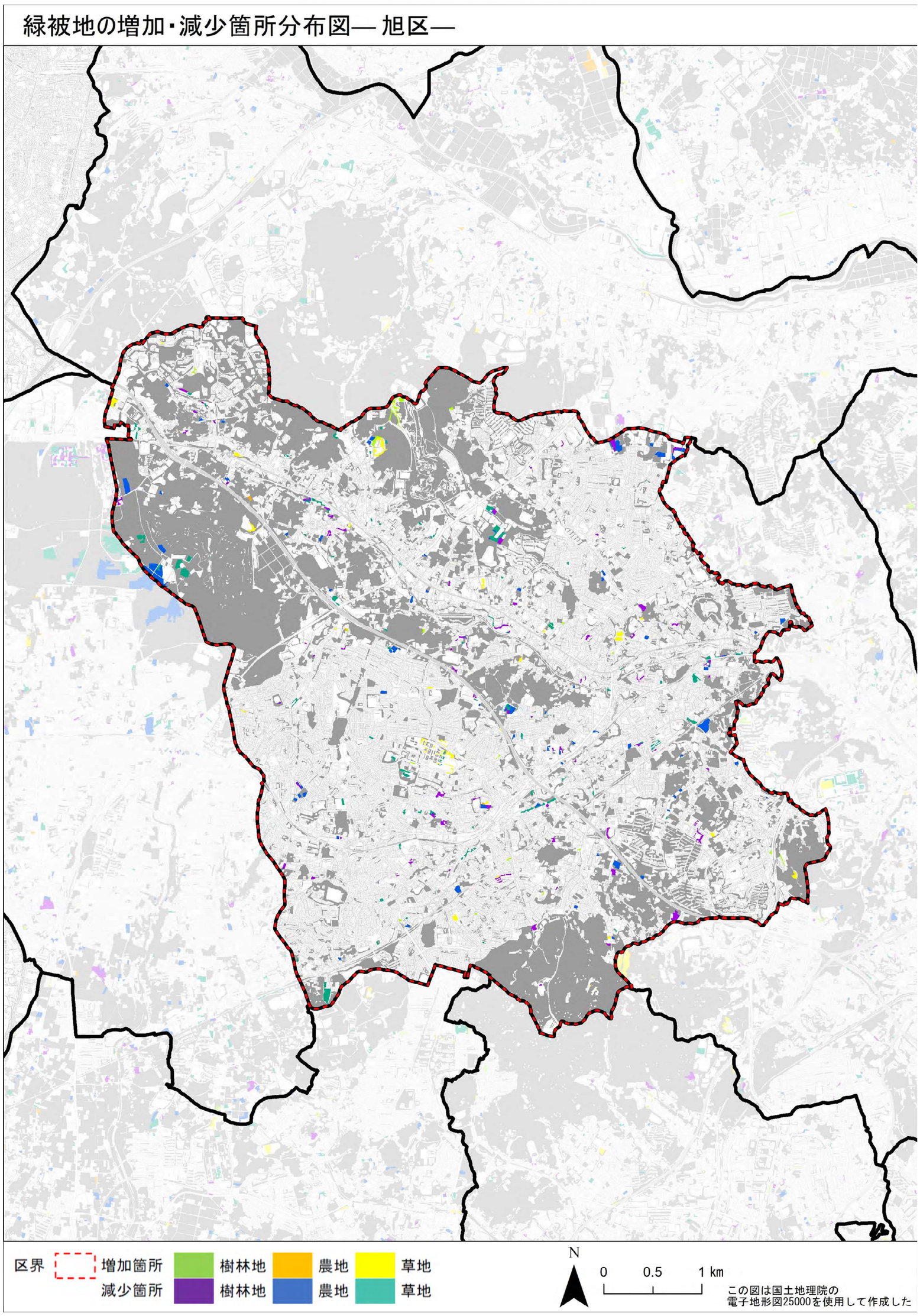
**図表　2-2-24　旭区における増減要因別・緑被地別の集計結果**

| 分類項目 | | | 増減箇所の緑被地面積（ha） | | | | 箇所数（箇所） | | | | 1箇所当たりの面積の平均値（㎡） | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 樹林地 | 草地 | 農地 | 合計 | 樹林地 | 草地 | 農地 | 合計 | 樹林地 | 草地 | 農地 | 合計 |
| 増加要因 | 1 | 植生の生長/一団化 | 1.8 | 4.0 | 0.0 | 5.8 (80.4%) | 27 | 45 | 0 | 72 | 672 | 883 | 0 | 804 |
| | 2 | 精度向上 | 0.0 | 0.1 | 0.2 | 0.2 (3.3%) | 1 | 1 | 2 | 4 | 32 | 730 | 810 | 595 |
| | 3 | 緑化等 | 0.4 | 0.8 | 0.0 | 1.2 (16.3%) | 1 | 4 | 1 | 6 | 3,592 | 1,921 | 422 | 1,950 |
| | 4 | その他 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 (0.0%) | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 合計 | | 2.2 | 4.8 | 0.2 | 7.2 (-) | 29 | 50 | 3 | 82 | 751 | 963 | 680 | 878 |
| 減少要因 | 1 | 戸建住宅 | 2.9 | 2.6 | 2.3 | 7.7 (22.9%) | 35 | 32 | 23 | 90 | 817 | 797 | 988 | 854 |
| | 2 | 集合住宅 | 0.2 | 0.2 | 0.1 | 0.5 (1.4%) | 3 | 2 | 1 | 6 | 678 | 867 | 806 | 763 |
| | 3 | 空き地・造成・建設工事中 | 2.3 | 2.3 | 5.4 | 9.9 (29.7%) | 24 | 22 | 18 | 64 | 961 | 1,024 | 2,991 | 1,554 |
| | 4 | 工場・事業施設 | 1.8 | 0.8 | 1.0 | 3.5 (10.6%) | 14 | 9 | 10 | 33 | 1,260 | 834 | 1,031 | 1,075 |
| | 5 | 道路整備 | 0.3 | 0.7 | 0.0 | 1.0 (3.1%) | 7 | 15 | 1 | 23 | 464 | 469 | 183 | 455 |
| | 6 | グラウンド・広場 | 0.0 | 1.5 | 0.4 | 1.9 (5.7%) | 1 | 4 | 1 | 6 | 481 | 3,775 | 3,613 | 3,199 |
| | 7 | 学校・公共施設 | 0.0 | 0.2 | 0.1 | 0.3 (1.0%) | 0 | 2 | 2 | 4 | 0 | 893 | 716 | 805 |
| | 8 | 駐車場・駐輪場 | 0.8 | 0.3 | 0.7 | 1.8 (5.4%) | 7 | 6 | 10 | 23 | 1,179 | 494 | 674 | 781 |
| | 9 | コンクリートのり面 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 (0.0%) | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 10 | 墓地 | 0.1 | 0.3 | 0.3 | 0.7 (2.1%) | 1 | 2 | 2 | 5 | 1,437 | 1,417 | 1,314 | 1,380 |
| | 11 | 資材置き場 | 0.3 | 0.8 | 2.1 | 3.1 (9.3%) | 5 | 8 | 11 | 24 | 514 | 971 | 1,899 | 1,301 |
| | 12 | 農業用ハウス・作業小屋 | 0.0 | 0.0 | 0.6 | 0.6 (1.7%) | 0 | 0 | 3 | 3 | 0 | 0 | 1,923 | 1,923 |
| | 13 | ソーラーパネル | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 (0.0%) | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 14 | 水域（用水路、河川、池） | 0.0 | 0.2 | 0.0 | 0.2 (0.5%) | 0 | 2 | 0 | 2 | 0 | 873 | 0 | 873 |
| | 15 | 精度向上 | 0.3 | 1.9 | 0.0 | 2.2 (6.6%) | 2 | 2 | 1 | 5 | 1,358 | 9,439 | 442 | 4,407 |
| | 16 | その他 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 (0.0%) | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 合計 | | 9.0 | 11.5 | 12.9 | 33.5 (-) | 99 | 106 | 83 | 288 | 910 | 1,088 | 1,559 | 1,163 |

※表中の（　）内は、増加・減少要因別の合計で割った値

**出所：アジア航測株式会社が作成**

図表　2-2-25　旭区おける緑被地の増加・減少箇所の分布




出所：アジア航測株式会社が作成

**⑨磯子区**

磯子区における増減要因別、緑被地別の分類結果を集計した（図表 2-2-26）。また、磯子区の緑被地の増減箇所の分布状況は図表 2-2-27 の通りであった。第 11 次調査から磯子区の緑被地は、増加箇所が 5.2ha、減少箇所が 17.2ha で、差し引き 11.9ha 減少していた。

増加要因別の緑被地面積は、「植生の生長/一団化」が 4.7ha と最も大きく、全体の約 90.2%を占めていた。緑被地別では「植生の生長/一団化」による“草地”の増加が最も大きく 4.1ha であった。増加箇所の 1 箇所当たりの平均面積を見ると、“草地”の「植生の生長/一団化」が最も大きく 1,144 ㎡、次いで“草地”の「精度向上」が 683 ㎡、“樹林地”の「精度向上」が 562 ㎡であった。

減少要因別の緑被地面積は、「工場・事業施設」が 5.2ha と最も大きく、全体の 30.5%を占めていた。緑被地別は、「工場・事業施設」による“草地”の減少が最も大きく 4.7ha であった。減少箇所の 1 箇所当たりの平均面積を見ると、“農地”の「資材置き場」が最も大きく 2,428 ㎡、次いで“草地”の「集合住宅」が 2,147 ㎡、“草地”の「工場・事業施設」が 1,435 ㎡であった。

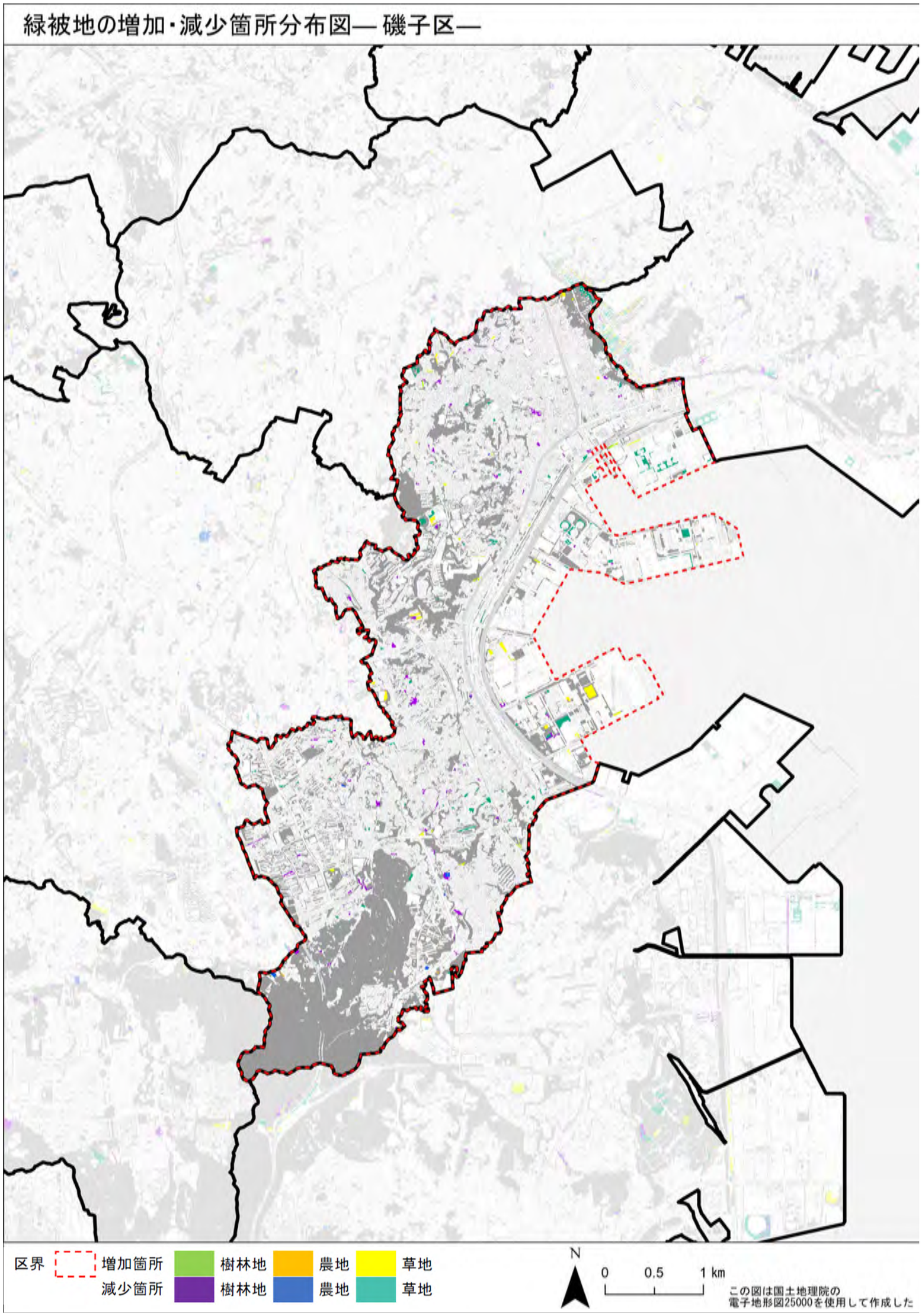
図表　2-2-26　磯子区における増減要因別・緑被地別の集計結果

| 分類項目 | | | 増減箇所の緑被地面積（ha） | | | | | 箇所数（箇所） | | | | 1箇所当たりの面積の平均値（㎡） | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 樹林地 | 草地 | 農地 | 合計 | | 樹林地 | 草地 | 農地 | 合計 | 樹林地 | 草地 | 農地 | 合計 |
| 増加要因 | 1 | 植生の生長/一団化 | 0.6 | 4.1 | 0.0 | 4.7 | (90.2%) | 12 | 36 | 0 | 48 | 492 | 1,144 | 0 | 981 |
| | 2 | 精度向上 | 0.2 | 0.2 | 0.0 | 0.4 | (8.2%) | 4 | 3 | 0 | 7 | 562 | 683 | 0 | 614 |
| | 3 | 緑化等 | 0.0 | 0.0 | 0.1 | 0.1 | (1.5%) | 0 | 0 | 2 | 2 | 0 | 0 | 404 | 404 |
| | 4 | その他 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | (0.0%) | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 合計 | | 0.8 | 4.3 | 0.1 | 5.2 | (-) | 16 | 39 | 2 | 57 | 510 | 1,108 | 404 | 916 |
| 減少要因 | 1 | 戸建住宅 | 2.2 | 1.3 | 0.2 | 3.6 | (21.2%) | 33 | 19 | 3 | 55 | 666 | 676 | 508 | 661 |
| | 2 | 集合住宅 | 0.3 | 0.4 | 0.0 | 0.8 | (4.4%) | 3 | 2 | 0 | 5 | 1,071 | 2,147 | 0 | 1,502 |
| | 3 | 空き地・造成・建設工事中 | 1.4 | 2.5 | 0.2 | 4.1 | (23.9%) | 16 | 26 | 3 | 45 | 897 | 963 | 538 | 911 |
| | 4 | 工場・事業施設 | 0.5 | 4.7 | 0.0 | 5.2 | (30.5%) | 8 | 33 | 1 | 42 | 579 | 1,435 | 387 | 1,247 |
| | 5 | 道路整備 | 0.4 | 0.1 | 0.0 | 0.5 | (2.8%) | 11 | 4 | 0 | 15 | 376 | 147 | 0 | 315 |
| | 6 | グラウンド・広場 | 0.2 | 0.5 | 0.0 | 0.7 | (3.9%) | 2 | 4 | 0 | 6 | 796 | 1,293 | 0 | 1,127 |
| | 7 | 学校・公共施設 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | (0.2%) | 1 | 0 | 0 | 1 | 323 | 0 | 0 | 323 |
| | 8 | 駐車場・駐輪場 | 0.3 | 0.4 | 0.1 | 0.8 | (4.5%) | 5 | 5 | 1 | 11 | 552 | 769 | 1,125 | 703 |
| | 9 | コンクリートのり面 | 0.8 | 0.3 | 0.1 | 1.1 | (6.7%) | 12 | 5 | 1 | 18 | 682 | 517 | 692 | 637 |
| | 10 | 墓地 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | (0.1%) | 1 | 0 | 0 | 1 | 215 | 0 | 0 | 215 |
| | 11 | 資材置き場 | 0.0 | 0.0 | 0.2 | 0.3 | (1.6%) | 1 | 0 | 1 | 2 | 236 | 0 | 2,428 | 1,332 |
| | 12 | 農業用ハウス・作業小屋 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | (0.0%) | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 13 | ソーラーパネル | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | (0.2%) | 1 | 0 | 0 | 1 | 425 | 0 | 0 | 425 |
| | 14 | 水域（用水路、河川、池） | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | (0.0%) | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 15 | 精度向上 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | (0.0%) | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 16 | その他 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | (0.0%) | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 合計 | | 6.2 | 10.2 | 0.8 | 17.2 | (-) | 94 | 98 | 10 | 202 | 660 | 1,038 | 777 | 849 |

※表中の（　）内は、増加・減少要因別の合計で割った値

出所：アジア航測株式会社が作成

図表　2-2-27　磯子区における緑被地の増加・減少箇所の分布




出所：アジア航測株式会社が作成

### ⑩金沢区

金沢区における増減要因別、緑被地別の分類結果を集計した（図表 2-2-28）。また、金沢区の緑被地の増減箇所の分布状況は図表 2-2-29 の通りであった。第 11 次調査から金沢区の緑被地は、増加箇所が 6.6ha、減少箇所が 23.2ha で、差し引き 16.6ha 減少していた。

増加要因別の緑被地面積は、「植生の生長/一団化」が 5.8ha と最も大きく、全体の約 87.8%を占めていた。緑被地別では「植生の生長/一団化」による“草地”の増加が最も大きく 5.2ha であった。増加箇所の 1 箇所当たりの平均面積を見ると、“樹林地”の「緑化等」が最も大きく 4,931 ㎡、次いで“草地”の「植生の成長/一団化」が 1,588 ㎡、“樹林地”の「植生の成長/一団化」が 646 ㎡であった。

減少要因別の緑被地面積は、「空き地・造成・建設工事中」が 8.4ha と最も大きく、全体の 36.3%を占めていた。緑被地別は、「空き地・造成・建設工事中」による“草地”の減少が最も大きく 5.5ha であった。減少箇所の 1 箇所当たりの平均面積を見ると、“草地”の「駐車場・駐輪場」が最も大きく 1,902 ㎡、次いで“草地”の「工場・事業施設」が 1,747 ㎡、“樹林地”の「駐車場・駐輪場」が 1,672 ㎡であった。

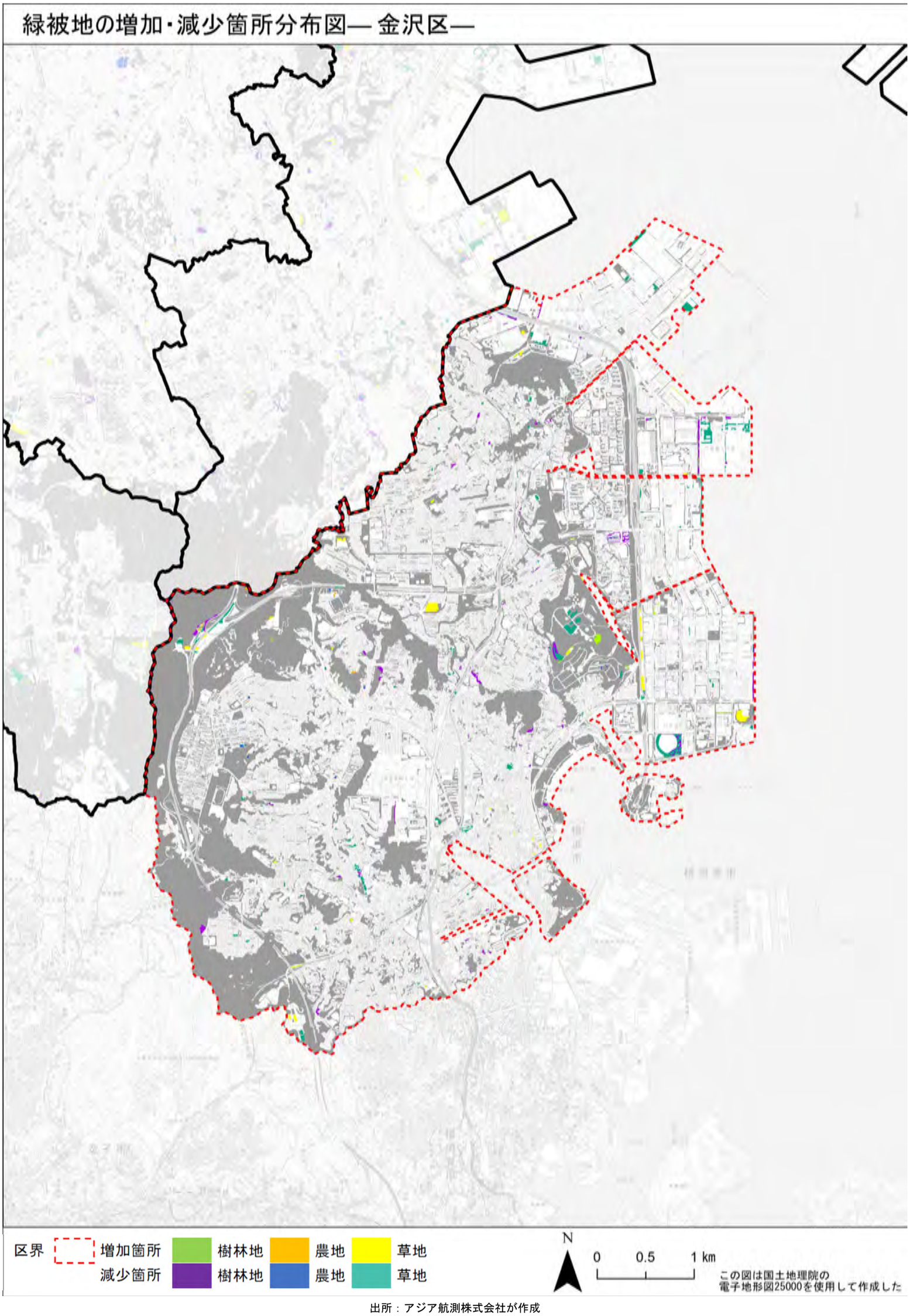
**図表　2-2-28　金沢区における増減要因別・緑被地別の集計結果**

| 分類項目 | | | 増減箇所の緑被地面積（ha） | | | | 箇所数（箇所） | | | | 1 箇所当たりの面積の平均値（㎡） | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 樹林地 | 草地 | 農地 | 合計 | 樹林地 | 草地 | 農地 | 合計 | 樹林地 | 草地 | 農地 | 合計 |
| 増加要因 | 1 | 植生の生長/一団化 | 0.5 | 5.2 | 0.0 | 5.8 (87.8%) | 8 | 33 | 0 | 41 | 646 | 1,588 | 0 | 1,404 |
| | 2 | 精度向上 | 0.1 | 0.0 | 0.1 | 0.2 (2.9%) | 2 | 0 | 3 | 5 | 503 | 0 | 298 | 380 |
| | 3 | 緑化等 | 0.5 | 0.0 | 0.1 | 0.6 (9.3%) | 1 | 0 | 2 | 3 | 4,931 | 0 | 581 | 2,031 |
| | 4 | その他 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 (0.0%) | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 合計 | | 1.1 | 5.2 | 0.2 | 6.6 (-) | 11 | 33 | 5 | 49 | 1,009 | 1,588 | 411 | 1,338 |
| 減少要因 | 1 | 戸建住宅 | 0.5 | 1.2 | 0.2 | 1.9 (8.3%) | 11 | 24 | 6 | 41 | 453 | 512 | 331 | 469 |
| | 2 | 集合住宅 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.1 (0.3%) | 1 | 1 | 0 | 2 | 345 | 378 | 0 | 361 |
| | 3 | 空き地・造成・建設工事中 | 2.8 | 5.5 | 0.1 | 8.4 (36.3%) | 29 | 39 | 2 | 70 | 975 | 1,412 | 472 | 1,204 |
| | 4 | 工場・事業施設 | 1.7 | 5.2 | 0.0 | 7.0 (30.0%) | 21 | 30 | 0 | 51 | 818 | 1,747 | 0 | 1,364 |
| | 5 | 道路整備 | 0.1 | 1.0 | 0.0 | 1.1 (4.9%) | 2 | 12 | 0 | 14 | 464 | 864 | 0 | 807 |
| | 6 | グラウンド・広場 | 0.1 | 0.2 | 0.0 | 0.3 (1.4%) | 1 | 3 | 0 | 4 | 952 | 732 | 0 | 787 |
| | 7 | 学校・公共施設 | 0.0 | 0.1 | 0.0 | 0.1 (0.5%) | 1 | 1 | 0 | 2 | 447 | 720 | 0 | 584 |
| | 8 | 駐車場・駐輪場 | 0.5 | 1.1 | 0.0 | 1.6 (7.1%) | 3 | 6 | 0 | 9 | 1,672 | 1,902 | 0 | 1,825 |
| | 9 | コンクリートのり面 | 1.5 | 0.7 | 0.0 | 2.1 (9.3%) | 12 | 7 | 0 | 19 | 1,243 | 938 | 0 | 1,131 |
| | 10 | 墓地 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 (0.0%) | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 11 | 資材置き場 | 0.0 | 0.1 | 0.0 | 0.1 (0.6%) | 0 | 2 | 0 | 2 | 0 | 657 | 0 | 657 |
| | 12 | 農業用ハウス・作業小屋 | 0.0 | 0.0 | 0.1 | 0.2 (0.7%) | 0 | 1 | 5 | 6 | 0 | 255 | 294 | 287 |
| | 13 | ソーラーパネル | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 (0.0%) | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 14 | 水域（用水路、河川、池） | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 (0.0%) | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 15 | 精度向上 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 (0.0%) | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 16 | その他 | 0.2 | 0.0 | 0.0 | 0.2 (0.7%) | 1 | 0 | 0 | 1 | 1,592 | 0 | 0 | 1,592 |
| | 合計 | | 7.5 | 15.3 | 0.4 | 23.2 (-) | 82 | 126 | 13 | 221 | 910 | 1,214 | 338 | 1,050 |

※表中の（　）内は、増加・減少要因別の合計で割った値

**出所：アジア航測株式会社が作成**

図表　2-2-29　金沢区における緑被地の増加・減少箇所の分布




出所：アジア航測株式会社が作成

### ⑪港北区

港北区における増減要因別、緑被地別の分類結果を集計した（図表 2-2-30）。また、港北区の緑被地の増減箇所の分布状況は図表 2-2-31 の通りであった。第 11 次調査から港北区の緑被地は、増加箇所が 2.0ha、減少箇所が 26.4ha で、差し引き 24.4ha 減少していた。

増加要因別の緑被地面積は、「植生の生長/一団化」が 1.7ha と最も大きく、全体の約 85.4%を占めていた。緑被地別では「植生の生長/一団化」による“草地”の増加が最も大きく 1.5ha であった。増加箇所の 1 箇所当たりの平均面積を見ると、“草地”の「植生の生長/一団化」が最も大きく 1,104 ㎡、次いで“草地”の「精度向上」が 840 ㎡、“樹林地”の「植生の成長/一団化」が 331 ㎡であった。

減少要因別の緑被地面積は、「空き地・造成・建設工事中」が 8.6ha と最も大きく、全体の 32.6%を占めていた。緑被地別は、「空き地・造成・建設工事中」による“樹林地”の減少が最も大きく 5.1ha であった。減少箇所の 1 箇所当たりの平均面積を見ると、“樹林地”の「精度向上」が最も大きく 2,318 ㎡、次いで“農地”の「空き地・造成・建設工事中」が 2,280 ㎡、“樹林地”の「空き地・造成・建設工事中」が 2,044 ㎡であった。

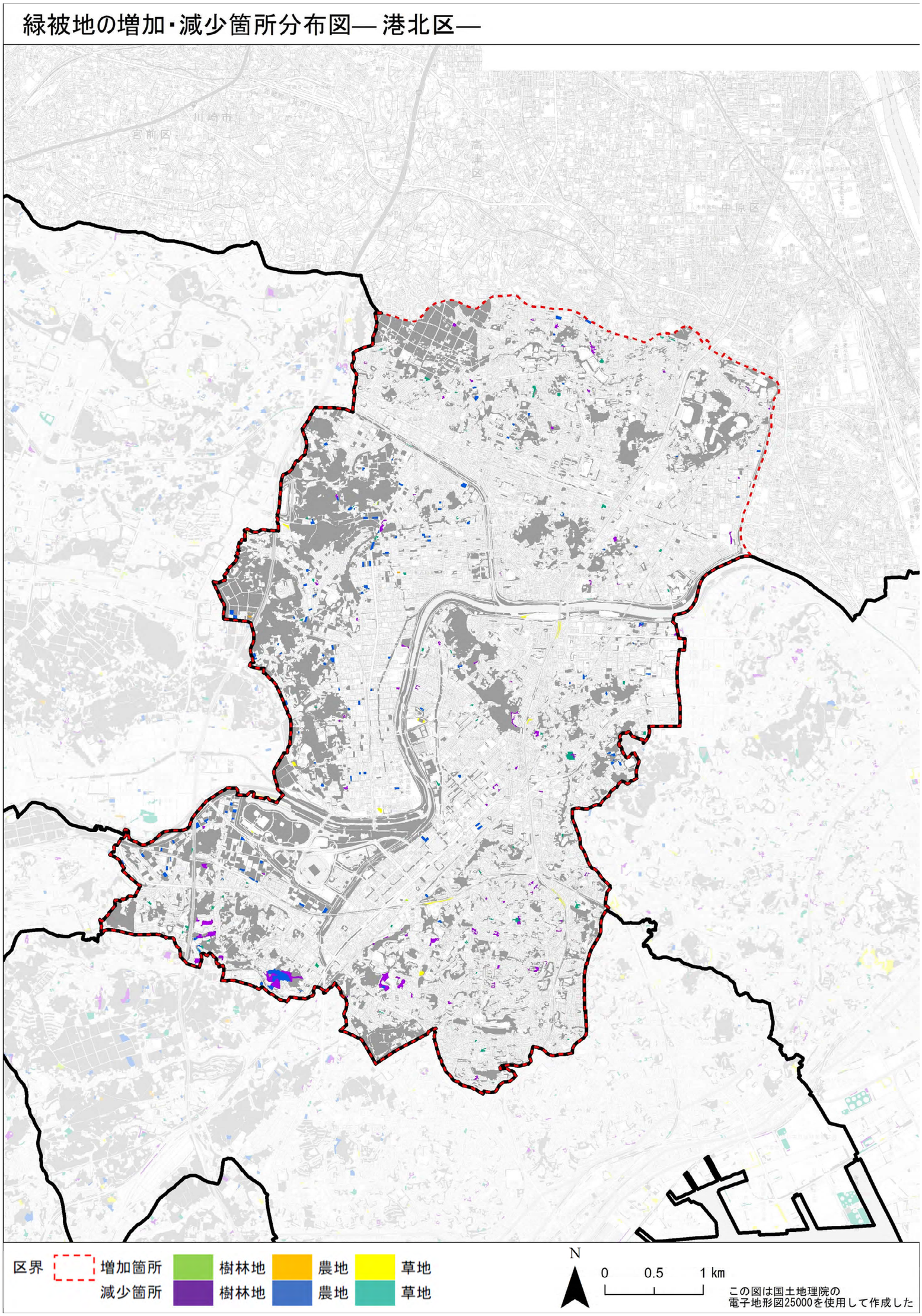
**図表 2-2-30　港北区における増減要因別・緑被地別の集計結果**

| 分類項目 | | | 増減箇所の緑被地面積（ha） | | | | 箇所数（箇所） | | | | 1 箇所当たりの面積の平均値（㎡） | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 樹林地 | 草地 | 農地 | 合計 | 樹林地 | 草地 | 農地 | 合計 | 樹林地 | 草地 | 農地 | 合計 |
| 増加要因 | 1 | 植生の生長/一団化 | 0.1 | 1.5 | 0.0 | 1.7 (85.4%) | 4 | 14 | 0 | 18 | 331 | 1,104 | 0 | 932 |
| | 2 | 精度向上 | 0.0 | 0.2 | 0.0 | 0.2 (8.5%) | 0 | 2 | 0 | 2 | 0 | 840 | 0 | 840 |
| | 3 | 緑化等 | 0.0 | 0.0 | 0.1 | 0.1 (6.1%) | 0 | 0 | 4 | 4 | 0 | 0 | 298 | 298 |
| | 4 | その他 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 (0.0%) | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 合計 | | 0.1 | 1.7 | 0.1 | 2.0 (-) | 4 | 16 | 4 | 24 | 331 | 1,071 | 298 | 819 |
| 減少要因 | 1 | 戸建住宅 | 3.6 | 2.1 | 2.4 | 8.0 (30.4%) | 39 | 35 | 38 | 112 | 920 | 594 | 620 | 716 |
| | 2 | 集合住宅 | 0.2 | 0.3 | 0.7 | 1.2 (4.6%) | 5 | 6 | 9 | 20 | 303 | 578 | 807 | 612 |
| | 3 | 空き地・造成・建設工事中 | 5.1 | 0.8 | 2.7 | 8.6 (32.6%) | 25 | 5 | 12 | 42 | 2,044 | 1,501 | 2,280 | 2,047 |
| | 4 | 工場・事業施設 | 0.5 | 0.4 | 1.3 | 2.1 (8.0%) | 6 | 7 | 14 | 27 | 753 | 566 | 895 | 778 |
| | 5 | 道路整備 | 0.5 | 0.2 | 0.3 | 0.9 (3.5%) | 4 | 4 | 4 | 12 | 1,253 | 379 | 649 | 760 |
| | 6 | グラウンド・広場 | 0.1 | 0.1 | 0.0 | 0.2 (0.6%) | 1 | 1 | 0 | 2 | 549 | 1,083 | 0 | 816 |
| | 7 | 学校・公共施設 | 0.1 | 0.0 | 0.0 | 0.2 (0.6%) | 2 | 0 | 1 | 3 | 570 | 0 | 367 | 502 |
| | 8 | 駐車場・駐輪場 | 0.2 | 0.3 | 2.8 | 3.2 (12.3%) | 8 | 4 | 34 | 46 | 280 | 630 | 812 | 704 |
| | 9 | コンクリートのり面 | 0.1 | 0.0 | 0.0 | 0.1 (0.5%) | 1 | 1 | 0 | 2 | 806 | 478 | 0 | 642 |
| | 10 | 墓地 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 (0.0%) | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 11 | 資材置き場 | 0.0 | 0.0 | 0.4 | 0.4 (1.6%) | 0 | 0 | 3 | 3 | 0 | 0 | 1,390 | 1,390 |
| | 12 | 農業用ハウス・作業小屋 | 0.0 | 0.0 | 0.8 | 0.8 (3.0%) | 0 | 0 | 9 | 9 | 0 | 0 | 886 | 886 |
| | 13 | ソーラーパネル | 0.1 | 0.0 | 0.1 | 0.1 (0.5%) | 1 | 0 | 1 | 2 | 748 | 0 | 515 | 632 |
| | 14 | 水域（用水路、河川、池） | 0.0 | 0.1 | 0.0 | 0.1 (0.5%) | 0 | 2 | 0 | 2 | 0 | 719 | 0 | 719 |
| | 15 | 精度向上 | 0.2 | 0.0 | 0.1 | 0.3 (1.3%) | 1 | 1 | 1 | 3 | 2,318 | 402 | 660 | 1,127 |
| | 16 | その他 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 (0.0%) | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 合計 | | 10.6 | 4.3 | 11.5 | 26.4 (-) | 93 | 66 | 126 | 285 | 1,138 | 654 | 909 | 925 |

※表中の（　）内は、増加・減少要因別の合計で割った値

**出所：アジア航測株式会社が作成**

図表　2-2-31　港北区における緑被地の増加・減少箇所の分布




出所：アジア航測株式会社が作成

### ⑫緑区

神奈川区における増減要因別、緑被地別の分類結果を集計した（図表 2-2-32）。また、神奈川区の緑被地の増減箇所の分布状況は図表 2-2-33 の通りであった。第 11 次調査から緑区の緑被地は、増加箇所が 3.8ha、減少箇所が 16.1ha で、差し引き 12.3ha 減少していた。

増加要因別の緑被地面積は、「植生の生長/一団化」が 1.9ha と最も大きく、全体の約 50.2%を占めていた。緑被地別では「緑化等」による“農地”の増加が最も大きく 1.8ha であった。増加箇所の 1 箇所当たりの平均面積を見ると、“農地”の「緑化等」が最も大きく 3,639 ㎡、次いで“草地”の「植生の成長/一団化」が 949 ㎡、“樹林地”の「植生の成長/一団化」が 629 ㎡であった。

減少要因別の緑被地面積は、「戸建住宅」が 5.8ha と最も大きく、全体の 35.9%を占めていた。緑被地別は、「戸建住宅」による“樹林地”の減少が最も大きく 2.4ha であった。減少箇所の 1 箇所当たりの平均面積を見ると、“草地”の「工場・事業施設」が最も大きく 3,295 ㎡、次いで“草地”の「水域（用水路、河川、池）」が 3,258 ㎡、“草地”の「グラウンド・広場」が 1,840 ㎡であった。

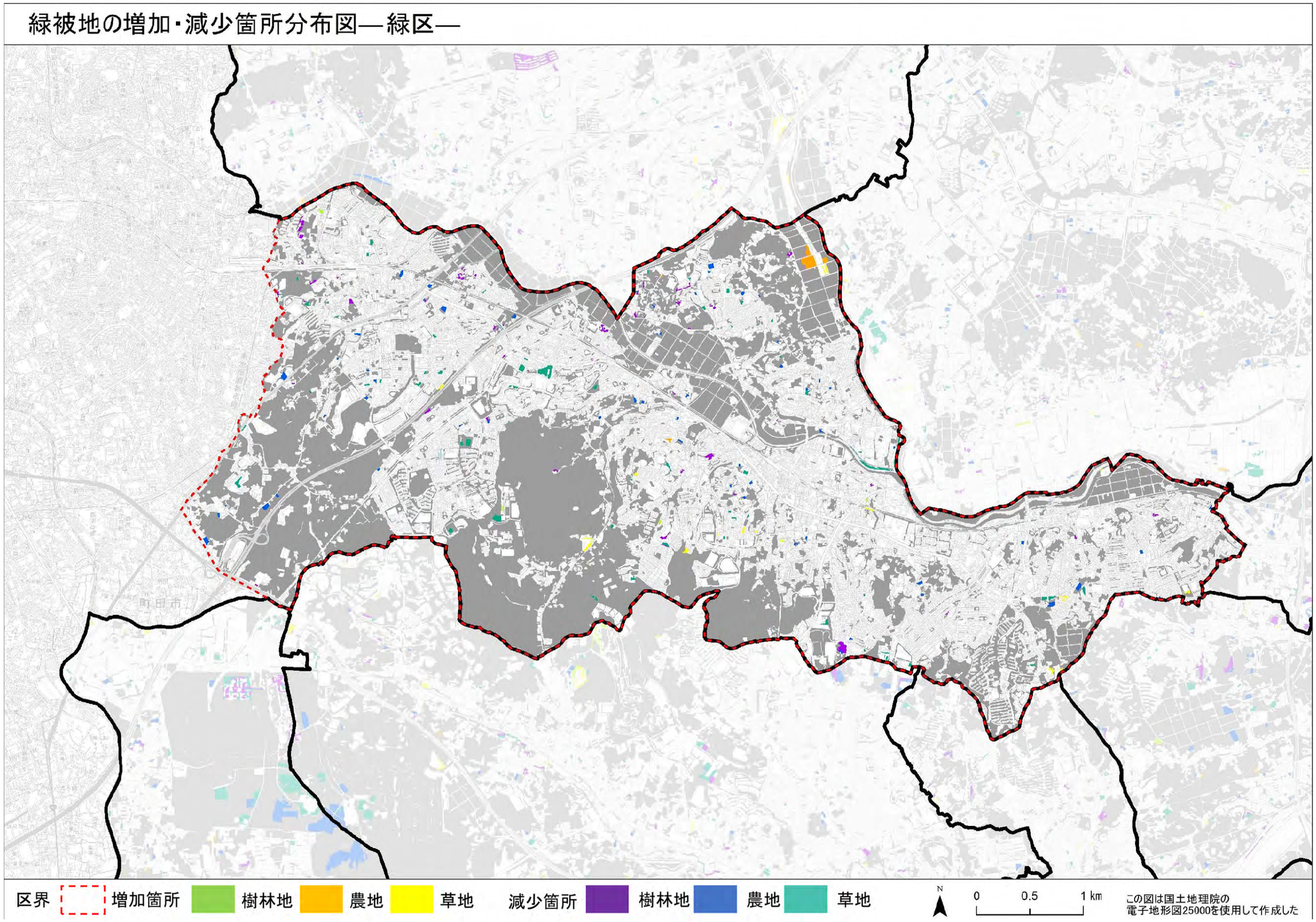
**図表　2-2-32　緑区における増減要因別・緑被地別の集計結果**

| 分類項目 | | | 増減箇所の緑被地面積（ha） | | | | 箇所数（箇所） | | | | 1 箇所当たりの面積の平均値（㎡） | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 樹林地 | 草地 | 農地 | 合計 | 樹林地 | 草地 | 農地 | 合計 | 樹林地 | 草地 | 農地 | 合計 |
| 増加要因 | 1 | 植生の生長/一団化 | 0.2 | 1.7 | 0.0 | 1.9 (50.2%) | 3 | 18 | 0 | 21 | 629 | 949 | 0 | 903 |
| | 2 | 精度向上 | 0.1 | 0.0 | 0.0 | 0.1 (1.6%) | 1 | 0 | 0 | 1 | 588 | 0 | 0 | 588 |
| | 3 | 緑化等 | 0.0 | 0.0 | 1.8 | 1.8 (48.2%) | 0 | 0 | 5 | 5 | 0 | 0 | 3,639 | 3,639 |
| | 4 | その他 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 (0.0%) | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 合計 | | 0.2 | 1.7 | 1.8 | 3.8 (-) | 4 | 18 | 5 | 27 | 619 | 949 | 3,639 | 1,398 |
| 減少要因 | 1 | 戸建住宅 | 2.4 | 1.2 | 2.2 | 5.8 (35.9%) | 38 | 26 | 35 | 99 | 633 | 449 | 626 | 582 |
| | 2 | 集合住宅 | 0.5 | 0.2 | 0.1 | 0.8 (5.0%) | 4 | 3 | 1 | 8 | 1,175 | 779 | 910 | 994 |
| | 3 | 空き地・造成・建設工事中 | 0.8 | 1.7 | 1.2 | 3.7 (23.1%) | 6 | 15 | 10 | 31 | 1,280 | 1,147 | 1,227 | 1,198 |
| | 4 | 工場・事業施設 | 0.0 | 1.0 | 0.2 | 1.2 (7.2%) | 0 | 3 | 3 | 6 | 0 | 3,295 | 582 | 1,939 |
| | 5 | 道路整備 | 0.1 | 0.1 | 0.1 | 0.3 (1.8%) | 4 | 2 | 1 | 7 | 339 | 484 | 616 | 420 |
| | 6 | グラウンド・広場 | 0.0 | 1.1 | 0.0 | 1.1 (6.9%) | 0 | 6 | 0 | 6 | 0 | 1,840 | 0 | 1,840 |
| | 7 | 学校・公共施設 | 0.0 | 0.1 | 0.0 | 0.1 (0.8%) | 0 | 1 | 0 | 1 | 0 | 1,240 | 0 | 1,240 |
| | 8 | 駐車場・駐輪場 | 0.2 | 0.8 | 1.0 | 2.0 (12.6%) | 7 | 13 | 15 | 35 | 337 | 618 | 652 | 576 |
| | 9 | コンクリートのり面 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 (0.0%) | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 10 | 墓地 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 (0.0%) | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 11 | 資材置き場 | 0.0 | 0.0 | 0.1 | 0.1 (0.3%) | 0 | 0 | 1 | 1 | 0 | 0 | 501 | 501 |
| | 12 | 農業用ハウス・作業小屋 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 (0.2%) | 1 | 0 | 1 | 2 | 138 | 0 | 117 | 127 |
| | 13 | ソーラーパネル | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 (0.0%) | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 14 | 水域（用水路、河川、池） | 0.0 | 1.0 | 0.0 | 1.0 (6.1%) | 0 | 3 | 0 | 0 | 0 | 3,258 | 0 | 0 |
| | 15 | 精度向上 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 (0.0%) | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 16 | その他 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 (0.2%) | 2 | 0 | 0 | 5 | 128 | 0 | 0 | 51 |
| | 合計 | | 4.1 | 7.2 | 4.8 | 16.1 (-) | 62 | 72 | 67 | 201 | 654 | 1,002 | 714 | 799 |

※表中の（　）内は、増加・減少要因別の合計で割った値

**出所：アジア航測株式会社が作成**

図表　2-2-33　緑区における緑被地の増加・減少箇所の分布




出所：アジア航測株式会社が作成

### ⑬青葉区

青葉区における増減要因別、緑被地別の分類結果を集計した（図表 2-2-34）。また、青葉区の緑被地の増減箇所の分布状況は図表 2-2-35 の通りであった。第 11 次調査から青葉区の緑被地は、増加箇所が 8.9ha、減少箇所が 29.7ha で、差し引き 20.8ha 減少していた。

増加要因別の緑被地面積は、「植生の生長/一団化」が 7.2ha と最も大きく、全体の約 81.0%を占めていた。緑被地別では「植生の生長/一団化」による“草地”の増加が最も大きく 6.2ha であった。増加箇所の 1 箇所当たりの平均面積を見ると、“草地”の「植生の生長/一団化」が最も大きく 1,214 ㎡、次いで“農地”の「緑化等」が 1,054 ㎡、“農地”の「精度向上」が 984 ㎡であった。

減少要因別の緑被地面積は、「戸建住宅」が 11.2ha と最も大きく、全体の 37.7%を占めていた。緑被地別は、「戸建住宅」による“農地”の減少が最も大きく 4.7ha であった。減少箇所の 1 箇所当たりの平均面積を見ると、“樹林地”の「工場・事業施設」が最も大きく 3,486 ㎡、次いで“草地”の「グラウンド・広場」が 3,065 ㎡、“樹林地”の「学校・公共施設」が 1,908 ㎡であった。

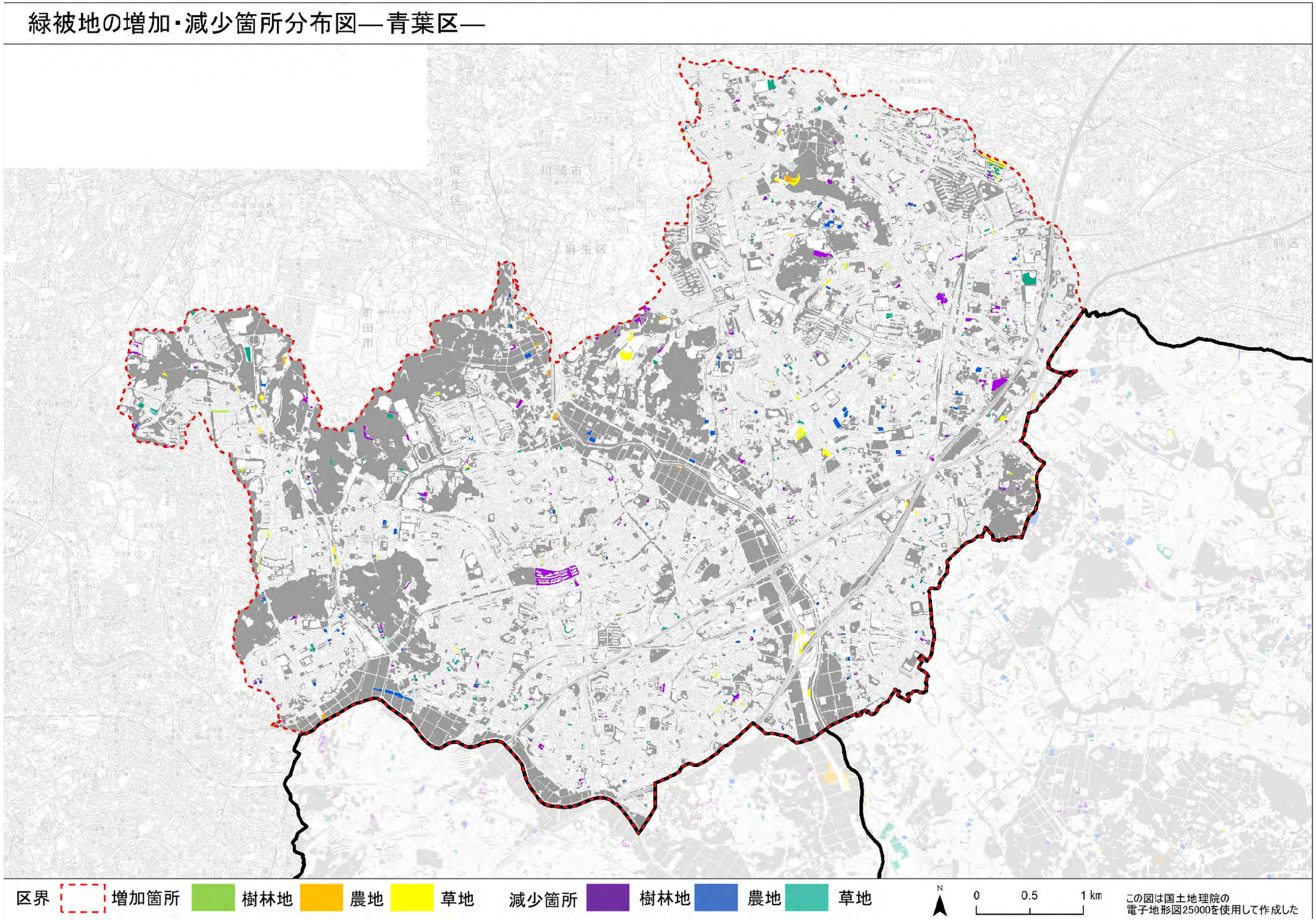
**図表　2-2-34　青葉区における増減要因別・緑被地別の集計結果**

| 分類項目 | | | 増減箇所の緑被地面積（ha） | | | | 箇所数（箇所） | | | | 1 箇所当たりの面積の平均値（㎡） | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 樹林地 | 草地 | 農地 | 合計 | 樹林地 | 草地 | 農地 | 合計 | 樹林地 | 草地 | 農地 | 合計 |
| 増加要因 | 1 | 植生の生長/一団化 | 1.0 | 6.2 | 0.0 | 7.2 (81.0%) | 18 | 51 | 0 | 69 | 563 | 1,214 | 0 | 1,044 |
| | 2 | 精度向上 | 0.1 | 0.2 | 0.5 | 0.7 (8.3%) | 1 | 2 | 5 | 8 | 822 | 818 | 984 | 922 |
| | 3 | 緑化等 | 0.0 | 0.0 | 0.9 | 0.9 (10.7%) | 0 | 0 | 9 | 9 | 0 | 0 | 1,054 | 1,054 |
| | 4 | その他 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 (0.0%) | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 合計 | | 1.1 | 6.4 | 1.4 | 8.9 (-) | 19 | 53 | 14 | 86 | 577 | 1,199 | 1,029 | 1,034 |
| 減少要因 | 1 | 戸建住宅 | 3.8 | 2.7 | 4.7 | 11.2 (37.7%) | 79 | 54 | 57 | 190 | 480 | 508 | 818 | 589 |
| | 2 | 集合住宅 | 0.7 | 0.2 | 0.1 | 1.0 (3.3%) | 9 | 5 | 1 | 15 | 795 | 376 | 728 | 651 |
| | 3 | 空き地・造成・建設工事中 | 4.3 | 2.5 | 0.6 | 7.4 (24.9%) | 34 | 22 | 9 | 65 | 1,265 | 1,138 | 651 | 1,137 |
| | 4 | 工場・事業施設 | 4.2 | 0.5 | 0.2 | 4.8 (16.3%) | 12 | 7 | 4 | 23 | 3,486 | 677 | 443 | 2,102 |
| | 5 | 道路整備 | 0.3 | 0.0 | 0.7 | 1.1 (3.7%) | 3 | 0 | 4 | 7 | 1,140 | 0 | 1,857 | 1,550 |
| | 6 | グラウンド・広場 | 0.1 | 1.2 | 0.0 | 1.3 (4.3%) | 1 | 4 | 0 | 5 | 522 | 3,065 | 0 | 2,557 |
| | 7 | 学校・公共施設 | 0.2 | 0.0 | 0.0 | 0.2 (0.6%) | 1 | 0 | 0 | 1 | 1,908 | 0 | 0 | 1,908 |
| | 8 | 駐車場・駐輪場 | 0.1 | 0.4 | 0.6 | 1.0 (3.5%) | 4 | 9 | 10 | 23 | 332 | 392 | 550 | 450 |
| | 9 | コンクリートのり面 | 0.2 | 0.0 | 0.0 | 0.2 (0.5%) | 2 | 0 | 0 | 2 | 752 | 0 | 0 | 752 |
| | 10 | 墓地 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 (0.0%) | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 11 | 資材置き場 | 0.3 | 0.3 | 0.2 | 0.8 (2.7%) | 4 | 3 | 3 | 10 | 687 | 987 | 774 | 803 |
| | 12 | 農業用ハウス・作業小屋 | 0.0 | 0.0 | 0.6 | 0.6 (1.9%) | 0 | 0 | 3 | 3 | 0 | 0 | 1,842 | 1,842 |
| | 13 | ソーラーパネル | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 (0.0%) | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 14 | 水域（用水路、河川、池） | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 (0.0%) | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 15 | 精度向上 | 0.0 | 0.1 | 0.1 | 0.2 (0.7%) | 1 | 1 | 1 | 3 | 271 | 557 | 1,214 | 681 |
| | 16 | その他 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 (0.0%) | 0 | 0 | 2 | 2 | 0 | 0 | 2 | 2 |
| | 合計 | | 14.2 | 7.8 | 7.7 | 29.7 (-) | 150 | 105 | 94 | 349 | 944 | 747 | 819 | 851 |

※表中の（　）内は、増加・減少要因別の合計で割った値

**出所：アジア航測株式会社が作成**

図表　2-2-35　青葉区における緑被地の増加・減少箇所の分布




出所：アジア航測株式会社が作成

### ⑭都筑区

都筑区における増減要因別、緑被地別の分類結果を集計した（図表 2-2-36）。また、都筑区の緑被地の増減箇所の分布状況は図表 2-2-37 の通りであった。第 11 次調査から都筑区の緑被地は、増加箇所が 3.7ha、減少箇所が 27.0ha で、差し引き 23.3ha 減少していた。

増加要因別の緑被地面積は、「植生の生長/一団化」が 3.1ha と最も大きく、全体の約 84.3%を占めていた。緑被地別では「植生の生長/一団化」による“草地”の増加が最も大きく 2.2ha であった。増加箇所の 1 箇所当たりの平均面積を見ると、“農地”の「緑化等」が最も大きく 1,791 ㎡、次いで“樹林地”の「精度向上」が 1,705 ㎡、“草地”の「植生の成長/一団化」が 1,139 ㎡であった。

減少要因別の緑被地面積は、「戸建住宅」が 7.1ha と最も大きく、全体の 26.4%を占めていた。緑被地別は、「工場・事業施設」による“草地”の減少が最も大きく 5.6ha であった。減少箇所の 1 箇所当たりの平均面積を見ると、“樹林地”の「グラウンド・広場」が 4,028 ㎡、次いで“農地”の「学校・公共施設」が最も大きく 3,910 ㎡、“草地”の「工場・事業施設」が 3,301 ㎡であった。

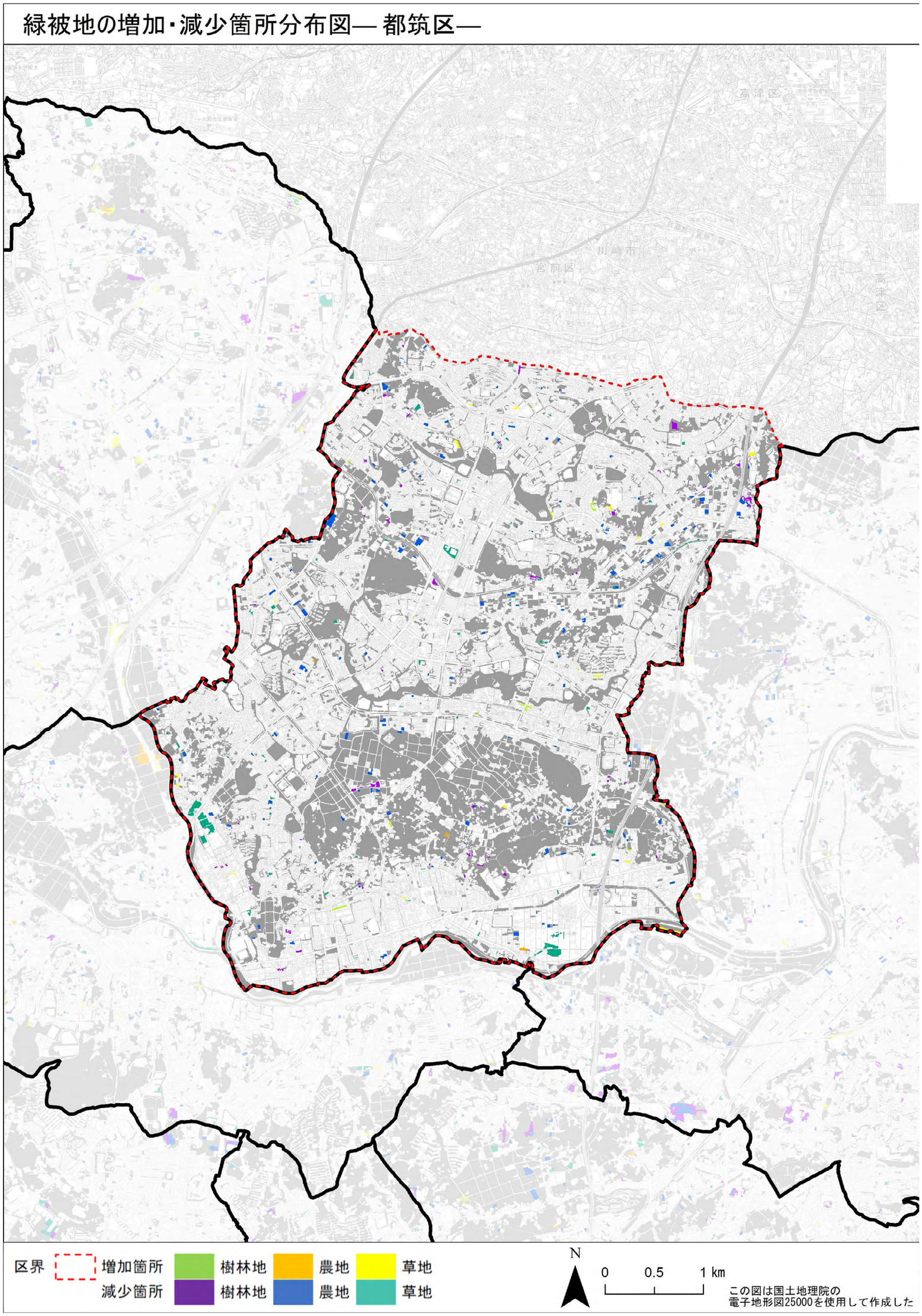
**図表　2-2-36　都筑区における増減要因別・緑被地別の集計結果**

| 分類項目 | | | 増減箇所の緑被地面積（ha） | | | | 箇所数（箇所） | | | | 1 箇所当たりの面積の平均値（㎡） | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 樹林地 | 草地 | 農地 | 合計 | 樹林地 | 草地 | 農地 | 合計 | 樹林地 | 草地 | 農地 | 合計 |
| 増加要因 | 1 | 植生の生長/一団化 | 0.9 | 2.2 | 0.0 | 3.1 (84.3%) | 11 | 19 | 0 | 30 | 833 | 1,139 | 0 | 1,027 |
| | 2 | 精度向上 | 0.2 | 0.0 | 0.2 | 0.4 (10.8%) | 1 | 0 | 3 | 4 | 1,705 | 0 | 750 | 989 |
| | 3 | 緑化等 | 0.0 | 0.0 | 0.2 | 0.2 (4.9%) | 0 | 0 | 1 | 1 | 0 | 0 | 1,791 | 1,791 |
| | 4 | その他 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 (0.0%) | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 合計 | | 1.1 | 2.2 | 0.4 | 3.7 (-) | 12 | 19 | 4 | 35 | 906 | 1,139 | 1,010 | 1,044 |
| 減少要因 | 1 | 戸建住宅 | 1.6 | 1.3 | 4.2 | 7.1 (26.4%) | 44 | 27 | 74 | 145 | 362 | 492 | 566 | 490 |
| | 2 | 集合住宅 | 0.1 | 0.2 | 0.8 | 1.1 (3.9%) | 1 | 3 | 9 | 13 | 1,262 | 531 | 865 | 818 |
| | 3 | 空き地・造成・建設工事中 | 1.1 | 0.4 | 1.6 | 3.1 (11.4%) | 13 | 6 | 19 | 38 | 821 | 640 | 853 | 808 |
| | 4 | 工場・事業施設 | 0.2 | 5.6 | 0.7 | 6.5 (24.2%) | 4 | 17 | 10 | 31 | 508 | 3,301 | 703 | 2,103 |
| | 5 | 道路整備 | 0.2 | 0.2 | 0.0 | 0.4 (1.3%) | 4 | 5 | 0 | 9 | 501 | 318 | 0 | 399 |
| | 6 | グラウンド・広場 | 0.4 | 0.0 | 0.2 | 0.6 (2.2%) | 1 | 0 | 1 | 2 | 4,028 | 0 | 1,964 | 2,996 |
| | 7 | 学校・公共施設 | 0.0 | 0.0 | 0.8 | 0.9 (3.2%) | 2 | 1 | 2 | 5 | 241 | 444 | 3,910 | 1,749 |
| | 8 | 駐車場・駐輪場 | 0.8 | 0.8 | 3.6 | 5.2 (19.2%) | 12 | 12 | 40 | 64 | 667 | 631 | 906 | 809 |
| | 9 | コンクリートのり面 | 0.1 | 0.0 | 0.0 | 0.1 (0.3%) | 2 | 0 | 0 | 2 | 357 | 0 | 0 | 357 |
| | 10 | 墓地 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 (0.0%) | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 11 | 資材置き場 | 0.0 | 0.1 | 0.6 | 0.7 (2.5%) | 2 | 3 | 5 | 10 | 182 | 252 | 1,114 | 669 |
| | 12 | 農業用ハウス・作業小屋 | 0.0 | 0.0 | 0.8 | 0.8 (3.1%) | 0 | 0 | 11 | 11 | 0 | 0 | 754 | 754 |
| | 13 | ソーラーパネル | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 (0.0%) | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 14 | 水域（用水路、河川、池） | 0.0 | 0.5 | 0.0 | 0.5 (1.8%) | 0 | 6 | 0 | 6 | 0 | 805 | 0 | 805 |
| | 15 | 精度向上 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 (0.0%) | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 16 | その他 | 0.1 | 0.0 | 0.0 | 0.1 (0.5%) | 3 | 2 | 2 | 7 | 253 | 88 | 160 | 179 |
| | 合計 | | 4.6 | 9.0 | 13.3 | 27.0 (-) | 88 | 82 | 173 | 343 | 526 | 1,100 | 769 | 786 |

※表中の（　）内は、増加・減少要因別の合計で割った値

**出所：アジア航測株式会社が作成**

図表　2-2-37　都筑区における緑被地の増加・減少箇所の分布




出所：アジア航測株式会社が作成

### ⑮戸塚区

戸塚区における増減要因別、緑被地別の分類結果を集計した（図表 2-2-38）。また、戸塚区の緑被地の増減箇所の分布状況は図表 2-2-39 の通りであった。第 11 次調査から戸塚区の緑被地は、増加箇所が 15.5ha、減少箇所が 34.8ha で、差し引き 19.2ha 減少していた。

増加要因別の緑被地面積は、「植生の生長/一団化」が 9.3ha と最も大きく、全体の約 59.7%を占めていた。緑被地別では「植生の生長/一団化」による“草地”の増加が最も大きく 7.8ha であった。増加箇所の 1 箇所当たりの平均面積を見ると、“草地”の「緑化等」が最も大きく 3,911 ㎡、次いで“草地”の「植生の成長/一団化」が 2,113 ㎡、“農地”の「緑化等」が 1,025 ㎡であった。

減少要因別の緑被地面積は、「空き地・造成・建設工事中」が 12.7ha と最も大きく、全体の 36.5%を占めていた。緑被地別は、「空き地・造成・建設工事中」による“樹林地”の減少が最も大きく 5.9ha であった。減少箇所の 1 箇所当たりの平均面積を見ると、“草地”の「グラウンド・広場」が最も大きく 2,829 ㎡、次いで“草地”の「コンクリートのり面」が 1,884 ㎡、“樹林地”の「空き地・造成・建設工事中」が 1,697 ㎡であった。

図表　2-2-38　戸塚区における緑被地の増加・減少箇所の分布

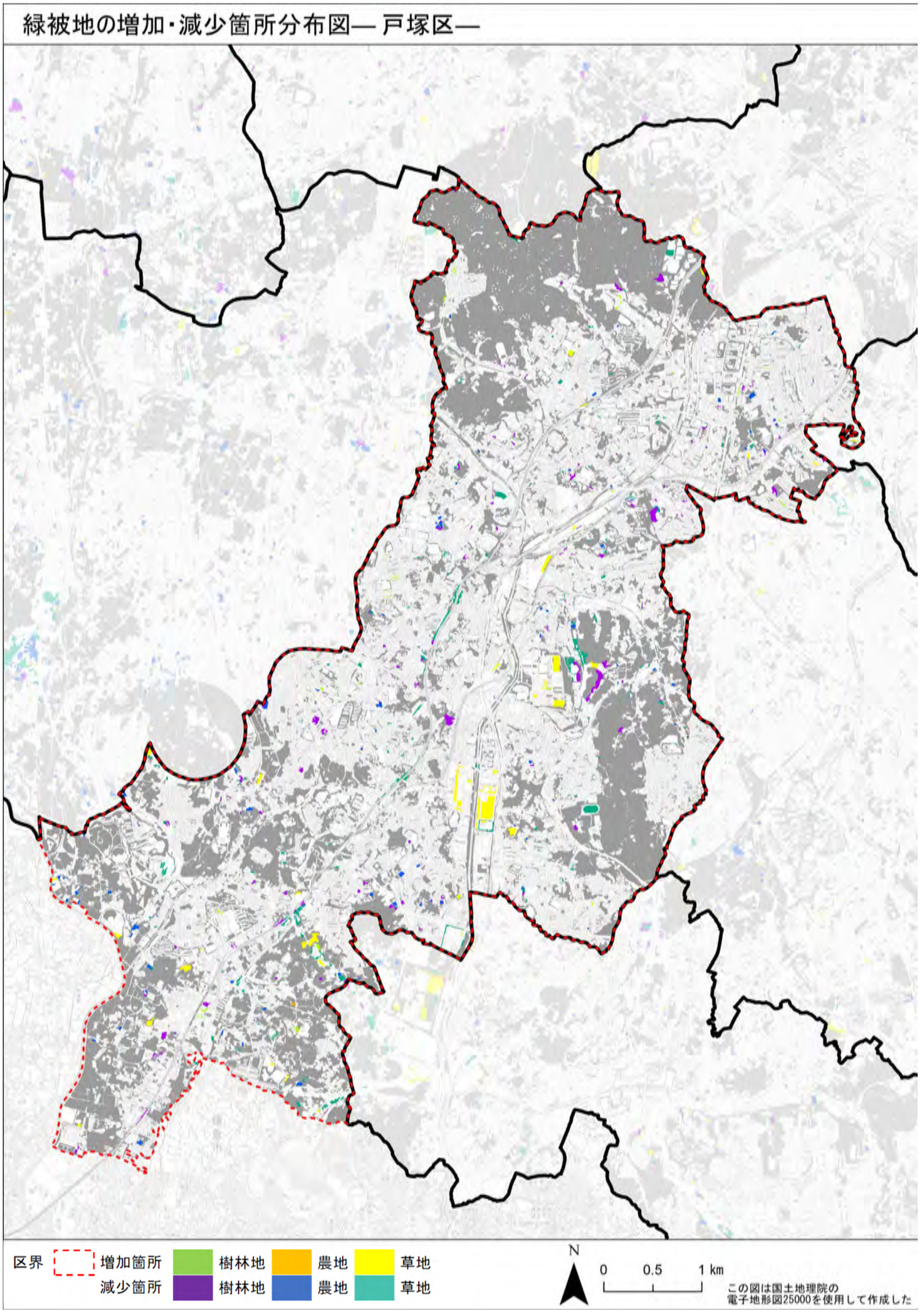
| 分類項目 | | | 増減箇所の緑被地面積（ha） | | | | 箇所数（箇所） | | | | 1箇所当たりの面積の平均値（㎡） | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 樹林地 | 草地 | 農地 | 合計 | 樹林地 | 草地 | 農地 | 合計 | 樹林地 | 草地 | 農地 | 合計 |
| 増加要因 | 1 | 植生の生長/一団化 | 1.4 | 7.8 | 0.0 | 9.3 (59.7%) | 22 | 37 | 0 | 59 | 657 | 2,113 | 0 | 1,570 |
| | 2 | 精度向上 | 0.3 | 0.0 | 0.0 | 0.3 (1.9%) | 8 | 1 | 0 | 9 | 314 | 366 | 0 | 319 |
| | 3 | 緑化等 | 0.0 | 5.9 | 0.1 | 6.0 (38.5%) | 0 | 15 | 1 | 16 | 0 | 3,911 | 1,025 | 3,731 |
| | 4 | その他 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 (0.0%) | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 合計 | | 1.7 | 13.7 | 0.1 | 15.5 (-) | 30 | 53 | 1 | 84 | 566 | 2,589 | 1,025 | 1,848 |
| 減少要因 | 1 | 戸建住宅 | 2.7 | 2.4 | 1.9 | 7.0 (20.1%) | 48 | 42 | 27 | 117 | 563 | 563 | 706 | 596 |
| | 2 | 集合住宅 | 1.6 | 0.4 | 0.5 | 2.5 (7.2%) | 19 | 8 | 10 | 37 | 844 | 531 | 489 | 680 |
| | 3 | 空き地・造成・建設工事中 | 5.9 | 5.4 | 1.4 | 12.7 (36.5%) | 35 | 46 | 17 | 98 | 1,697 | 1,171 | 801 | 1,295 |
| | 4 | 工場・事業施設 | 0.4 | 1.7 | 1.0 | 3.1 (8.9%) | 6 | 17 | 9 | 32 | 651 | 1,016 | 1,080 | 965 |
| | 5 | 道路整備 | 0.3 | 1.3 | 0.1 | 1.8 (5.1%) | 7 | 18 | 4 | 29 | 489 | 737 | 277 | 614 |
| | 6 | グラウンド・広場 | 0.1 | 2.0 | 0.0 | 2.1 (6.0%) | 2 | 7 | 0 | 9 | 497 | 2,829 | 0 | 2,310 |
| | 7 | 学校・公共施設 | 0.2 | 0.1 | 0.2 | 0.5 (1.4%) | 2 | 2 | 2 | 6 | 1,134 | 385 | 974 | 831 |
| | 8 | 駐車場・駐輪場 | 0.4 | 0.9 | 1.0 | 2.3 (6.6%) | 9 | 15 | 13 | 37 | 444 | 571 | 793 | 618 |
| | 9 | コンクリートのり面 | 0.6 | 0.8 | 0.0 | 1.3 (3.8%) | 6 | 4 | 0 | 10 | 946 | 1,884 | 0 | 1,322 |
| | 10 | 墓地 | 0.1 | 0.0 | 0.0 | 0.1 (0.2%) | 2 | 0 | 0 | 2 | 418 | 0 | 0 | 418 |
| | 11 | 資材置き場 | 0.0 | 0.2 | 0.2 | 0.4 (1.0%) | 0 | 4 | 2 | 6 | 0 | 461 | 883 | 601 |
| | 12 | 農業用ハウス・作業小屋 | 0.0 | 0.2 | 0.7 | 0.9 (2.6%) | 0 | 2 | 8 | 10 | 0 | 936 | 900 | 907 |
| | 13 | ソーラーパネル | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 (0.0%) | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 14 | 水域（用水路、河川、池） | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 (0.0%) | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 15 | 精度向上 | 0.0 | 0.1 | 0.0 | 0.2 (0.5%) | 0 | 3 | 1 | 4 | 0 | 408 | 405 | 408 |
| | 16 | その他 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 (0.0%) | 1 | 1 | 0 | 2 | 30 | 38 | 0 | 34 |
| | 合計 | | 12.4 | 15.4 | 7.0 | 34.8 (-) | 137 | 169 | 93 | 399 | 902 | 911 | 753 | 871 |

※表中の（　）内は、増加・減少要因別の合計で割った値

※数値の単位未満は四捨五入し表示しているため、内訳を積み上げた数値は合計の数値と一致しない場合がある。

出所：アジア航測株式会社が作成

図表　2-2-39　戸塚区における緑被地の増加・減少箇所の分布




出所：アジア航測株式会社が作成

### ⑯栄区

栄区における増減要因別、緑被地別の分類結果を集計した（図表 2-2-40）。また、栄区の緑被地の増減箇所の分布状況は図表 2-2-41 の通りであった。第 11 次調査から栄区の緑被地は、増加箇所が 8.3ha、減少箇所が 14.6ha で、差し引き 6.3ha 減少していた。

増加要因別の緑被地面積は、「植生の生長/一団化」が 8.0ha と最も大きく、全体の約 96.8%を占めていた。緑被地別では「植生の生長/一団化」による“草地”の増加が最も大きく 7.5ha であった。増加箇所の 1 箇所当たりの平均面積を見ると、“草地”の「植生の生長/一団化」が最も大きく 1,837 ㎡、次いで“樹林地”の「植生の成長/一団化」が 646 ㎡、“農地”の「緑化等」が 447 ㎡であった。

減少要因別の緑被地面積は、「空き地・造成・建設工事中」が 9.3ha と最も大きく、全体の 63.5%を占めていた。緑被地別は、「空き地・造成・建設工事中」による“草地”の減少が最も大きく 4.9ha であった。減少箇所の 1 箇所当たりの平均面積を見ると、“農地”の「グラウンド・広場」が最も大きく 2,615 ㎡、次いで“農地”の「農業用ハウス・作業小屋」が 2,092 ㎡、“樹林地”の「空き地・造成・建設工事中」が 1,895 ㎡であった。

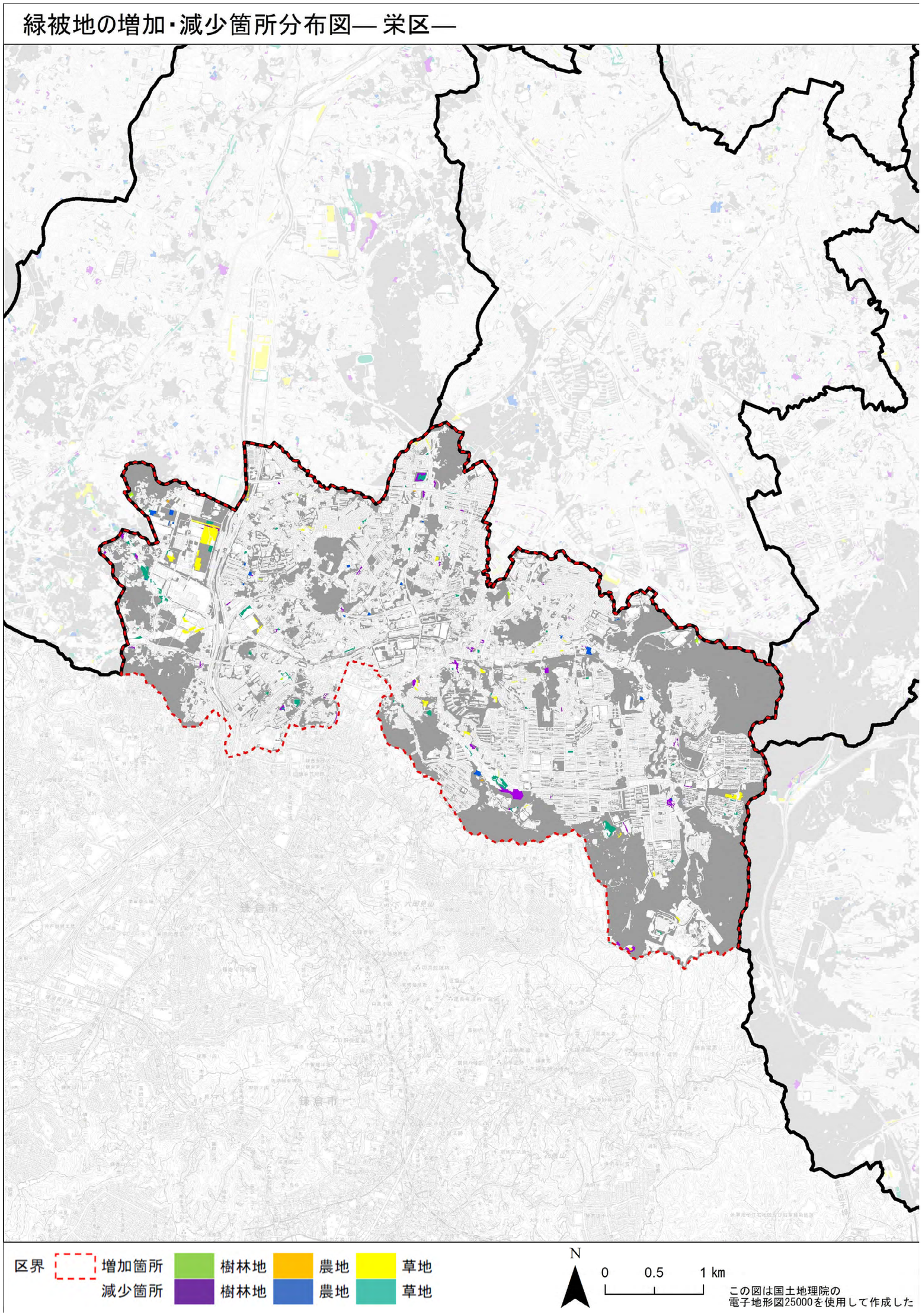
**図表　2-2-40　栄区における緑被地の増加・減少箇所の分布**

| 分類項目 | | | 増減箇所の緑被地面積（ha） | | | | 箇所数（箇所） | | | | 1 箇所当たりの面積の平均値（㎡） | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 樹林地 | 草地 | 農地 | 合計 | 樹林地 | 草地 | 農地 | 合計 | 樹林地 | 草地 | 農地 | 合計 |
| 増加要因 | 1 | 植生の生長/一団化 | 0.5 | 7.5 | 0.0 | 8.0 (96.8%) | 8 | 41 | 0 | 49 | 646 | 1,837 | 0 | 1,642 |
| | 2 | 精度向上 | 0.0 | 0.1 | 0.0 | 0.1 (1.6%) | 1 | 4 | 0 | 5 | 404 | 224 | 0 | 260 |
| | 3 | 緑化等 | 0.0 | 0.0 | 0.1 | 0.1 (1.6%) | 0 | 0 | 3 | 3 | 0 | 0 | 447 | 447 |
| | 4 | その他 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 (0.0%) | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 合計 | | 0.6 | 7.6 | 0.1 | 8.3 (-) | 9 | 45 | 3 | 57 | 619 | 1,693 | 447 | 1,458 |
| 減少要因 | 1 | 戸建住宅 | 0.6 | 0.7 | 0.4 | 1.7 (11.4%) | 12 | 17 | 5 | 34 | 492 | 417 | 732 | 490 |
| | 2 | 集合住宅 | 0.0 | 0.3 | 0.2 | 0.5 (3.3%) | 1 | 4 | 3 | 8 | 387 | 712 | 509 | 595 |
| | 3 | 空き地・造成・建設工事中 | 4.0 | 4.9 | 0.4 | 9.3 (63.5%) | 21 | 31 | 5 | 57 | 1,895 | 1,580 | 822 | 1,630 |
| | 4 | 工場・事業施設 | 0.2 | 0.0 | 0.4 | 0.6 (4.4%) | 4 | 1 | 3 | 8 | 476 | 342 | 1,411 | 810 |
| | 5 | 道路整備 | 0.1 | 0.2 | 0.0 | 0.4 (2.4%) | 4 | 6 | 1 | 11 | 341 | 362 | 45 | 325 |
| | 6 | グラウンド・広場 | 0.1 | 0.4 | 0.3 | 0.8 (5.6%) | 3 | 3 | 1 | 7 | 499 | 1,381 | 2,615 | 1,179 |
| | 7 | 学校・公共施設 | 0.0 | 0.0 | 0.1 | 0.2 (1.1%) | 0 | 1 | 2 | 3 | 0 | 329 | 665 | 553 |
| | 8 | 駐車場・駐輪場 | 0.0 | 0.1 | 0.0 | 0.1 (0.5%) | 0 | 3 | 0 | 3 | 0 | 265 | 0 | 265 |
| | 9 | コンクリートのり面 | 0.3 | 0.0 | 0.0 | 0.3 (1.9%) | 2 | 0 | 0 | 2 | 1,393 | 0 | 0 | 1,393 |
| | 10 | 墓地 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 (0.3%) | 0 | 1 | 0 | 1 | 0 | 466 | 0 | 466 |
| | 11 | 資材置き場 | 0.1 | 0.2 | 0.0 | 0.3 (2.0%) | 1 | 3 | 0 | 4 | 627 | 786 | 0 | 746 |
| | 12 | 農業用ハウス・作業小屋 | 0.0 | 0.0 | 0.2 | 0.2 (1.4%) | 0 | 0 | 1 | 1 | 0 | 0 | 2,092 | 2,092 |
| | 13 | ソーラーパネル | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 (0.0%) | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 14 | 水域（用水路、河川、池） | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 (0.0%) | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 15 | 精度向上 | 0.2 | 0.1 | 0.0 | 0.3 (1.9%) | 5 | 1 | 0 | 6 | 443 | 617 | 0 | 472 |
| | 16 | その他 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 (0.0%) | 0 | 0 | 2 | 2 | 0 | 0 | 1 | 1 |
| | 合計 | | 5.6 | 7.0 | 2.0 | 14.6 (-) | 53 | 71 | 23 | 147 | 1,066 | 988 | 853 | 995 |

※表中の（　）内は、増加・減少要因別の合計で割った値

**出所：アジア航測株式会社が作成**

図表　2-2-41　栄区における緑被地の増加・減少箇所の分布




出所：アジア航測株式会社が作成

### ⑰泉区

泉区における増減要因別、緑被地別の分類結果を集計した（図表 2-2-42）。また、泉区の緑被地の増減箇所の分布状況は図表 2-2-43 の通りであった。第 11 次調査から泉区の緑被地は、増加箇所が 4.7ha、減少箇所が 30.0ha で、差し引き 25.3ha 減少していた。

増加要因別の緑被地面積は、「植生の生長/一団化」が 3.0ha と最も大きく、全体の約 64.6%を占めていた。緑被地別では「植生の生長/一団化」による“草地”の増加が最も大きく 2.4ha であった。増加箇所の 1 箇所当たりの平均面積を見ると、“草地”の「緑化等」が最も大きく 1,937 ㎡、次いで“草地”の「植生の成長/一団化」が 1,088 ㎡、“農地”の「緑化等」が 1,023 ㎡であった。

減少要因別の緑被地面積は、「空き地・造成・建設工事中」が 6.9ha と最も大きく、全体の 23.1%を占めていた。緑被地別は、「工場・事業施設」による“農地”の減少が最も大きく 4.3ha であった。減少箇所の 1 箇所当たりの平均面積を見ると、“草地”の「学校・公共施設」が最も大きく 5,703 ㎡、次いで“草地”の「ソーラーパネル」が 3,094 ㎡、“農地”の「工場・事業施設」が 2,032 ㎡であった。

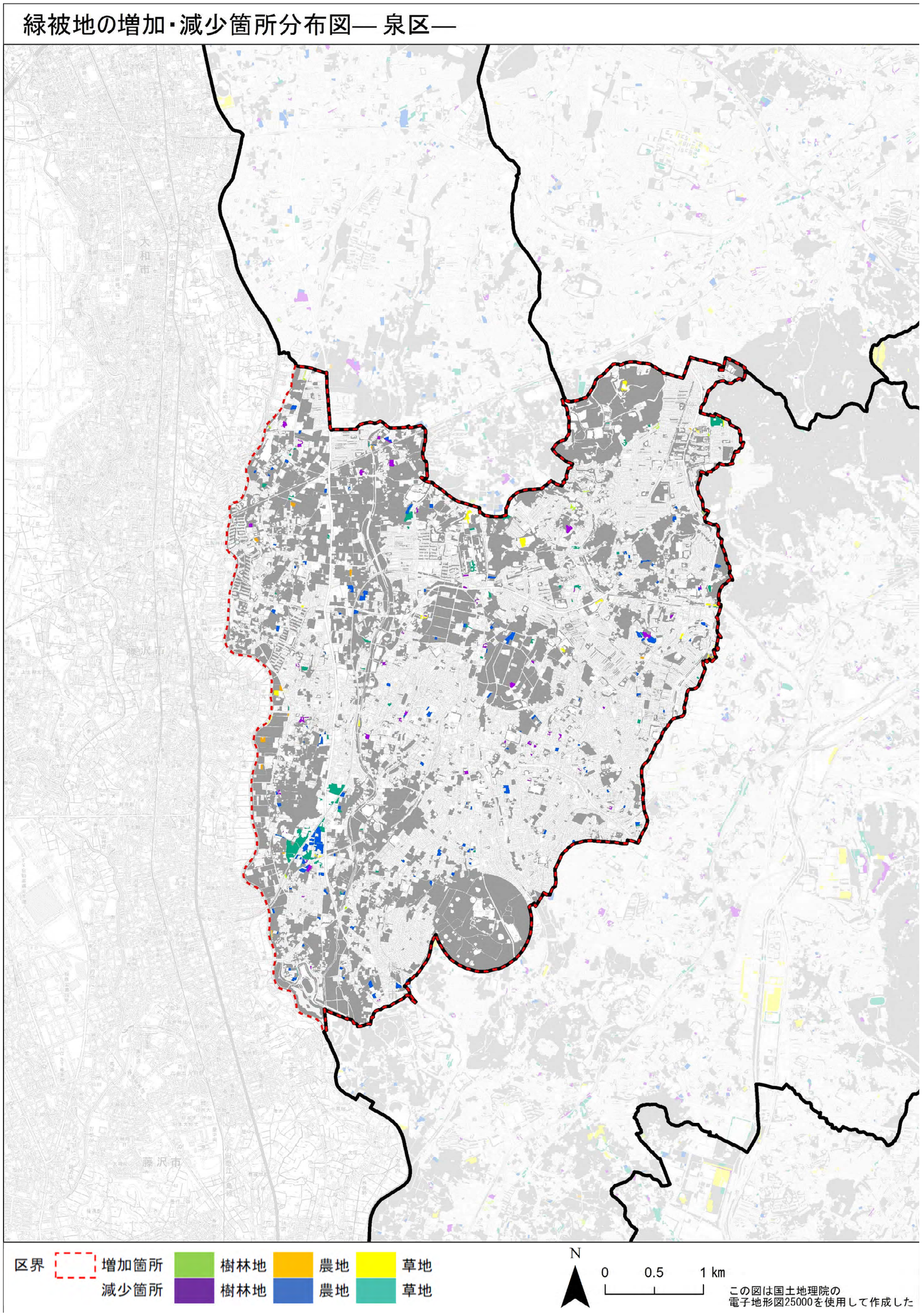
**図表　2-2-42　泉区における緑被地の増加・減少箇所の分布**

| 分類項目 | | | 増減箇所の緑被地面積（ha） | | | | 箇所数（箇所） | | | | 1 箇所当たりの面積の平均値（㎡） | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 樹林地 | 草地 | 農地 | 合計 | 樹林地 | 草地 | 農地 | 合計 | 樹林地 | 草地 | 農地 | 合計 |
| 増加要因 | 1 | 植生の生長/一団化 | 0.6 | 2.4 | 0.0 | 3.0 (64.6%) | 10 | 22 | 0 | 32 | 637 | 1,088 | 0 | 947 |
| | 2 | 精度向上 | 0.2 | 0.1 | 0.6 | 0.9 (18.2%) | 4 | 1 | 7 | 12 | 393 | 809 | 883 | 713 |
| | 3 | 緑化等 | 0.0 | 0.2 | 0.6 | 0.8 (17.2%) | 0 | 1 | 6 | 7 | 0 | 1,937 | 1,023 | 1,154 |
| | 4 | その他 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 (0.0%) | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 合計 | | 0.8 | 2.7 | 1.2 | 4.7 (-) | 14 | 24 | 13 | 51 | 568 | 1,112 | 948 | 920 |
| 減少要因 | 1 | 戸建住宅 | 1.4 | 2.4 | 2.6 | 6.5 (21.6%) | 18 | 15 | 36 | 69 | 787 | 1,625 | 733 | 941 |
| | 2 | 集合住宅 | 0.0 | 1.1 | 0.5 | 1.6 (5.4%) | 1 | 7 | 7 | 15 | 361 | 1,569 | 710 | 1,087 |
| | 3 | 空き地・造成・建設工事中 | 1.9 | 1.6 | 3.4 | 6.9 (23.1%) | 13 | 18 | 25 | 56 | 1,428 | 901 | 1,377 | 1,236 |
| | 4 | 工場・事業施設 | 0.5 | 1.8 | 4.3 | 6.6 (21.9%) | 6 | 9 | 21 | 36 | 841 | 1,998 | 2,032 | 1,825 |
| | 5 | 道路整備 | 0.1 | 1.0 | 0.5 | 1.6 (5.3%) | 3 | 8 | 9 | 20 | 217 | 1,305 | 551 | 802 |
| | 6 | グラウンド・広場 | 0.0 | 0.4 | 0.0 | 0.5 (1.6%) | 0 | 3 | 1 | 4 | 0 | 1,466 | 434 | 1,208 |
| | 7 | 学校・公共施設 | 0.1 | 1.1 | 0.3 | 1.6 (5.2%) | 1 | 2 | 3 | 6 | 1,180 | 5,703 | 974 | 2,585 |
| | 8 | 駐車場・駐輪場 | 0.5 | 0.5 | 1.0 | 2.0 (6.5%) | 5 | 8 | 14 | 27 | 904 | 620 | 724 | 726 |
| | 9 | コンクリートのり面 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 (0.0%) | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 10 | 墓地 | 0.1 | 0.0 | 0.0 | 0.1 (0.4%) | 2 | 0 | 0 | 2 | 603 | 0 | 0 | 603 |
| | 11 | 資材置き場 | 0.0 | 0.3 | 0.7 | 1.0 (3.5%) | 0 | 5 | 7 | 12 | 0 | 605 | 1,062 | 871 |
| | 12 | 農業用ハウス・作業小屋 | 0.0 | 0.0 | 0.9 | 0.9 (3.1%) | 1 | 0 | 14 | 15 | 256 | 0 | 649 | 623 |
| | 13 | ソーラーパネル | 0.0 | 0.3 | 0.1 | 0.4 (1.4%) | 0 | 1 | 1 | 2 | 0 | 3,094 | 988 | 2,041 |
| | 14 | 水域（用水路、河川、池） | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 (0.2%) | 0 | 1 | 0 | 1 | 0 | 469 | 0 | 469 |
| | 15 | 精度向上 | 0.0 | 0.2 | 0.0 | 0.2 (0.8%) | 1 | 3 | 0 | 4 | 27 | 798 | 0 | 605 |
| | 16 | その他 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 (0.0%) | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 合計 | | 4.6 | 11.0 | 14.4 | 30.0 (-) | 51 | 80 | 138 | 269 | 902 | 1,372 | 1,046 | 1,116 |

※表中の（　）内は、増加・減少要因別の合計で割った値

**出所：アジア航測株式会社が作成**

図表　2-2-43　泉区における緑被地の増加・減少箇所の分布




出所：アジア航測株式会社が作成

### ⑱瀬谷区

瀬谷区における増減要因別、緑被地別の分類結果を集計した（図表 2-2-44）。また、瀬谷区の緑被地の増減箇所の分布状況は図表 2-2-45 の通りであった。第 11 次調査から瀬谷区の緑被地は、増加箇所が 2.8ha、減少箇所が 45.7ha で、差し引き 42.9ha 減少していた。

増加要因別の緑被地面積は、「植生の生長/一団化」が 2.1ha と最も大きく、全体の約 75.1%を占めていた。緑被地別では「植生の生長/一団化」による“草地”の増加が最も大きく 1.7ha であった。増加箇所の 1 箇所当たりの平均面積を見ると、“草地”の「植生の生長/一団化」が最も大きく 2,172 ㎡、次いで“樹林地”の「植生の成長/一団化」が 1,119 ㎡、“農地”の「緑化等」が 822 ㎡であった。

減少要因別の緑被地面積は、「空き地・造成・建設工事中」が 30.0ha と最も大きく、全体の 65.6%を占めていた。緑被地別は、「空き地・造成・建設工事中」による“農地”の減少が最も大きく 14.1ha であった。減少箇所の 1 箇所当たりの平均面積を見ると、“農地”の「空き地・造成・建設工事中」が最も大きく 8,811 ㎡、次いで“樹林地”の「工場・事業施設」が 5,615 ㎡、“草地”の「空き地・造成・建設工事中」が 3,622 ㎡であった。

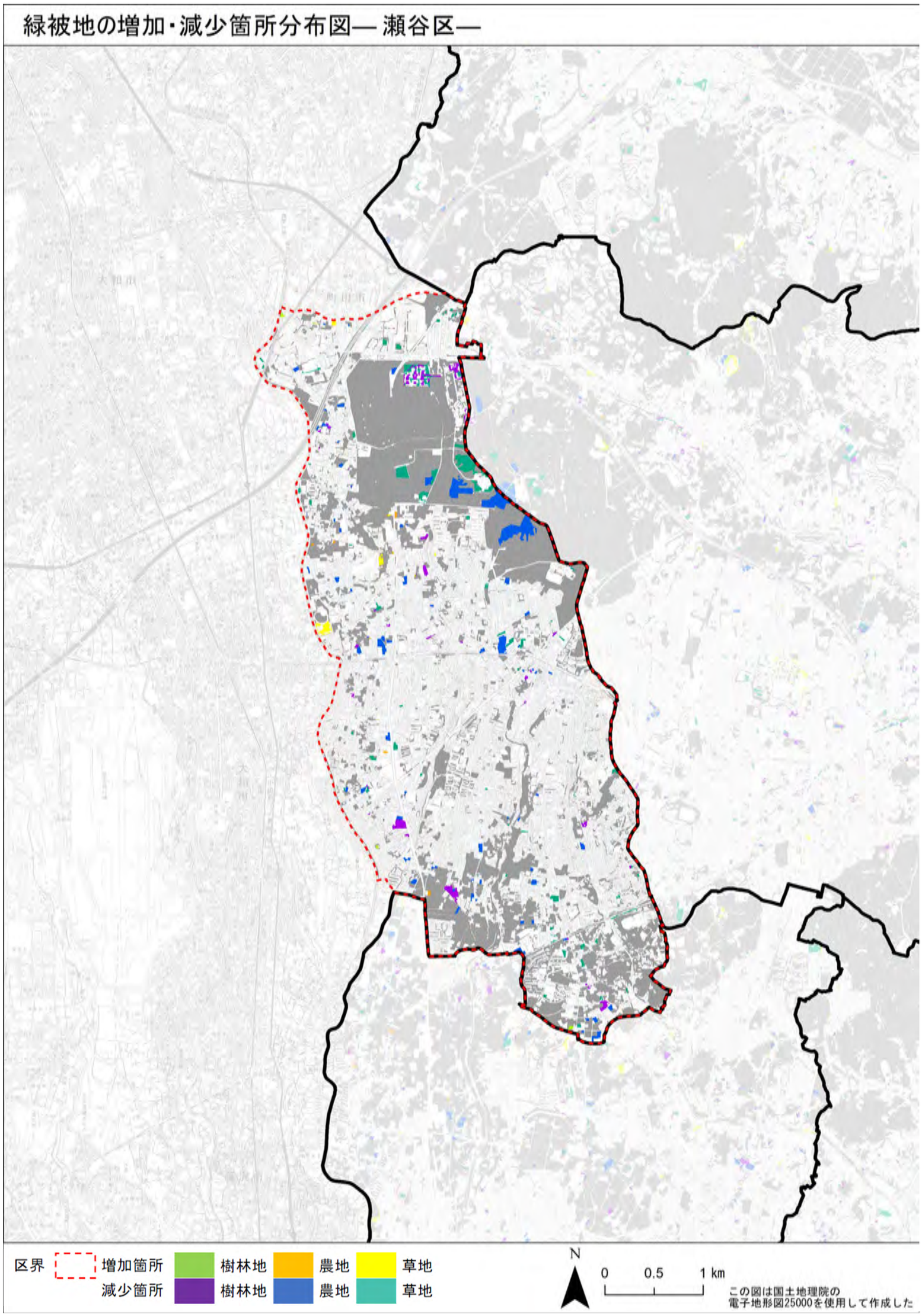
**図表　2-2-44　瀬谷区における緑被地の増加・減少箇所の分布**

| 分類項目 | | | 増減箇所の緑被地面積（ha） | | | | | 箇所数（箇所） | | | | 1 箇所当たりの面積の平均値（㎡） | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 樹林地 | 草地 | 農地 | 合計 | | 樹林地 | 草地 | 農地 | 合計 | 樹林地 | 草地 | 農地 | 合計 |
| 増加要因 | 1 | 植生の生長/一団化 | 0.3 | 1.7 | 0.0 | 2.1 | (75.1%) | 3 | 8 | 0 | 11 | 1,119 | 2,172 | 0 | 1,885 |
| | 2 | 精度向上 | 0.0 | 0.0 | 0.4 | 0.4 | (15.6%) | 1 | 0 | 7 | 8 | 406 | 0 | 558 | 539 |
| | 3 | 緑化等 | 0.0 | 0.1 | 0.2 | 0.2 | (8.7%) | 0 | 2 | 2 | 4 | 0 | 376 | 822 | 599 |
| | 4 | その他 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | (0.6%) | 0 | 0 | 1 | 1 | 0 | 0 | 163 | 163 |
| | 合計 | | 0.4 | 1.8 | 0.6 | 2.8 | (-) | 4 | 10 | 10 | 24 | 941 | 1,813 | 571 | 1,150 |
| 減少要因 | 1 | 戸建住宅 | 1.0 | 2.3 | 4.1 | 7.4 | (16.2%) | 15 | 22 | 32 | 69 | 637 | 1,055 | 1,294 | 1,075 |
| | 2 | 集合住宅 | 0.0 | 0.3 | 0.4 | 0.7 | (1.6%) | 0 | 5 | 4 | 9 | 0 | 648 | 1,029 | 818 |
| | 3 | 空き地・造成・建設工事中 | 5.4 | 10.5 | 14.1 | 30.0 | (65.6%) | 20 | 29 | 16 | 65 | 2,684 | 3,622 | 8,811 | 4,611 |
| | 4 | 工場・事業施設 | 1.1 | 1.6 | 0.9 | 3.6 | (8.0%) | 2 | 10 | 3 | 15 | 5,615 | 1,615 | 3,028 | 2,431 |
| | 5 | 道路整備 | 0.0 | 0.3 | 0.1 | 0.4 | (0.8%) | 0 | 3 | 3 | 6 | 0 | 897 | 276 | 587 |
| | 6 | グラウンド・広場 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | (0.0%) | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 7 | 学校・公共施設 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | (0.0%) | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 8 | 駐車場・駐輪場 | 0.3 | 0.7 | 2.1 | 3.1 | (6.8%) | 3 | 10 | 19 | 32 | 1,050 | 725 | 1,093 | 974 |
| | 9 | コンクリートのり面 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | (0.0%) | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 10 | 墓地 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | (0.0%) | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 11 | 資材置き場 | 0.1 | 0.0 | 0.2 | 0.2 | (0.5%) | 2 | 0 | 2 | 4 | 383 | 0 | 843 | 613 |
| | 12 | 農業用ハウス・作業小屋 | 0.0 | 0.0 | 0.2 | 0.2 | (0.4%) | 0 | 0 | 3 | 3 | 0 | 0 | 652 | 652 |
| | 13 | ソーラーパネル | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | (0.0%) | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 14 | 水域（用水路、河川、池） | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | (0.0%) | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 15 | 精度向上 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | (0.0%) | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 16 | その他 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | (0.0%) | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 合計 | | 7.8 | 15.8 | 22.1 | 45.7 | (-) | 42 | 79 | 82 | 203 | 1,866 | 1,995 | 2,693 | 2,250 |

※表中の（　）内は、増加・減少要因別の合計で割った値

**出所：アジア航測株式会社が作成**

図表　2-2-45　瀬谷区における緑被地の増加・減少箇所の分布




出所：アジア航測株式会社が作成

### ウ　区域区分別の集計結果

横浜市の市街化区域、市街化調整区域における増減要因別、緑被地別の面積を集計した（図表 2-2-46）。

増加箇所の緑被地面積では、市街化区域、市街化調整区域ともに「植生の生長/一団化」が最も大きかった。増加要因のうち、「緑化等」に着目すると、市街化区域内では“草地”が、市街化調整区域では“農地”が最も大きかった。市街化区域では戸塚区や西区のような事業施設の建設による周辺環境整備（図表 2-2-47）が、市街化調整区域では特に緑区（山下地区）において道路工事（横浜北西トンネル）後の農地復元が要因とみられた。（図表 2-2-48）

一方で、減少箇所の緑被地面積では、市街化区域は「戸建住宅」、市街化調整区域は「空き地・造成・建設工事中」が最も大きかった。市街化区域内では、「空き地・造成・建設工事中」、「工場・事業施設」も大きかったことから、宅地化や事業施設の立地、それらに伴う造成による減少が主な要因と示唆される。

**図表　2-2-46　市街化区域、市街化調整区域における要因別・緑被地別の面積（ha）の集計結果**

| 分類項目 | | | 市街化区域（ha） | | | | 市街化調整区域（ha） | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 樹林地 | 草地 | 農地 | 合計 | 樹林地 | 草地 | 農地 | 合計 |
| 増加要因 | 1 | 植生の生長/一団化 | 11.3 | 58.4 | 0.0 | 69.8（ 72.1%） | 2.9 | 18.5 | 0.0 | 21.4（ 75.2%） |
| | 2 | 精度向上 | 3.1 | 2.2 | 0.7 | 5.9（ 6.1%） | 0.3 | 0.1 | 1.7 | 2.2（ 7.7%） |
| | 3 | 緑化等 | 0.9 | 7.5 | 0.6 | 9.0（ 9.3%） | 0.4 | 0.6 | 3.9 | 4.9（ 17.1%） |
| | 4 | その他 | 0.0 | 12.0 | 0.0 | 12.0（ 12.4%） | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0（ 0.1%） |
| | | 合計 | 15.3 | 80.1 | 1.3 | 96.7（ 100.0%） | 3.6 | 19.2 | 5.7 | 28.5（ 100.0%） |
| 減少要因 | 1 | 戸建住宅 | 28.5 | 27.3 | 26.9 | 82.7（ 28.3%） | 2.9 | 1.2 | 2.2 | 6.3（ 4.9%） |
| | 2 | 集合住宅 | 4.6 | 5.3 | 4.7 | 14.6（ 5.0%） | 0.5 | 0.1 | 0.2 | 0.8（ 0.6%） |
| | 3 | 空き地・造成・建設工事中 | 29.9 | 35.7 | 10.8 | 76.4（ 26.2%） | 16.0 | 22.9 | 22.7 | 61.7（ 48.3%） |
| | 4 | 工場・事業施設 | 13.3 | 42.6 | 6.1 | 62.0（ 21.2%） | 2.8 | 3.1 | 6.4 | 12.3（ 9.6%） |
| | 5 | 道路整備 | 3.8 | 6.1 | 0.5 | 10.4（ 3.6%） | 0.9 | 1.4 | 1.3 | 3.5（ 2.8%） |
| | 6 | グラウンド・広場 | 1.6 | 5.3 | 0.0 | 6.8（ 2.3%） | 0.1 | 3.4 | 0.9 | 4.4（ 3.4%） |
| | 7 | 学校・公共施設 | 1.3 | 4.1 | 0.6 | 6.0（ 2.1%） | 0.4 | 0.1 | 1.9 | 2.4（ 1.9%） |
| | 8 | 駐車場・駐輪場 | 2.5 | 4.5 | 3.5 | 10.5（ 3.6%） | 2.3 | 2.9 | 10.8 | 16.0（ 12.5%） |
| | 9 | コンクリートのり面 | 5.8 | 2.4 | 0.1 | 8.2（ 2.8%） | 1.1 | 0.5 | 0.0 | 1.6（ 1.3%） |
| | 10 | 墓地 | 0.2 | 0.0 | 0.0 | 0.2（ 0.1%） | 0.2 | 0.3 | 0.3 | 0.7（ 0.6%） |
| | 11 | 資材置き場 | 0.3 | 1.2 | 0.1 | 1.6（ 0.6%） | 0.5 | 1.6 | 5.2 | 7.4（ 5.8%） |
| | 12 | 農業用ハウス・作業小屋 | 0.0 | 0.0 | 0.7 | 0.7（ 0.2%） | 0.0 | 0.2 | 5.4 | 5.7（ 4.5%） |
| | 13 | ソーラーパネル | 0.1 | 0.3 | 0.2 | 0.6（ 0.2%） | 0.0 | 0.2 | 0.0 | 0.2（ 0.2%） |
| | 14 | 水域（用水路、河川、池） | 0.1 | 0.3 | 0.0 | 0.4（ 0.1%） | 0.0 | 1.6 | 0.0 | 1.6（ 1.3%） |
| | 15 | 精度向上 | 3.6 | 5.6 | 0.2 | 9.4（ 3.2%） | 0.3 | 2.3 | 0.2 | 2.8（ 2.2%） |
| | 16 | その他 | 0.2 | 1.1 | 0.0 | 1.4（ 0.5%） | 0.1 | 0.0 | 0.1 | 0.2（ 0.1%） |
| | | 合計 | 95.9 | 141.8 | 54.4 | 292.1（ 100.0%） | 28.3 | 41.8 | 57.5 | 127.6（ 100.0%） |

※（　）内の数値は、増加・減少要因の合計で割った値

出所：アジア航測株式会社が作成

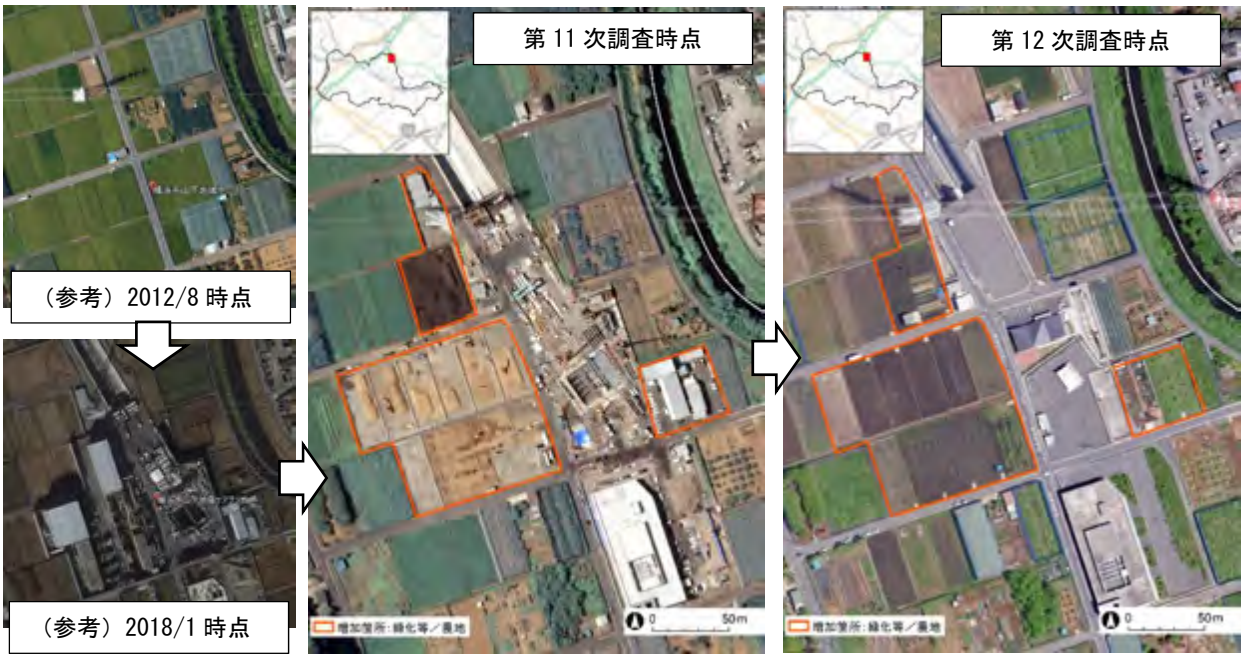
図表　2-2-47　市街化区域内での増加箇所例（緑化等／草地）

【戸塚区】

【西区】

出所：アジア航測株式会社が作成

図表　2-2-48　市街化調整区域内での増加箇所例（緑化等／農地）




※Google Earth を使用

出所：Google Earth をもとにアジア航測株式会社が作成

### ①市街化区域

市街化区域における増加、減少要因別、緑被地別の面積、箇所数、1 箇所当たりの面積の平均値を集計した（図表 2-2-49）。第 11 次調査から第 12 次調査における市街化区域での緑被地は、増加箇所が 96.7ha、減少箇所が 292.1ha で差し引き 195.4ha 減少していた。

増加要因別の緑被地面積は、「植生の生長/一団化」が 69.8ha と最も大きく、全体の約 72.1%を占めていた。緑被地別では「植生の生長/一団化」による“草地”の増加が最も大きく 58.4ha であった。増加箇所の 1 箇所当たりの平均面積を見ると、“草地”の「その他」が最も大きく 7,057 ㎡、次いで“草地”の「緑化等」が 2,040 ㎡、“樹林地”の「緑化等」が 1,284 ㎡であった。

減少要因別の緑被地面積は「戸建住宅」が 82.7ha と最も大きく全体の約 28.3%を占めていた。緑被地別では「工場・事業施設」による“草地”の減少が最も大きく 42.6ha であった。減少箇所の 1 箇所当たりの平均面積を見ると、“草地”の「学校・公共施設」が最も大きく 2,286 ㎡、次いで“草地”の「工場・事業施設」が 1,926 ㎡、“草地”の「ソーラーパネル」が 1,699 ㎡であった。

**図表　2-2-49　市街化区域における要因別・緑被地別の集計結果**

| 分類項目 | | | 変化箇所の緑被地面積（ha） | | | | 箇所数 | | | | 1 箇所当たりの面積（㎡）の平均値 | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 樹林地 | 草地 | 農地 | 合計 | 樹林地 | 草地 | 農地 | 合計 | 樹林地 | 草地 | 農地 | 合計 |
| 増加要因 | 1 | 植生の生長/一団化 | 11.3 | 58.4 | 0.0 | 69.8（ 72.1%） | 226 | 585 | 0 | 811 | 501 | 999 | 0 | 860 |
| | 2 | 精度向上 | 3.1 | 2.2 | 0.7 | 5.9（ 6.1%） | 62 | 39 | 15 | 116 | 497 | 551 | 450 | 509 |
| | 3 | 緑化等 | 0.9 | 7.5 | 0.6 | 9.0（ 9.3%） | 7 | 37 | 11 | 55 | 1,284 | 2,040 | 533 | 1,642 |
| | 4 | その他 | 0.0 | 12.0 | 0.0 | 12.0（ 12.4%） | 0 | 17 | 0 | 17 | 0 | 7,057 | 0 | 7,057 |
| | 合計 | | 15.3 | 80.1 | 1.3 | 96.7（ 100.0%） | 295 | 678 | 26 | 999 | 519 | 1,182 | 485 | 968 |
| 減少要因 | 1 | 戸建住宅 | 28.5 | 27.3 | 26.9 | 82.7（ 28.3%） | 492 | 432 | 332 | 1,256 | 579 | 633 | 811 | 659 |
| | 2 | 集合住宅 | 4.6 | 5.3 | 4.7 | 14.6（ 5.0%） | 69 | 63 | 51 | 183 | 673 | 839 | 923 | 800 |
| | 3 | 空き地・造成・建設工事中 | 29.9 | 35.7 | 10.8 | 76.4（ 26.2%） | 299 | 328 | 87 | 714 | 1,002 | 1,088 | 1,239 | 1,070 |
| | 4 | 工場・事業施設 | 13.3 | 42.6 | 6.1 | 62.0（ 21.2%） | 124 | 221 | 48 | 393 | 1,074 | 1,926 | 1,272 | 1,577 |
| | 5 | 道路整備 | 3.8 | 6.1 | 0.5 | 10.4（ 3.6%） | 85 | 90 | 12 | 187 | 448 | 678 | 410 | 557 |
| | 6 | グラウンド・広場 | 1.6 | 5.3 | 0.0 | 6.8（ 2.3%） | 26 | 42 | 1 | 69 | 600 | 1,251 | 240 | 991 |
| | 7 | 学校・公共施設 | 1.3 | 4.1 | 0.6 | 6.0（ 2.1%） | 18 | 18 | 9 | 45 | 750 | 2,286 | 622 | 1,339 |
| | 8 | 駐車場・駐輪場 | 2.5 | 4.5 | 3.5 | 10.5（ 3.6%） | 54 | 69 | 65 | 188 | 468 | 646 | 540 | 558 |
| | 9 | コンクリートのり面 | 5.8 | 2.4 | 0.1 | 8.2（ 2.8%） | 60 | 24 | 1 | 85 | 963 | 996 | 692 | 969 |
| | 10 | 墓地 | 0.2 | 0.0 | 0.0 | 0.2（ 0.1%） | 6 | 1 | 0 | 7 | 338 | 466 | 0 | 357 |
| | 11 | 資材置き場 | 0.3 | 1.2 | 0.1 | 1.6（ 0.6%） | 6 | 12 | 5 | 23 | 442 | 1,005 | 288 | 702 |
| | 12 | 農業用ハウス・作業小屋 | 0.0 | 0.0 | 0.7 | 0.7（ 0.2%） | 0 | 1 | 17 | 18 | 0 | 9 | 411 | 388 |
| | 13 | ソーラーパネル | 0.1 | 0.3 | 0.2 | 0.6（ 0.2%） | 2 | 2 | 2 | 6 | 586 | 1,699 | 752 | 1,012 |
| | 14 | 水域（用水路、河川、池） | 0.1 | 0.3 | 0.0 | 0.4（ 0.1%） | 1 | 5 | 0 | 6 | 653 | 589 | 0 | 596 |
| | 15 | 精度向上 | 3.6 | 5.6 | 0.2 | 9.4（ 3.2%） | 100 | 78 | 3 | 181 | 356 | 718 | 652 | 517 |
| | 16 | その他 | 0.2 | 1.1 | 0.0 | 1.4（ 0.5%） | 7 | 14 | 2 | 23 | 337 | 819 | 160 | 616 |
| | 合計 | | 95.9 | 141.8 | 54.4 | 292.1（ 100.0%） | 1,349 | 1,400 | 635 | 3,384 | 711 | 1,013 | 856 | 863 |

※（　）内の数値は、増加・減少要因の合計で割った値

**出所：アジア航測株式会社が作成**

### ②市街化調整区域

市街化調整区域における増加、減少要因別、緑被地別の面積、箇所数、1 箇所当たりの面積の平均値を集計した（図表 2-2-50）。第 11 次調査から第 12 次調査における市街化調整区域の緑被地は、増加箇所が 28.5ha、減少箇所が 127.6ha で、差し引き 99.1ha 減少していた。

増加要因別の緑被地面積は、「植生の生長/一団化」が 21.4ha と最も大きく、全体の約 75.2%を占めていた。緑被地別では「植生の生長/一団化」による“草地”の増加が最も大きく 18.5ha であった。増加箇所の 1 箇所当たりの平均面積を見ると、“樹林地”の「緑化等」が最も大きく 3,592 ㎡、次いで“草地”の「植生の生長/一団化」が 1,349 ㎡、“農地”の「緑化等」が 1,186 ㎡であった。

減少要因別の緑被地面積は「空き地・造成・建設工事中」が 61.7ha と最も大きく全体の約 48.3%を占めていた。緑被地別では「空き地・造成・建設工事中」による“草地”の減少が最も大きく 22.9ha であった。減少箇所の 1 箇所当たりの平均面積を見ると、“草地”の「グラウンド・広場」が最も大きく 3,432 ㎡、次いで“農地”の「学校・公共施設」が 3,156 ㎡、“農地”の「空き地・造成・建設工事中」が 3,066 ㎡であった。

**図表　2-2-50　市街化調整区域における要因別・緑被地別の集計結果**

| 分類項目 | | | 変化箇所の緑被地面積（ha） | | | | 箇所数 | | | | 1 箇所当たりの面積（㎡）の平均値 | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 樹林地 | 草地 | 農地 | 合計 | 樹林地 | 草地 | 農地 | 合計 | 樹林地 | 草地 | 農地 | 合計 |
| 増加 | 1 | 植生の生長/一団化 | 2.9 | 18.5 | 0.0 | 21.4（ 75.2%） | 48 | 137 | 0 | 185 | 605 | 1,349 | 0 | 1,156 |
| | 2 | 精度向上 | 0.3 | 0.1 | 1.7 | 2.2（ 7.7%） | 11 | 4 | 22 | 37 | 297 | 328 | 790 | 593 |
| | 3 | 緑化等 | 0.4 | 0.6 | 3.9 | 4.9（ 17.1%） | 1 | 5 | 33 | 39 | 3,592 | 1,169 | 1,186 | 1,246 |
| | 4 | その他 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0（ 0.1%） | 0 | 0 | 1 | 1 | 0 | 0 | 163 | 163 |
| | 合計 | | 3.6 | 19.2 | 5.7 | 28.5（ 100.0%） | 60 | 146 | 56 | 262 | 599 | 1,315 | 1,012 | 1,086 |
| 減少 | 1 | 戸建住宅 | 2.9 | 1.2 | 2.2 | 6.3（ 4.9%） | 70 | 34 | 57 | 161 | 418 | 343 | 385 | 390 |
| | 2 | 集合住宅 | 0.5 | 0.1 | 0.2 | 0.8（ 0.6%） | 7 | 2 | 7 | 16 | 710 | 663 | 281 | 517 |
| | 3 | 空き地・造成・建設工事中 | 16.0 | 22.9 | 22.7 | 61.7（ 48.3%） | 89 | 107 | 74 | 270 | 1,802 | 2,142 | 3,066 | 2,283 |
| | 4 | 工場・事業施設 | 2.8 | 3.1 | 6.4 | 12.3（ 9.6%） | 21 | 40 | 54 | 115 | 1,334 | 768 | 1,182 | 1,066 |
| | 5 | 道路整備 | 0.9 | 1.4 | 1.3 | 3.5（ 2.8%） | 20 | 28 | 22 | 70 | 441 | 488 | 588 | 506 |
| | 6 | グラウンド・広場 | 0.1 | 3.4 | 0.9 | 4.4（ 3.4%） | 2 | 10 | 4 | 16 | 524 | 3,432 | 2,156 | 2,750 |
| | 7 | 学校・公共施設 | 0.4 | 0.1 | 1.9 | 2.4（ 1.9%） | 5 | 3 | 6 | 14 | 891 | 317 | 3,156 | 1,739 |
| | 8 | 駐車場・駐輪場 | 2.3 | 2.9 | 10.8 | 16.0（ 12.5%） | 31 | 44 | 112 | 187 | 748 | 648 | 964 | 854 |
| | 9 | コンクリートのり面 | 1.1 | 0.5 | 0.0 | 1.6（ 1.3%） | 9 | 4 | 0 | 13 | 1,221 | 1,299 | 0 | 1,245 |
| | 10 | 墓地 | 0.2 | 0.3 | 0.3 | 0.7（ 0.6%） | 2 | 2 | 2 | 6 | 983 | 1,417 | 1,314 | 1,238 |
| | 11 | 資材置き場 | 0.5 | 1.6 | 5.2 | 7.4（ 5.8%） | 11 | 23 | 41 | 75 | 494 | 712 | 1,280 | 990 |
| | 12 | 農業用ハウス・作業小屋 | 0.0 | 0.2 | 5.4 | 5.7（ 4.5%） | 3 | 3 | 58 | 64 | 161 | 706 | 936 | 889 |
| | 13 | ソーラーパネル | 0.0 | 0.2 | 0.0 | 0.2（ 0.2%） | 0 | 1 | 1 | 2 | 0 | 1,794 | 211 | 1,003 |
| | 14 | 水域（用水路、河川、池） | 0.0 | 1.6 | 0.0 | 1.6（ 1.3%） | 0 | 11 | 0 | 11 | 0 | 1,454 | 0 | 1,454 |
| | 15 | 精度向上 | 0.3 | 2.3 | 0.2 | 2.8（ 2.2%） | 4 | 11 | 4 | 19 | 757 | 2,103 | 422 | 1,466 |
| | 16 | その他 | 0.1 | 0.0 | 0.1 | 0.2（ 0.1%） | 3 | 2 | 5 | 10 | 267 | 100 | 162 | 181 |
| | 合計 | | 28.3 | 41.8 | 57.5 | 127.6（ 100.0%） | 277 | 325 | 447 | 1,049 | 1,021 | 1,286 | 1,287 | 1,216 |

※（　）内の数値は、増加・減少要因の合計で割った値

**出所：アジア航測株式会社が作成**

### エ　用途地域別の集計結果

用途地域別の集計を行うにあたり、用途地域ごとに住居系と商業系にグループを分け、各地域の面積及び割合を集計した（図表 2-2-51）。グループ分けした用途地域別における増減要因別・緑被地別の面積（ha）を集計した。集計結果を図表 2-2-52 に示す。

増加要因別の緑被地面積をみると、住居系、商業系ともに「植生の生長/一団化」が最も大きかった。緑被地別でも、住居系用途地域、商業系用途地域ともに「植生の生長/一団化」による“草地”が最も大きかった。また、「緑化等」に着目すると、緑被地面積は住居系より商業系の方が大きく、特に“草地”が商業系では 6.9ha となっていた。これは、ウ　区域区分別でも整理した通り戸塚区や西区でみられた事業施設周辺における環境整備（図表 2-2-47）が、工業地域や工業専用地域に分布しているためと考えられる。

減少要因別の緑被地面積をみると、住居系用途地域は「戸建住宅」が、商業系用途地域は「工場・事業施設」が最も大きかった。緑被地別では、住宅系用途地域は「戸建住宅」による“樹林地”が、商業系用途地域は「工場・事業施設」による“草地”が最も大きかった。

図表　2-2-51　第 12 次調査および第 11 次調査時点の用途地域別面積

| 用途地域 | | 面積（ha） | | |
|---|---|---|---|---|
| | | 第12次調査 | 第11次調査 | 差分 |
| 住居系用途地域 | 第1種低層住居専用地域 | 13,329（　53.4%） | 13,705（　54.9%） | −376 |
| | 第2種低層住居専用地域 | 516（　2.1%） | 174（　0.7%） | 341 |
| | 第1種中高層住居専用地域 | 2,700（　10.8%） | 2,682（　10.7%） | 18 |
| | 第2種中高層住居専用地域 | 1,766（　7.1%） | 1,765（　7.1%） | 1 |
| | 第1種住居地域 | 4,629（　18.5%） | 4,618（　18.5%） | 11 |
| | 第2種住居地域 | 531（　2.1%） | 527（　2.1%） | 4 |
| | 準住居地域 | 1,491（　6.0%） | 1,490（　6.0%） | 1 |
| | 合計 | 24,962（　100.0%） | 24,961（　100.0%） | 0 |
| 商業系用途地域 | 近隣商業地域 | 1,426（　16.3%） | 1,426（　16.3%） | 0 |
| | 商業地域 | 1,928（　22.1%） | 1,928（　22.0%） | 0 |
| | 準工業地域 | 1,836（　21.0%） | 1,843（　21.1%） | −7 |
| | 工業地域 | 1,716（　19.6%） | 1,720（　19.7%） | −4 |
| | 工業専用地域 | 1,831（　21.0%） | 1,831（　20.9%） | 0 |
| | 合計 | 8,737（　100.0%） | 8,748（　100.0%） | −11 |

※（　）内は住居系、商業系用途地域の合計面積で割った値

出所：アジア航測株式会社が作成

図表　2-2-52　住居系、商業系用途地域における増減要因別・緑被地別の面積（ha）

| 分類項目 | | | 緑被地の増減面積(ha) | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 住居系用途地域 | | | | 商業系用途地域 | | | |
| | | | 樹林地 | 草地 | 農地 | 合計 | 樹林地 | 草地 | 農地 | 合計 |
| 増加 | 1 | 植生の生長/一団化 | 6.8 | 31.5 | 0.0 | 38.3（ 90.6%） | 4.5 | 26.9 | 0.0 | 31.5（ 57.8%） |
| | 2 | 精度向上 | 0.9 | 1.3 | 0.6 | 2.9（ 6.8%） | 2.1 | 0.8 | 0.0 | 3.0（ 5.5%） |
| | 3 | 緑化等 | 0.0 | 0.7 | 0.4 | 1.1（ 2.6%） | 0.9 | 6.9 | 0.2 | 7.9（ 14.6%） |
| | 4 | その他 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0（ 0.0%） | 0.0 | 12.0 | 0.0 | 12.0（ 22.0%） |
| | 合計 | | 7.7 | 33.5 | 1.1 | 42.3（ 100.0%） | 7.6 | 46.7 | 0.2 | 54.4（ 100.0%） |
| 減少 | 1 | 戸建住宅 | 27.9 | 26.6 | 25.8 | 80.3（ 38.4%） | 0.6 | 0.7 | 1.2 | 2.5（ 3.0%） |
| | 2 | 集合住宅 | 4.2 | 5.1 | 4.0 | 13.3（ 6.3%） | 0.5 | 0.2 | 0.7 | 1.4（ 1.7%） |
| | 3 | 空き地・造成・建設工事中 | 26.6 | 18.5 | 10.6 | 55.7（ 26.6%） | 3.4 | 17.1 | 0.2 | 20.7（ 25.0%） |
| | 4 | 工場・事業施設 | 6.8 | 7.8 | 3.1 | 17.7（ 8.5%） | 6.4 | 34.8 | 3.0 | 44.2（ 53.4%） |
| | 5 | 道路整備 | 2.8 | 3.1 | 0.3 | 6.2（ 3.0%） | 1.0 | 3.0 | 0.1 | 4.2（ 5.0%） |
| | 6 | グラウンド・広場 | 1.5 | 4.3 | 0.0 | 5.8（ 2.8%） | 0.1 | 1.0 | 0.0 | 1.1（ 1.3%） |
| | 7 | 学校・公共施設 | 1.2 | 3.7 | 0.5 | 5.4（ 2.6%） | 0.2 | 0.4 | 0.1 | 0.6（ 0.8%） |
| | 8 | 駐車場・駐輪場 | 1.8 | 3.0 | 3.1 | 7.9（ 3.8%） | 0.7 | 1.4 | 0.5 | 2.6（ 3.1%） |
| | 9 | コンクリートのり面 | 5.6 | 2.3 | 0.1 | 8.0（ 3.8%） | 0.1 | 0.1 | 0.0 | 0.2（ 0.3%） |
| | 10 | 墓地 | 0.2 | 0.0 | 0.0 | 0.2（ 0.1%） | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0（ 0.0%） |
| | 11 | 資材置き場 | 0.2 | 0.5 | 0.1 | 0.9（ 0.4%） | 0.0 | 0.7 | 0.0 | 0.8（ 0.9%） |
| | 12 | 農業用ハウス・作業小屋 | 0.0 | 0.0 | 0.7 | 0.7（ 0.3%） | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0（ 0.0%） |
| | 13 | ソーラーパネル | 0.1 | 0.0 | 0.1 | 0.2（ 0.1%） | 0.0 | 0.3 | 0.1 | 0.4（ 0.5%） |
| | 14 | 水域（用水路、河川、池） | 0.1 | 0.1 | 0.0 | 0.2（ 0.1%） | 0.0 | 0.2 | 0.0 | 0.2（ 0.2%） |
| | 15 | 精度向上 | 2.9 | 2.6 | 0.2 | 5.6（ 2.7%） | 0.7 | 3.0 | 0.0 | 3.7（ 4.5%） |
| | 16 | その他 | 0.1 | 1.1 | 0.0 | 1.2（ 0.6%） | 0.2 | 0.0 | 0.0 | 0.2（ 0.2%） |
| | 合計 | | 81.9 | 78.7 | 48.5 | 209.2（ 100.0%） | 13.9 | 63.1 | 5.8 | 82.8（ 100.0%） |

※（　）内の数値は、増加・減少要因の合計で割った値

出所：アジア航測株式会社が作成

### ①住居系用途地域別の集計

住居系用途地域における増減要因別、緑被地別の面積を集計した（図表 2-2-53）。第 11 次調査から第 12 次調査における緑被地は、増加箇所が 42.3ha、減少箇所が 209.2ha で、差し引き 166.9ha 減少していた。

増加要因別の緑被地面積は、「植生の生長/一団化」が 38.3ha と最も大きく、全体の約 90.6%を占めていた。緑被地別では「植生の生長/一団化」による“草地”の増加が最も大きく 31.5ha であった。住居系用途地域別では第 1 種低層住居専用地域が 18.4ha と最も大きく、次いで第 1 種住居地域が 10.1ha、第 1 種中高層住居専用地域が 5.0ha であった。

減少要因別の緑被地面積は、「戸建住宅」が 80.3ha と最も大きく、全体の約 38.4%を占めていた。緑被地別では「戸建住宅」による“樹林地”の減少が最も大きく 27.9ha であった。住居系用途地域別は、第 1 種低層住居専用地域が 117.0ha と最も大きく、次いで第 1 種住居地域が 44.0ha、第 1 種中高層住居専用地域が 18.2ha であった。

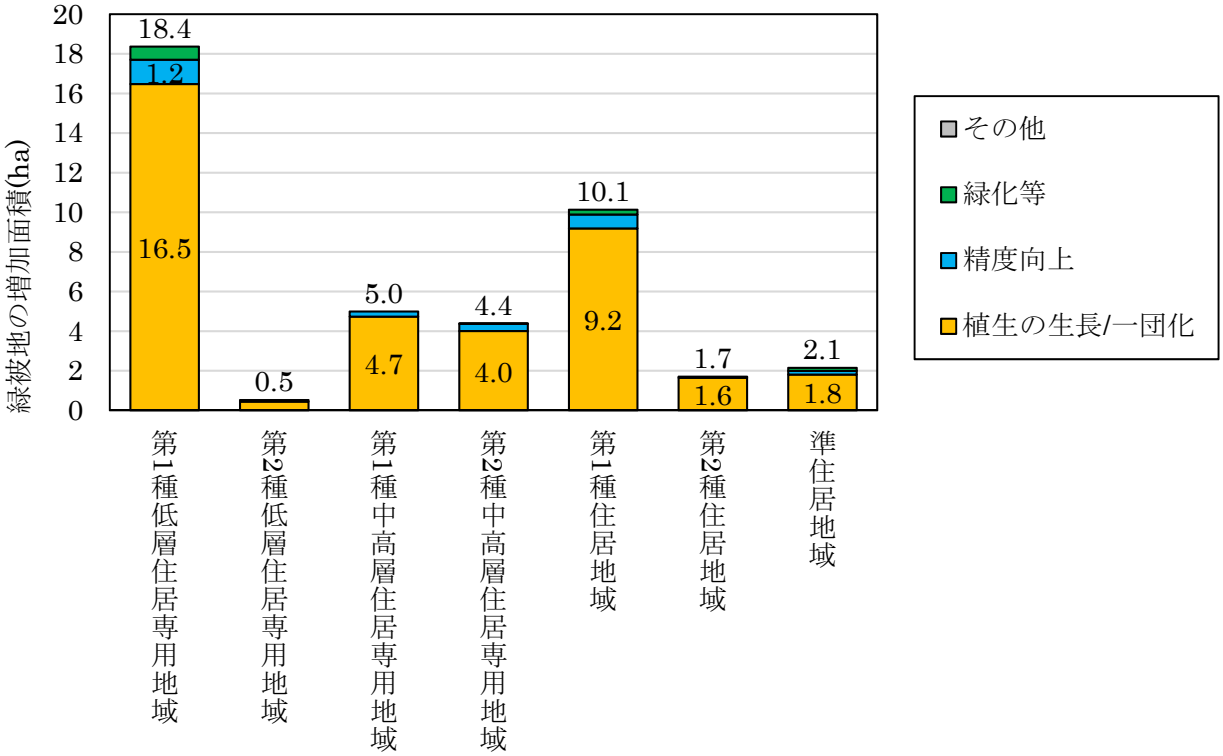
## 図表　2-2-53　住居系用途地域における要因別・緑被地別の面積（ha）

| 分類項目 | | | 緑被地の増減面積（ha） | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 第1種低層住居専用地域 | | | | 第2種低層住居専用地域 | | | | 第1種中高層住居専用地域 | | | | 第2種中高層住居専用地域 | | | | 第1種住居地域 | | | | 第2種住居地域 | | | | 準住居地域 | | | | 住居系用途地域合計 | | | |
| | | | 樹林地 | 草地 | 農地 | 合計 | 樹林地 | 草地 | 農地 | 合計 | 樹林地 | 草地 | 農地 | 合計 | 樹林地 | 草地 | 農地 | 合計 | 樹林地 | 草地 | 農地 | 合計 | 樹林地 | 草地 | 農地 | 合計 | 樹林地 | 草地 | 農地 | 合計 | 樹林地 | 草地 | 農地 | 合計 |
| 増加 | 1 | 植生の生長/一団化 | 3.4 | 13.0 | 0.0 | 16.5 | 0.1 | 0.4 | 0.0 | 0.4 | 0.9 | 3.8 | 0.0 | 4.7 | 0.4 | 3.6 | 0.0 | 4.0 | 1.0 | 8.2 | 0.0 | 9.2 | 0.2 | 1.4 | 0.0 | 1.6 | 0.8 | 1.0 | 0.0 | 1.8 | 6.8 | 31.5 | 0.0 | 38.3 （ 90.6% ） |
| | 2 | 精度向上 | 0.6 | 0.3 | 0.3 | 1.2 | 0.1 | 0.0 | 0.0 | 0.1 | 0.1 | 0.2 | 0.0 | 0.3 | 0.1 | 0.2 | 0.1 | 0.4 | 0.0 | 0.5 | 0.2 | 0.7 | 0.1 | 0.0 | 0.0 | 0.1 | 0.0 | 0.1 | 0.1 | 0.2 | 0.9 | 1.3 | 0.6 | 2.9 （ 6.8% ） |
| | 3 | 緑化等 | 0.0 | 0.3 | 0.4 | 0.7 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.2 | 0.0 | 0.2 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.1 | 0.0 | 0.2 | 0.0 | 0.7 | 0.4 | 1.1 （ 2.6% ） |
| | 4 | その他 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 （ 0.0% ） |
| | | 合計 | 4.0 | 13.6 | 0.7 | 18.4 | 0.2 | 0.4 | 0.0 | 0.5 | 1.0 | 4.0 | 0.0 | 5.0 | 0.5 | 3.9 | 0.1 | 4.4 | 1.0 | 8.9 | 0.2 | 10.1 | 0.3 | 1.4 | 0.0 | 1.7 | 0.8 | 1.3 | 0.1 | 2.1 | 7.7 | 33.5 | 1.1 | 42.3 （ 100.0% ） |
| 減少 | 1 | 戸建住宅 | 20.7 | 17.3 | 20.0 | 58.0 | 0.4 | 0.7 | 0.9 | 2.0 | 1.3 | 2.5 | 0.7 | 4.6 | 1.1 | 0.9 | 0.4 | 2.4 | 3.3 | 4.4 | 2.9 | 10.6 | 0.3 | 0.2 | 0.0 | 0.6 | 0.8 | 0.5 | 0.8 | 2.1 | 27.9 | 26.6 | 25.8 | 80.3 （ 38.4% ） |
| | 2 | 集合住宅 | 1.2 | 1.0 | 1.9 | 4.1 | 0.0 | 0.1 | 0.0 | 0.1 | 0.6 | 0.7 | 1.1 | 2.4 | 0.6 | 0.3 | 0.5 | 1.4 | 1.3 | 2.5 | 0.4 | 4.3 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.1 | 0.3 | 0.4 | 0.1 | 0.8 | 4.2 | 5.1 | 4.0 | 13.3 （ 6.3% ） |
| | 3 | 空き地・造成・建設工事中 | 16.9 | 8.9 | 6.9 | 32.7 | 0.2 | 0.2 | 0.0 | 0.4 | 2.0 | 2.1 | 0.2 | 4.3 | 1.1 | 0.7 | 0.5 | 2.3 | 4.8 | 4.0 | 2.5 | 11.3 | 0.4 | 0.6 | 0.3 | 1.3 | 1.1 | 2.1 | 0.2 | 3.4 | 26.6 | 18.5 | 10.6 | 55.7 （ 26.6% ） |
| | 4 | 工場・事業施設 | 1.4 | 0.7 | 1.0 | 3.1 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 2.7 | 1.3 | 0.1 | 4.2 | 1.1 | 0.6 | 0.3 | 2.0 | 0.6 | 4.4 | 0.8 | 5.8 | 0.2 | 0.1 | 0.3 | 0.5 | 0.7 | 0.7 | 0.7 | 2.1 | 6.8 | 7.8 | 3.1 | 17.7 （ 8.5% ） |
| | 5 | 道路整備 | 0.4 | 0.2 | 0.2 | 0.8 | 0.1 | 0.0 | 0.0 | 0.1 | 0.1 | 0.0 | 0.0 | 0.1 | 0.3 | 0.1 | 0.0 | 0.4 | 1.2 | 2.0 | 0.1 | 3.3 | 0.1 | 0.0 | 0.0 | 0.1 | 0.6 | 0.8 | 0.0 | 1.4 | 2.8 | 3.1 | 0.3 | 6.2 （ 3.0% ） |
| | 6 | グラウンド・広場 | 0.9 | 1.3 | 0.0 | 2.2 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.3 | 0.4 | 0.0 | 0.7 | 0.1 | 1.3 | 0.0 | 1.4 | 0.2 | 1.2 | 0.0 | 1.4 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 1.5 | 4.3 | 0.0 | 5.8 （ 2.8% ） |
| | 7 | 学校・公共施設 | 0.7 | 1.5 | 0.1 | 2.4 | 0.0 | 0.1 | 0.0 | 0.1 | 0.2 | 0.0 | 0.0 | 0.2 | 0.1 | 0.2 | 0.1 | 0.4 | 0.1 | 1.2 | 0.1 | 1.5 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.6 | 0.2 | 0.8 | 1.2 | 3.7 | 0.5 | 5.4 （ 2.6% ） |
| | 8 | 駐車場・駐輪場 | 0.7 | 1.6 | 1.5 | 3.9 | 0.0 | 0.0 | 0.1 | 0.1 | 0.2 | 0.2 | 0.2 | 0.5 | 0.1 | 0.0 | 0.3 | 0.4 | 0.7 | 0.9 | 0.6 | 2.1 | 0.0 | 0.2 | 0.0 | 0.2 | 0.1 | 0.0 | 0.5 | 0.6 | 1.8 | 3.0 | 3.1 | 7.9 （ 3.8% ） |
| | 9 | コンクリートのり面 | 4.1 | 0.5 | 0.1 | 4.7 | 0.1 | 0.0 | 0.0 | 0.1 | 0.6 | 0.2 | 0.0 | 0.8 | 0.1 | 0.2 | 0.0 | 0.3 | 0.4 | 0.9 | 0.0 | 1.3 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.3 | 0.4 | 0.0 | 0.7 | 5.6 | 2.3 | 0.1 | 8.0 （ 3.8% ） |
| | 10 | 墓地 | 0.1 | 0.0 | 0.0 | 0.1 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.1 | 0.0 | 0.0 | 0.1 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.2 | 0.0 | 0.0 | 0.2 （ 0.1% ） |
| | 11 | 資材置き場 | 0.1 | 0.3 | 0.1 | 0.5 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.1 | 0.1 | 0.1 | 0.3 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.2 | 0.5 | 0.1 | 0.9 （ 0.4% ） |
| | 12 | 農業用ハウス・作業小屋 | 0.0 | 0.0 | 0.6 | 0.6 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.1 | 0.1 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.7 | 0.7 （ 0.3% ） |
| | 13 | ソーラーパネル | 0.1 | 0.0 | 0.1 | 0.1 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.1 | 0.0 | 0.1 | 0.2 （ 0.1% ） |
| | 14 | 水域（用水路、河川、池） | 0.0 | 0.1 | 0.0 | 0.1 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.1 | 0.0 | 0.1 | 0.1 | 0.1 | 0.0 | 0.2 （ 0.1% ） |
| | 15 | 精度向上 | 1.6 | 1.4 | 0.0 | 3.0 | 0.0 | 0.1 | 0.0 | 0.1 | 0.1 | 0.2 | 0.0 | 0.3 | 0.3 | 0.1 | 0.0 | 0.4 | 0.5 | 0.6 | 0.0 | 1.2 | 0.1 | 0.1 | 0.1 | 0.2 | 0.2 | 0.1 | 0.0 | 0.3 | 2.9 | 2.6 | 0.2 | 5.6 （ 2.7% ） |
| | 16 | その他 | 0.1 | 0.6 | 0.0 | 0.7 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.5 | 0.0 | 0.5 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.1 | 1.1 | 0.0 | 1.2 （ 0.6% ） |
| | | 合計 | 49.0 | 35.5 | 32.5 | 117.0 | 0.8 | 1.2 | 1.0 | 3.0 | 8.2 | 7.7 | 2.3 | 18.2 | 5.0 | 4.5 | 2.0 | 11.5 | 13.4 | 22.9 | 7.6 | 44.0 | 1.1 | 1.2 | 0.7 | 3.1 | 4.3 | 5.8 | 2.4 | 12.5 | 81.9 | 78.7 | 48.5 | 209.2 （ 100.0% ） |

注）（　）内の数値は、増加・減少要因の合計で割った値

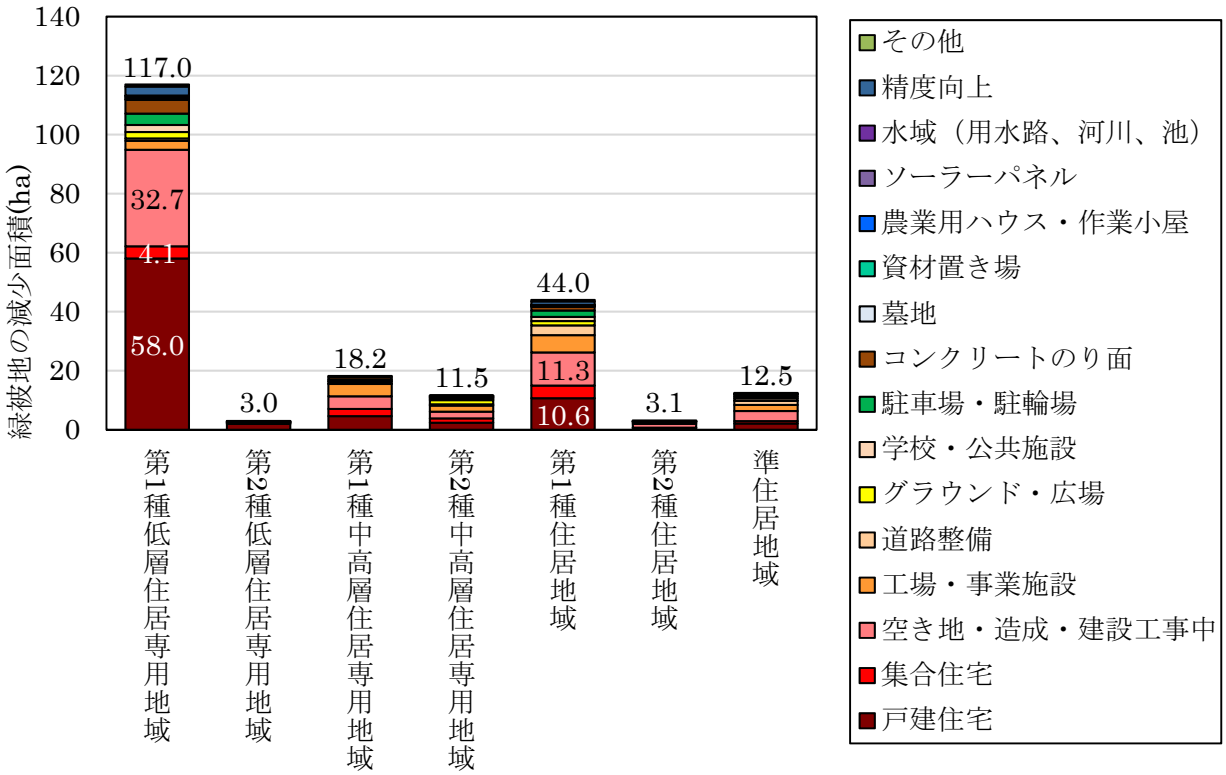
出所：アジア航測株式会社が作成

図表　2-2-54　住居系用途地域別における緑被地の増加面積




出所：アジア航測株式会社が作成

図表　2-2-55　住居系用途地域別における緑被地の減少面積




出所：アジア航測株式会社が作成

**②商業系用途地域別の集計**

商業系用途地域における増減要因別、緑被地別の面積を集計した（図表 2-2-56）。第 11 次調査から第 12 次調査における緑被地は、増加箇所が 54.4ha、減少箇所が 82.8ha で、差し引き 28.4ha 減少していた。

増加要因別の緑被地面積は、「植生の生長/一団化」が 31.5ha と最も大きく、全体の約 57.8%を占めていた。緑被地別では「植生の生長/一団化」による“草地”の増加が最も大きく 26.9ha であった。商業系用途地域別では工業地域が 17.5（17.48）ha と最も大きく、次いで準工業地域が 17.5（17.46）ha、工業専用地域が 10.8ha であった。

減少要因別の緑被地面積は、「工事・事業施設」が 44.2ha と最も大きく、全体の約 53.4%を占めていた。緑被地別では「工場・事業施設」による“草地”の減少が最も大きく 34.8ha であった。商業系用途地域別では工業専用地域が 32.1ha と最も大きい値となり、次いで準工業地域が 17.9ha、工業地域が 15.0ha となった。

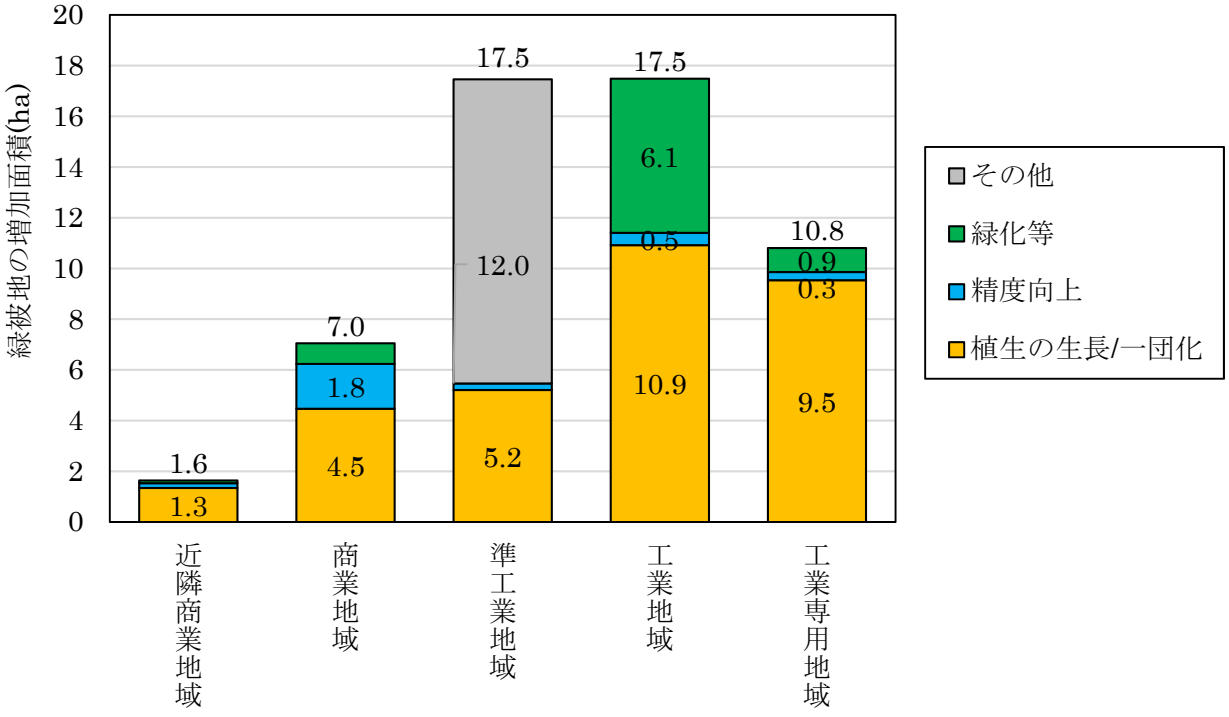
図表　2-2-56　商業系用途地域における要因別・緑被地別の面積（ha）

| 分類項目 | | | 緑被地の増減面積（ha） | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 近隣商業地域 | | | | 商業地域 | | | | 準工業地域 | | | | 工業地域 | | | | 工業専用地域 | | | | 商業系用途地域合計 | | | |
| | | | 樹林地 | 草地 | 農地 | 合計 | 樹林地 | 草地 | 農地 | 合計 | 樹林地 | 草地 | 農地 | 合計 | 樹林地 | 草地 | 農地 | 合計 | 樹林地 | 草地 | 農地 | 合計 | 樹林地 | 草地 | 農地 | 合計 |
| 増加 | 1 | 植生の生長/一団化 | 0.6 | 0.8 | 0.0 | 1.3 | 1.4 | 3.1 | 0.0 | 4.5 | 0.6 | 4.6 | 0.0 | 5.2 | 0.9 | 10.0 | 0.0 | 10.9 | 1.1 | 8.5 | 0.0 | 9.5 | 4.5 | 26.9 | 0.0 | 31.5（ 57.8%） |
| | 2 | 精度向上 | 0.2 | 0.0 | 0.0 | 0.2 | 1.6 | 0.2 | 0.0 | 1.8 | 0.1 | 0.1 | 0.0 | 0.3 | 0.2 | 0.3 | 0.0 | 0.5 | 0.1 | 0.2 | 0.0 | 0.3 | 2.1 | 0.8 | 0.0 | 3.0（ 5.5%） |
| | 3 | 緑化等 | 0.0 | 0.1 | 0.0 | 0.1 | 0.4 | 0.4 | 0.0 | 0.8 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 5.9 | 0.2 | 6.1 | 0.5 | 0.5 | 0.0 | 0.9 | 0.9 | 6.9 | 0.2 | 7.9（ 14.6%） |
| | 4 | その他 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 12.0 | 0.0 | 12.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 12.0 | 0.0 | 12.0（ 22.0%） |
| | | 合計 | 0.7 | 0.9 | 0.0 | 1.6 | 3.3 | 3.7 | 0.0 | 7.0 | 0.8 | 16.7 | 0.0 | 17.5 | 1.1 | 16.2 | 0.2 | 17.5 | 1.7 | 9.1 | 0.0 | 10.8 | 7.6 | 46.7 | 0.2 | 54.4（ 100.0%） |
| 減少 | 1 | 戸建住宅 | 0.2 | 0.1 | 0.0 | 0.3 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.3 | 0.6 | 0.5 | 1.3 | 0.2 | 0.0 | 0.7 | 0.8 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.6 | 0.7 | 1.2 | 2.5（ 3.0%） |
| | 2 | 集合住宅 | 0.0 | 0.2 | 0.1 | 0.4 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.4 | 0.0 | 0.6 | 0.9 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.5 | 0.2 | 0.7 | 1.4（ 1.7%） |
| | 3 | 空き地・造成・建設工事中 | 0.6 | 0.2 | 0.1 | 0.8 | 0.5 | 1.5 | 0.0 | 2.0 | 0.3 | 7.3 | 0.1 | 7.7 | 0.7 | 1.1 | 0.0 | 1.8 | 1.3 | 7.1 | 0.0 | 8.4 | 3.4 | 17.1 | 0.2 | 20.7（ 25.0%） |
| | 4 | 工場・事業施設 | 0.1 | 2.5 | 2.0 | 4.6 | 1.6 | 4.0 | 0.0 | 5.6 | 1.5 | 3.5 | 0.6 | 5.6 | 1.9 | 6.9 | 0.4 | 9.2 | 1.3 | 17.9 | 0.0 | 19.2 | 6.4 | 34.8 | 3.0 | 44.2（ 53.4%） |
| | 5 | 道路整備 | 0.2 | 0.6 | 0.1 | 0.9 | 0.4 | 0.4 | 0.0 | 0.8 | 0.0 | 1.0 | 0.0 | 1.0 | 0.1 | 1.0 | 0.0 | 1.1 | 0.3 | 0.0 | 0.0 | 0.4 | 1.0 | 3.0 | 0.1 | 4.2（ 5.0%） |
| | 6 | グラウンド・広場 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.4 | 0.0 | 0.4 | 0.0 | 0.1 | 0.0 | 0.1 | 0.0 | 0.4 | 0.0 | 0.4 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.1 | 1.0 | 0.0 | 1.1（ 1.3%） |
| | 7 | 学校・公共施設 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.1 | 0.3 | 0.1 | 0.5 | 0.0 | 0.1 | 0.0 | 0.1 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.2 | 0.4 | 0.1 | 0.6（ 0.8%） |
| | 8 | 駐車場・駐輪場 | 0.0 | 0.2 | 0.0 | 0.2 | 0.0 | 0.2 | 0.2 | 0.5 | 0.0 | 0.0 | 0.1 | 0.2 | 0.6 | 0.3 | 0.1 | 1.1 | 0.1 | 0.7 | 0.0 | 0.7 | 0.7 | 1.4 | 0.5 | 2.6（ 3.1%） |
| | 9 | コンクリートのり面 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.1 | 0.0 | 0.1 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.1 | 0.0 | 0.0 | 0.1 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.1 | 0.1 | 0.0 | 0.2（ 0.3%） |
| | 10 | 墓地 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0（ 0.0%） |
| | 11 | 資材置き場 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.2 | 0.0 | 0.2 | 0.0 | 0.5 | 0.0 | 0.5 | 0.0 | 0.7 | 0.0 | 0.8（ 0.9%） |
| | 12 | 農業用ハウス・作業小屋 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0（ 0.0%） |
| | 13 | ソーラーパネル | 0.0 | 0.3 | 0.1 | 0.4 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.3 | 0.1 | 0.4（ 0.5%） |
| | 14 | 水域（用水路、河川、池） | 0.0 | 0.1 | 0.0 | 0.1 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.1 | 0.0 | 0.1 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.2 | 0.0 | 0.2（ 0.2%） |
| | 15 | 精度向上 | 0.1 | 0.0 | 0.0 | 0.1 | 0.4 | 0.2 | 0.0 | 0.5 | 0.1 | 0.2 | 0.0 | 0.3 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.1 | 2.7 | 0.0 | 2.8 | 0.7 | 3.0 | 0.0 | 3.7（ 4.5%） |
| | 16 | その他 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.2 | 0.0 | 0.0 | 0.2 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.2 | 0.0 | 0.0 | 0.2（ 0.2%） |
| | | 合計 | 1.2 | 4.2 | 2.4 | 7.8 | 2.9 | 6.8 | 0.2 | 10.0 | 2.8 | 13.2 | 2.0 | 17.9 | 3.8 | 10.0 | 1.2 | 15.0 | 3.2 | 28.9 | 0.0 | 32.1 | 13.9 | 63.1 | 5.8 | 82.8（ 100.0%） |

注）（　）内の数値は、増加・減少要因の合計で割った値

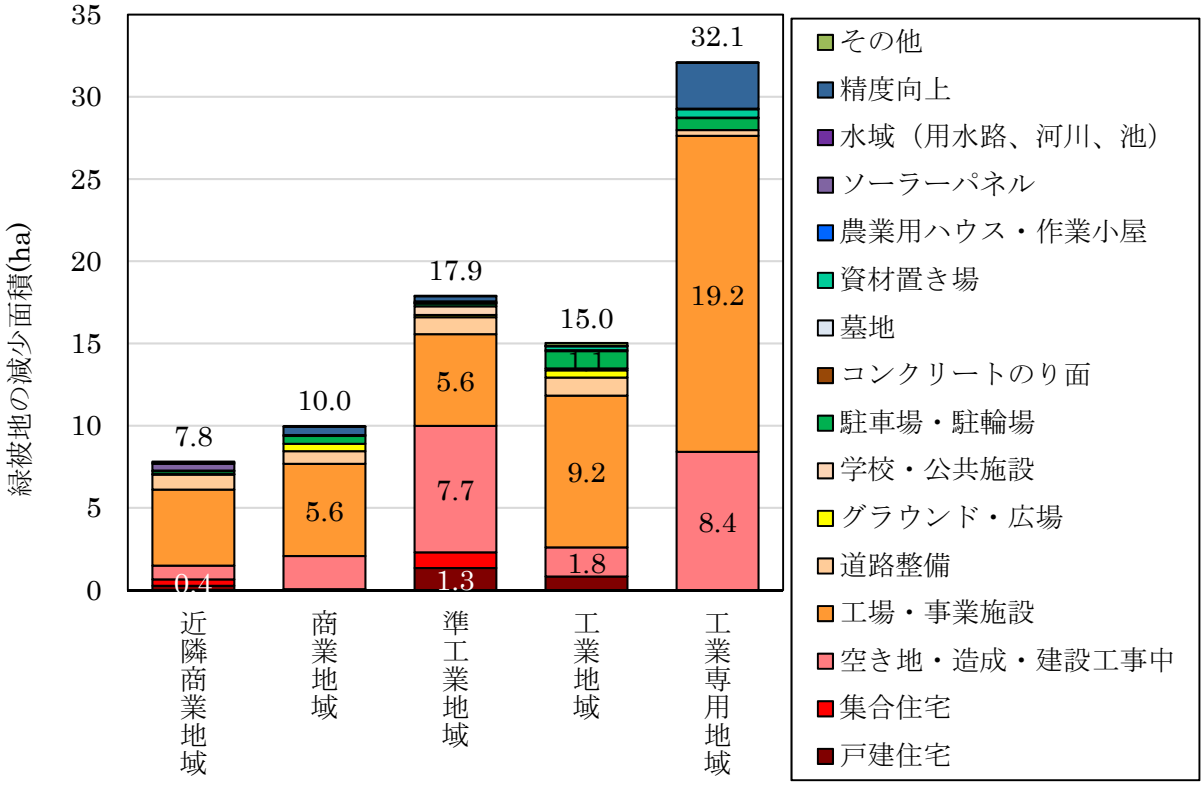
出所：アジア航測株式会社が作成

図表　2-2-57　商業系用途地域における緑被地の増加面積




出所：アジア航測株式会社が作成

図表　2-2-58　商業系用途地域における緑被地の減少面積




出所：アジア航測株式会社が作成

# 第３章　EIE の活用可能性

# 第３章　EIE の活用可能性

概ね５年間隔で実施している緑被率調査においては、機械学習（deep learning）等の手法による効率化が期待される。そこで、本調査では Google が提供している EIE（Environmental Insights Explorer）による活用可能性を検討した。

## １　EIE による調査概要の整理

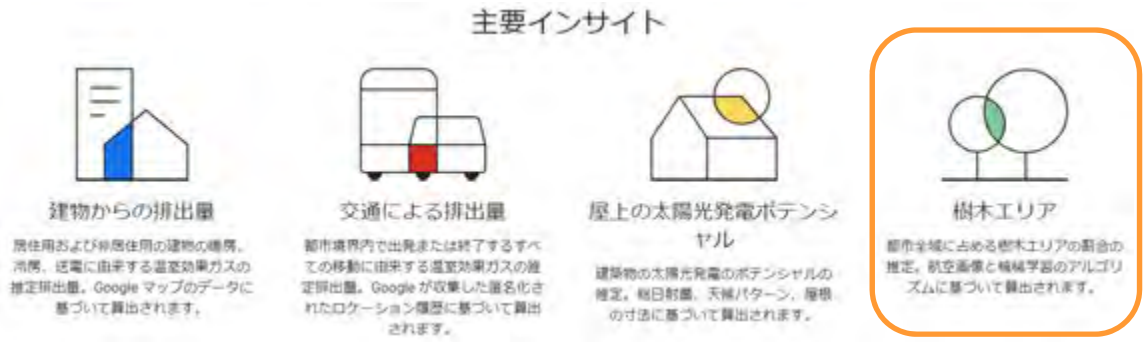
緑被率調査への活用可能性を検討するため、EIE の調査概要について整理した。Google EIE の HP（https://insights.sustainability.google/?hl=ja）を参照し、掲載内容を取りまとめた。

### （１）EIE の調査概要

EIE とは、Google が無料で公開しているデータベース兼分析ツールである。Google が所有するデータ（衛星画像など）とモデリング技術を活用し、温室効果ガス排出源の測定と分析を実施している。EIE は、排出量削減に向けた施策の立案を通して、より効果的な温暖化対策に取り組む都市や地域を支援することを目的に整備されている。公開されているデータベース兼分析ツールは、図表 3-1-1 で示す通りである。樹木エリアの算出以外に、建物や交通による温室効果ガス排出量、建築物の太陽光発電ポテンシャルの推定などがある。

本調査では、樹木エリアの算出結果について緑被率調査への活用可能性を検討した。

図表　3-1-1　EIE での主要インサイト




出所：Google EIE HP（https://insights.sustainability.google/?hl=ja）を基にアジア航測株式会社が作成

### （2）樹木エリアの算定方法

EIE では、航空写真を基に機械学習を使用して樹木エリアの密度を推定している。高解像度の航空写真画像のピクセルを「樹木」や「道路」などのさまざまな地形タイプに分類するよう AI モデルに学習させている。樹木エリアの割合は、都市やその近隣で「樹木」に分類されるピクセルの割合を推計した結果となる。

また、樹木エリアの算出時点は、航空写真画像の撮影時期により決まる。しかしながら、航空写真画像が撮影される頻度は都市によって異なる。また、必ずしも都市全体が同時に撮影されないため、樹木エリアの整備時点は、各都市で幅がある可能性がある。そのため、EIE の HP 上では、各都市の樹木エリアの推定値に反映された年数の範囲が示されている。

横浜市では、図表 3-1-2 に示す通り、市全域や一部の範囲で更新されたものを含めて 2019 年から概ね半年に 1 回程度の頻度で航空写真画像が更新されていた。更新時期は 3～5 月頃と 10～11 月頃に集中していた。樹木エリアの算出も同様の頻度になると考えられる。

**図表 3-1-2 2019 年からの画像更新状況（2025 年 2 月 28 日閲覧時点）**

| 更新回数 | 更新年月 |
|---|---|
| 1 | 2019 年 5 月 |
| 2 | 2019 年 11 月 |
| 3 | 2020 年 4 月 |
| 4 | 2020 年 10 月 |
| 5 | 2021 年 5 月 |
| 6 | 2021 年 11 月 |
| 7 | 2022 年 3 月 |
| 8 | 2022 年 11 月 |
| 9 | 2023 年 10 月 |
| 10 | 2024 年 3 月 |

※部分的な更新は除いている

**出所：「Google Earth」で確認した画像を基にアジア航測株式会社が作成**

### （3）樹木エリアの入手・使用方法

#### ア　入手方法

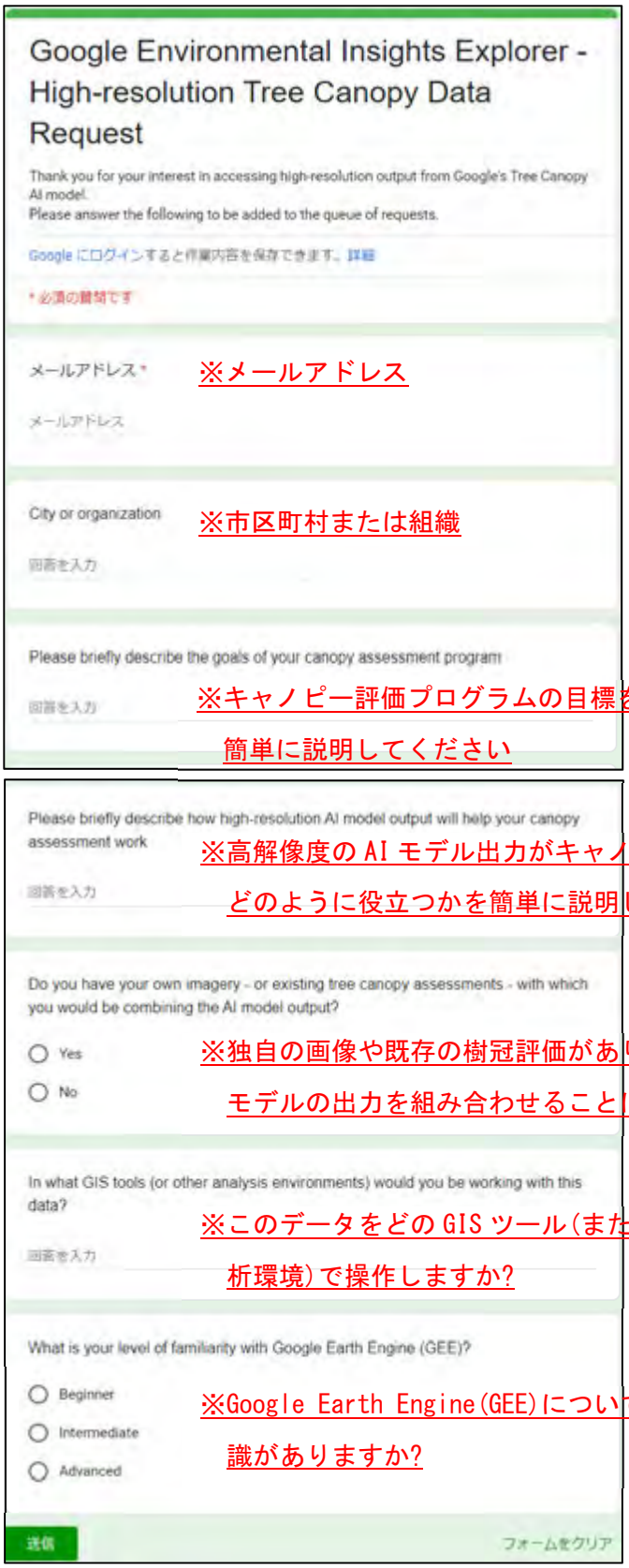
Google EIE の利用に関しては、HP 上より登録が必要となる（図表 3-1-3）。自治体職員と関連組織を対象とした早期プレビュー版を提供中（2024 年 10 月 17 日閲覧時点）であり、本調査に置いては横浜市を通じてデータを入手した。

図表　3-1-3　登録サイト（画面キャプチャ）

出所：横浜市 HP（https://www.city.yokohama.lg.jp/city-info/koho-kocho/press/green/2020/1015eie.html）

高解像度データの入手に当たっては、申請フォームよる申請が必要になる（図表 3-1-4）。

図表　3-1-4　データ入手用の申請フォーム

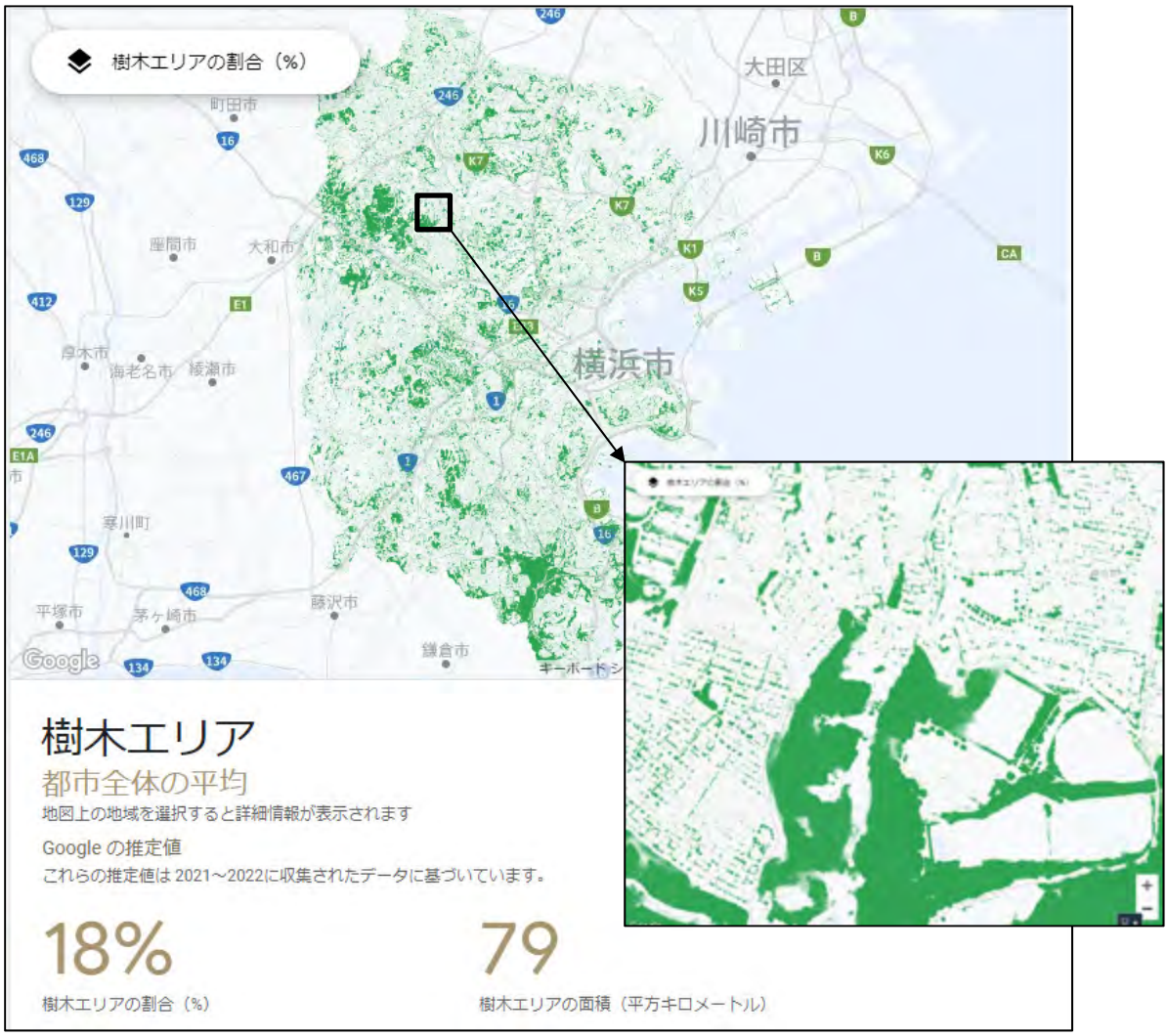



出所：横浜市 HP（https://www.city.yokohama.lg.jp/city-info/koho-kocho/press/green/2020/1015eie.html）

を基にアジア航測株式会社が作成

横浜市の樹木エリアデータは、2019 年度より EIE で公開されている。(公開開始年度は横浜市 HP：https://www.city.yokohama.lg.jp/city-info/koho-kocho/press/green/2020/1015eie.html より引用)。入手した樹木エリアデータを図表 3-1-5 に、諸元を図表 3-1-6 に示す。

図表　3-1-5　入手データ（EIE で公開されている樹木エリア）




出所：https://insights.sustainability.google/places/ChIJCWW2u-xbGGARAFQoYPaDlgY/trees?hl=ja
（2024/10/17 閲覧時点）を基にアジア航測株式会社が作成

図表　3-1-6　入手データの概要

| | |
|---|---|
| ファイル形式 | TIFF 形式 |
| 属性（入力されている）情報 | Rowid）0：樹木エリア以外、1：樹木エリア<br>VALUE）0：樹木エリア以外、1：樹木エリア（Rowid と同じ） |
| ピクセル解像度 | 0.2m×0.2m |
| 整備年 | 2021 年～2022 年 |

出所：アジア航測株式会社が作成

### イ　引用方法

データの利用に当たり、樹木エリアデータの推定値を直接使う場合は、下記Aのように出典情報を明記する必要がある。また、樹木エリアデータを加工・編集した場合であっては、下記Bのように明記が必要である。

A）　「出典: Google Environmental Insights Explorer　(<年 / 月>)」

B）　「出典: Google Environmental Insights Explorer から得た値を修正 (<年 / 月>)」

### ウ　EIEの使用に当たっての留意事項

樹木エリアデータは、時期・頻度、境界、調査手法などの理由から各自治体が公開している調査結果と異なる可能性があるため、利用にあたり留意が必要となる。一例を図表3-1-7に示す。

**図表　3-1-7　自治体の調査結果と数値が異なる理由の一例**

| 要因 | 理由 |
|---|---|
| 時期・頻度 | ・ 航空画像が撮影される頻度は都市によって異なり、同様に一般公開されている樹木エリアの調査を行う頻度も都市によって大きく異なる<br>・ そのため、Google の推定値と他の調査結果との違いは、樹木の経時的な増減を反映している可能性がある |
| 境界と陸地面積 | ・ Google の樹木エリアの推定値は、都市やその近隣で樹木に覆われた陸地面積の割合を表す<br>・ このため、都市によって境界が異なったり（例：公共の樹木エリア調査で都市境界内に含まれていない地域が追加または除外される）、陸地や水域の推定面積が異なったりすると、樹木エリアの推定面積も変わる場合がある |
| 調査手法 | ・ Google では、航空写真と機械学習を使用して、対象となるすべての都市の樹木エリアの面積を推定している<br>・ 自治体の樹木エリア調査では、航空画像、衛星画像、機械学習、点サンプリング、地上サンプリング、LiDAR など、さまざまな手法が使用されているため、各都市と Google の調査手法の違いにより、推定値が異なる場合がある |
| 機械学習上のエラー | ・ Google では機械学習システムのチェックを詳細に行っているものの、機械学習による誤判断もある<br>・ このため、樹木エリアの推定値を解釈する場合は、地図を使用して対象地域における樹木エリアの分類を視覚的に確認することが推奨される |

出所：https://insights.sustainability.google/places/ChIJCWW2u-xbGGARAFQoYPaDlgY/trees?hl=ja

（2024/10/17 閲覧時点）を基にアジア航測株式会社が作成

## 2　調査結果との比較

市全域から検討対象エリアを選定したうえで、入手した樹木エリアデータと第２章で整備した 300 ㎡以上の緑被地 GIS データを比較し、樹木エリアデータの抽出精度や緑被調査への活用可能性について検討した。

### （1）調査精度に関する比較

#### ア　対象エリアの設定

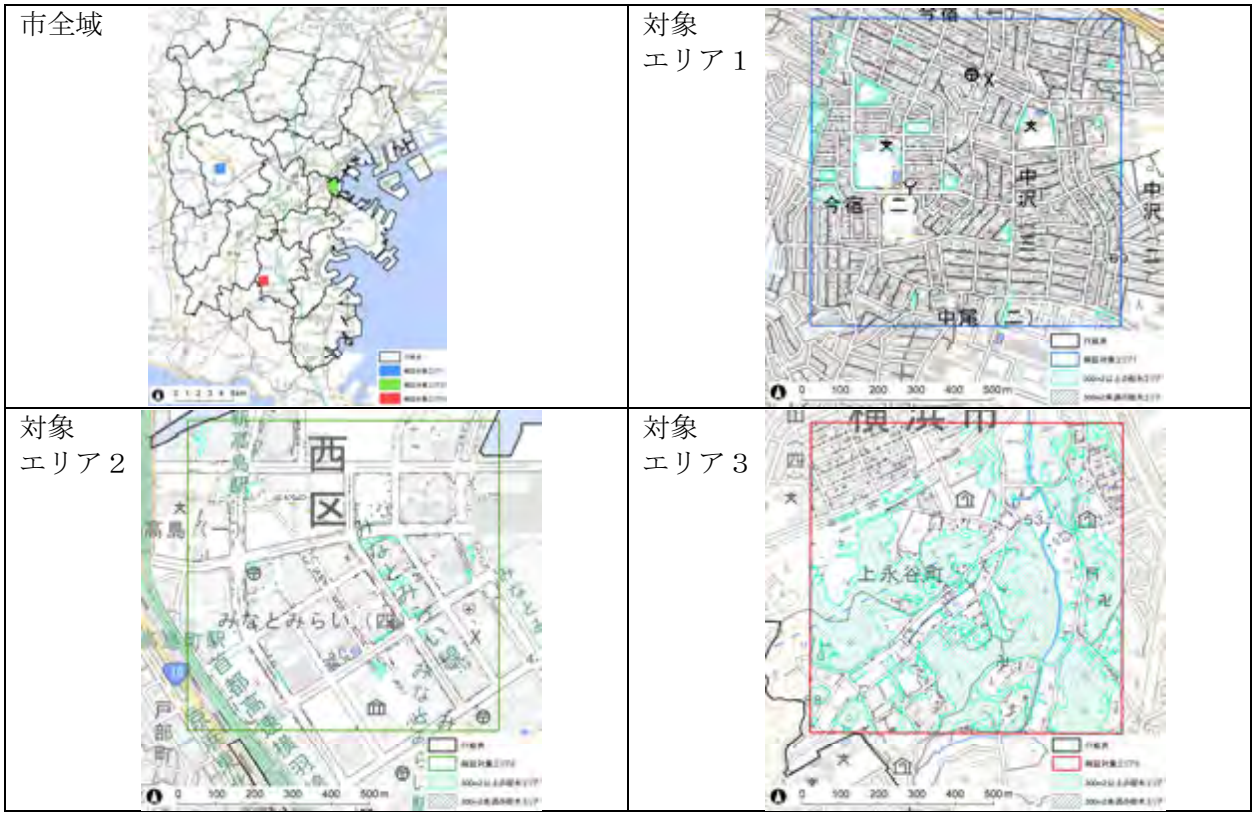
機械学習により推定された樹木データの抽出精度等を確認するため、市全域から緑被地の分布に特徴があると考えられるエリアを 3 箇所選定した。対象エリアは、横浜市緑地環境診断調査手法検討業務（横浜市, 令和 5 年 3 月）を参考に 1 $km^2$ の範囲を設定した。対象エリアを図表 3-2-1、図表 3-2-2 に示す。

図表　3-2-1　検証対象エリアと緑被の分布に関する特徴

| 対象エリア | 場所 | 緑被の分布に関する特徴 | 確認事項 |
|---|---|---|---|
| 1 | 旭区<br>今宿 | 市内で多く見られる住宅街 | 典型的住宅街と考えられる場所における抽出精度 |
| 2 | 西区<br>みなとみらい | 高層ビルが密集するオフィス街 | ビル影やビルの倒れこみの影響による抽出精度 |
| 3 | 港南区<br>上永谷町 | まとまった緑被地（樹林地、農地、草地）がモザイク的に分布する里山的な環境 | 大規模で複雑な形状の緑被地における境界部分の抽出精度 |

出所：アジア航測株式会社が作成

図表　3-2-2　対象エリアの分布（背景に地理院地図を使用）




出所：アジア航測株式会社が作成

### イ　検討対象データの整理

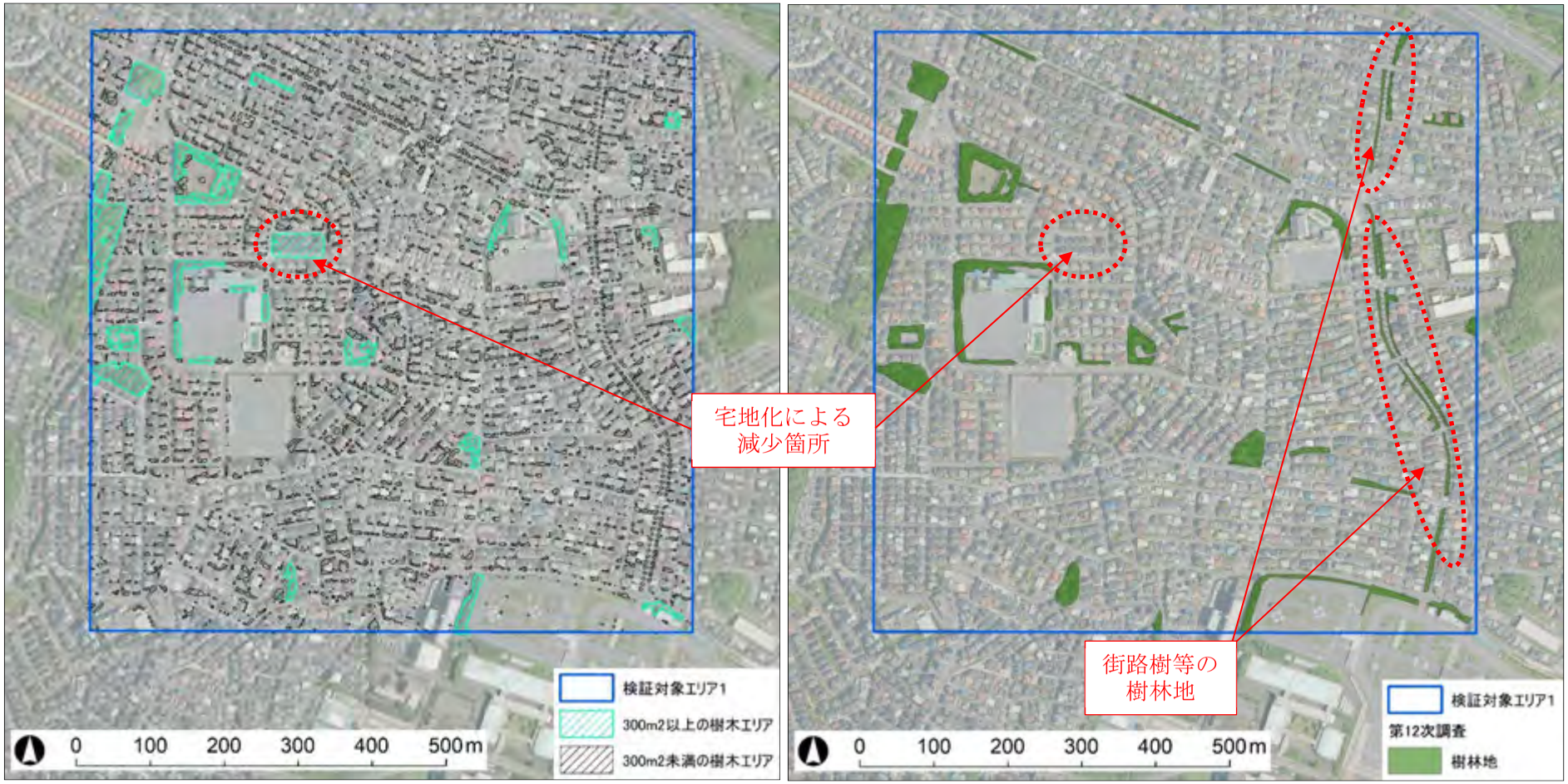
Google EIE による樹木データと緑被地 GIS データを比較するために、可能な限り条件を揃える必要がある。そのため、検討対象データとして、樹木データから 300㎡未満の樹木を除外し、第 2 章で整備した 300 ㎡以上の緑被地 GIS データから樹林地のみを抽出した。なお、Google EIE による樹木データは、2021～2022 に収集されたデータに基づくことから、第 11 次調査（2019 年撮影画像を使用）と第 12 次調査（2024 年撮影画像を使用）の中間にあたる。それぞれのデータは、整備時点が異なることに留意する必要がある。

### ウ　抽出精度に関する調査

対象エリアにおける Google EIE による樹木エリアの抽出精度を確認した。第 12 次調査の樹林地と分布状況を比較し、樹木エリアとの相違点とその要因を整理した。調査結果を図表 3-2-3～図表 3-2-5 に示す。

対象エリア１では、住宅街における樹林地の分布について抽出精度を確認した。Google EIE による樹木エリアは、整備時点の違いによる減少箇所や、住宅及び施設周りのまとまった庭木と道路沿いのまとまった街路樹等において第 12 次調査結果の樹林地と相違がみられた。後者のまとまった庭木や街路樹については、Google EIE でも樹木エリアとして抽出されていたが、すべてが 300 ㎡未満の単木となっていた。目視判読で“まとまった”樹林地としている基準（どの程度の密度があれば樹林地として取得するかという部分）を機械学習では上手く捉えられないことが要因と考えられる。

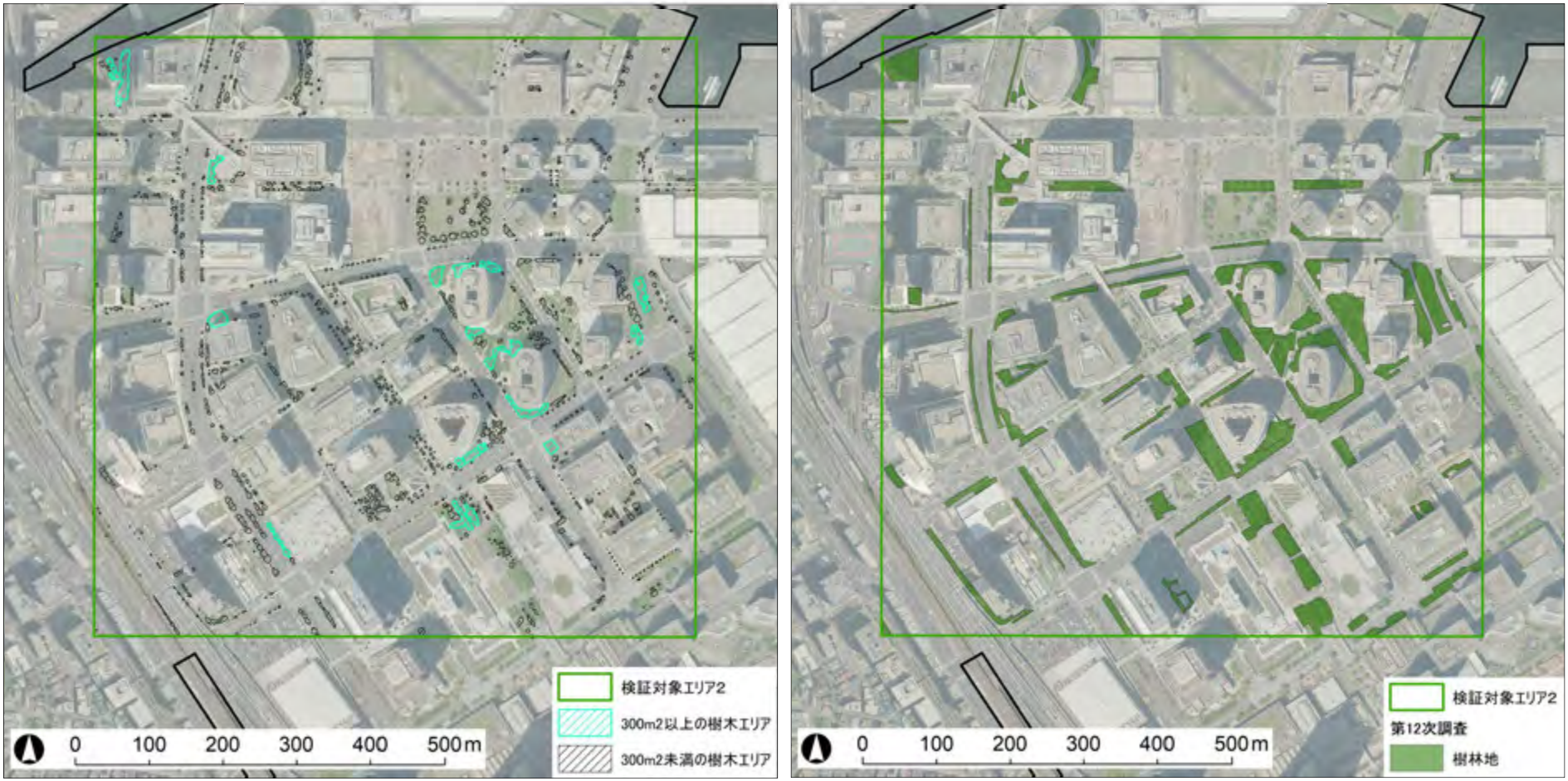
図表 3-2-3 対象エリア 1 における抽出精度の確認結果（左：Google EIE による樹木エリア、右：第 12 次調査による樹林地）




出所：アジア航測株式会社が作成

対象エリア２では、高層ビルが密集するオフィス街での分布について抽出精度を確認した。Google EIE による樹木エリアは、整備時点の違いによる減少箇所や、高層ビル周辺で第 12 次調査結果の樹林地と相違がみられた。Google EIE では 2021～2022 年の複数時期の画像を基に樹木エリアを推定しているため、高層ビルの倒れ込みや影に左右されることが少なく抽出されていた。一方、目視判読では、1 時期の画像を用いているため、高層ビルの倒れ込みや影により確認できない樹林地は前回から変更なしとしている。また、対象エリア 1 と同様の要因もみられたことから、樹木エリアよりも多く抽出されたと考えられる。

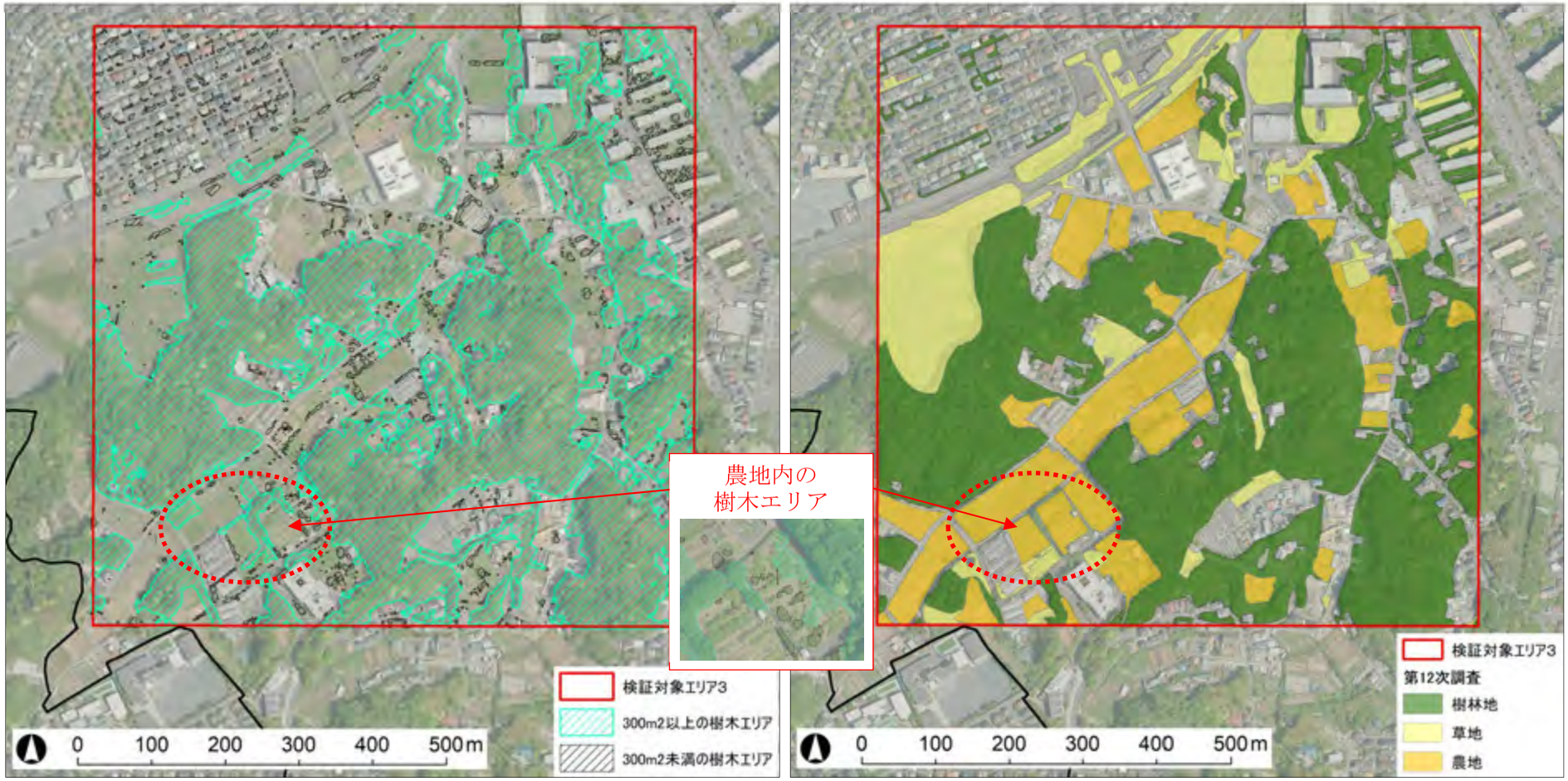
図表 3-2-4 対象エリア 2 における抽出精度の確認結果（左：Google EIE による樹木エリア、右：第 12 次調査による樹林地）




出所：アジア航測株式会社が作成

対象エリア３では、まとまった緑被地（樹林地、農地、草地）がモザイク的に分布する里山的な環境について抽出精度を確認した。Google EIE による樹木エリアは、整備時点の違いによる減少箇所や、農地内での抽出結果等で相違がみられた。後者は、農地内の低木とみられる範囲が取得されていた。Google EIE では機械学習による画像分類を樹木のみとしているため農地等その他の緑被地との境界は考慮されず、目視判読では樹木とまで判読されないような低木も抽出されていた。

図表 3-2-5 対象エリア 3 における抽出精度の確認結果（左：Google EIE による樹木エリア、右：第 12 次調査による樹林地）




出所：アジア航測株式会社が作成

### エ　面積集計に関する比較

Google EIE による樹木エリアと第 2 章で整備した 300 ㎡以上の樹林地について、市全域、18 区別、市街化区域/市街化調整区域別、用途地域別の面積と割合を比較した。比較に当たっては、区域区分別に両者の面積及び割合を集計し、整理した。ただし、樹木エリアと樹林地については、整備時点が異なるため、単純に比較できないことに留意する必要がある。

#### ①市全域

市全域で集計した結果、図表 3-2-6 に示す通りであった。Gogle EIE による樹木エリアと第 12 次調査時点の樹林地を比べると、樹木エリアの方が面積で約 1,000ha、割合で 2.3%程低くなっていた。

**図表　3-2-6　市全域の樹木エリアの比較**

| | | 面積(ha) | 割合(%) | 市全域面積(ha) | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|
| a) | 300 ㎡以上の樹木エリア（Google EIE より提供） | 6,197 | 14.2% | 43,650 | 2021～2022 に収集されたデータに基づき推定 |
| b) | 300 ㎡以上の樹林地（第 12 次調査時点） | 7,199 | 16.5% | | 2024 年 5 月撮影時点の航空写真を基に目視判読 |
| 差分（a-b） | | -1,001 | -2.3% | | |
| （参考） | | | | | |
| c) | 300 ㎡以上の樹林地（第 11 次調査時点） | 7,280 | 16.7% | | 2019 年 8 月撮影時点の航空写真を基に目視判読 |
| 差分（a-c） | | -1,082 | -2.5% | | |

※市全域面積は、令和 5 年度時点の値（km2 単位）（出典：第 103 回横浜市統計書）

**出所：「第 103 回横浜市統計書」を基にアジア航測株式会社が作成**

### ②18 区別

18 区別で集計した結果、図表 3-2-7 に示す通りであった。Gogle EIE による樹木エリアと第 12 次調査時点の樹林地を比べると、港北区が 105ha（-3.3%）と最も差が大きかった。一方で、瀬谷区が 8ha（-0.4%）と最も差が小さかった。

**図表　3-2-7　18 区別の樹木エリアの比較**

| 区名 | 区面積 (ha) | a）300 ㎡以上の **樹木エリア** (Google EIE) | | b）300 ㎡以上の樹林地 (第 12 次調査) | | 差分（a-b） | | （参考） c）300 ㎡以上の樹林地 (第11 次調査) | | 差分（a-c） | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 面積 (ha) | 割合 | 面積 (ha) | 割合 | 面積 (ha) | 割合 | 面積 (ha) | 割合 | 面積 (ha) | 割合 |
| 鶴見区 | 3,250 | 173 | 5.3% | 253 | 7.8% | -80 | -2.4% | 261 | 8.0% | -88 | -2.7% |
| 神奈川区 | 2,360 | 195 | 8.3% | 236 | 10.0% | -40 | -1.7% | 241 | 10.2% | -46 | -1.9% |
| 西区 | 700 | 30 | 4.3% | 52 | 7.4% | -22 | -3.1% | 50 | 7.1% | -20 | -2.8% |
| 中区 | 2,150 | 151 | 7.0% | 196 | 9.1% | -45 | -2.1% | 202 | 9.4% | -51 | -2.4% |
| 南区 | 1,270 | 108 | 8.5% | 138 | 10.8% | -30 | -2.4% | 139 | 11.0% | -31 | -2.5% |
| 港南区 | 1,990 | 222 | 11.2% | 289 | 14.5% | -67 | -3.4% | 296 | 14.9% | -74 | -3.7% |
| 保土ケ谷区 | 2,180 | 378 | 17.3% | 404 | 18.6% | -27 | -1.2% | 407 | 18.7% | -30 | -1.4% |
| 旭区 | 3,280 | 629 | 19.2% | 661 | 20.2% | -32 | -1.0% | 665 | 20.3% | -36 | -1.1% |
| 磯子区 | 1,900 | 306 | 16.1% | 362 | 19.0% | -56 | -2.9% | 365 | 19.2% | -59 | -3.1% |
| 金沢区 | 3,070 | 702 | 22.9% | 792 | 25.8% | -91 | -3.0% | 791 | 25.8% | -89 | -2.9% |
| 港北区 | 3,140 | 306 | 9.7% | 411 | 13.1% | -105 | -3.3% | 421 | 13.4% | -115 | -3.6% |
| 緑区 | 2,540 | 587 | 23.1% | 612 | 24.1% | -25 | -1.0% | 613 | 24.1% | -26 | -1.0% |
| 青葉区 | 3,520 | 474 | 13.5% | 577 | 16.4% | -103 | -2.9% | 590 | 16.8% | -115 | -3.3% |
| 都筑区 | 2,790 | 380 | 13.6% | 428 | 15.3% | -48 | -1.7% | 432 | 15.5% | -52 | -1.8% |
| 戸塚区 | 3,580 | 659 | 18.4% | 756 | 21.1% | -97 | -2.7% | 767 | 21.4% | -108 | -3.0% |
| 栄区 | 1,850 | 469 | 25.3% | 529 | 28.6% | -60 | -3.2% | 533 | 28.8% | -64 | -3.4% |
| 泉区 | 2,350 | 227 | 9.7% | 295 | 12.5% | -68 | -2.9% | 295 | 12.6% | -68 | -2.9% |
| 瀬谷区 | 1,710 | 201 | 11.7% | 208 | 12.2% | -8 | -0.4% | 213 | 12.4% | -12 | -0.7% |

※区面積は、令和 5 年度時点の値（km2 単位）（出典：第 103 回横浜市統計書）
※c）の割合は、平成 30 年度末時点の値（出典：第 98 回横浜市統計書）を基に算出した値
※a）は、2021～2022 に収集されたデータに基づき推定、b）は、2024 年 5 月撮影時点の航空写真を基に目視判読、c）は、2019 年 8 月撮影時点の航空写真を基に目視判読

**出所：アジア航測株式会社が作成**

### ③区域区分別

市街化区域と市街化調整区域別に集計した結果は図表 3-2-8 に示す通りであった。Gogle EIE による樹木エリアと第 12 次調査時点の樹林地を比べると、市街化区域の方が差が大きかった。また、市街化調整区域では、わずかに樹木エリアの面積が大きくなっていた。

**図表　3-2-8　市街化区域・市街化調整区域別の樹木エリアの比較**

| | 区域面積(ha) | a) 300 ㎡以上の樹木エリア(Google EIE) | | b) 300 ㎡以上の樹林地(第 12 次調査) | | 差分（a-b） | | c) 300 ㎡以上の樹林地(第 11 次調査) | | 差分（a-b） | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 面積(ha) | 割合 | 面積(ha) | 割合 | 面積(ha) | 割合 | 面積(ha) | 割合 | 面積(ha) | 割合 |
| 市街化区域 | 33,770 | 2,831 | 8.4% | 3,845 | 11.4% | -1,013 | -3.0% | 3,916 | 11.6% | -1,093 | -3.2% |
| 市街化調整区域 | 9,900 | 3,366 | 34.0% | 3,354 | 33.9% | 12 | 0.1% | 3,365 | 34.0% | 1 | 0.01% |

※区域面積は、令和 5 年度時点の値（km2 単位）（出典：第 103 回横浜市統計書）
※c)の割合は、平成 30 年度末時点の値（出典：第 98 回横浜市統計書）を基に算出した値

**出所：アジア航測株式会社が作成**

### ④用途地域別

用途地域別に集計した結果は図表 3-2-9 に示す通りであった。Gogle EIE による樹木エリアと第 12 次調査時点の樹林地を比べると、差は住居系（第 1 種低層住居専用地域～準住居地域）の方が大きく、特に第 1 種低層住居専用地域で 530ha（-4.0%）と最も差が大きかった。

**図表　3-2-9　用途地域別の樹木エリアの比較**

| | 用途地域面積(ha) | a)300 ㎡以上の樹木エリア(Google EIE) | | b) 300 ㎡以上の樹林地(第12次調査) | | 差分（a-b） | | c) 300 ㎡以上の樹林地(第11次調査) | | 差分（a-b） | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 面積(ha) | 割合 | 面積(ha) | 割合 | 面積(ha) | 割合 | 面積(ha) | 割合 | 面積(ha) | 割合 |
| 第 1 種低層住居専用地域 | 13,329 | 1,311 | 9.8% | 1,841 | 13.8% | -530 | -4.0% | 1,888 | 14.2% | -577 | -4.3% |
| 第 2 種低層住居専用地域 | 516 | 21 | 0.2% | 37 | 0.3% | -16 | -0.1% | 38 | 5.9% | -17 | -5.7% |
| 第 1 種中高層住居専用地域 | 2,700 | 367 | 2.8% | 565 | 4.2% | -198 | -1.5% | 571 | 20.9% | -204 | -18.2% |
| 第 2 種中高層住居専用地域 | 1,766 | 163 | 1.2% | 257 | 1.9% | -94 | -0.7% | 264 | 14.9% | -100 | -13.6% |
| 第 1 種住居地域 | 4,629 | 357 | 2.7% | 506 | 3.8% | -150 | -1.1% | 520 | 11.3% | -163 | -8.6% |
| 第 2 種住居地域 | 531 | 36 | 0.3% | 59 | 0.4% | -23 | -0.2% | 60 | 11.1% | -24 | -10.9% |
| 準住居地域 | 1,491 | 77 | 0.6% | 141 | 1.1% | -64 | -0.5% | 143 | 9.7% | -67 | -9.1% |
| 近隣商業地域 | 1,426 | 22 | 0.2% | 50 | 0.4% | -28 | -0.2% | 51 | 3.7% | -28 | -3.5% |
| 商業地域 | 1,928 | 31 | 0.2% | 67 | 0.5% | -36 | -0.3% | 66 | 3.4% | -35 | -3.2% |
| 準工業地域 | 1,836 | 41 | 0.3% | 78 | 0.6% | -37 | -0.3% | 80 | 4.4% | -39 | -4.1% |
| 工業地域 | 1,716 | 74 | 0.6% | 116 | 0.9% | -42 | -0.3% | 117 | 6.8% | -44 | -6.3% |
| 工業専用地域 | 1,831 | 116 | 0.9% | 126 | 0.9% | -10 | -0.1% | 126 | 6.8% | -10 | -5.9% |

**出所：アジア航測株式会社が作成**

### オ　比較結果のまとめ

検証対象エリアを踏まえた抽出精度の比較、面積集計の比較から、以下のような傾向や課題がみられた。

- 樹木エリアは 300 ㎡未満の単木の抽出精度が良いが、目視判読による樹林地と比較すると、樹木のまとまりを捉えきれない。そのため、目視判読の方が、樹林地が多く抽出されていた。それらは、必ずしも誤判読という訳ではなく、“まとまり”の基準が機械学習と目視で異なるといったことが課題である。
- 整備時点が異なるため樹木エリアと樹林地を単純に比較することはできないが、樹木エリアの方が面積は小さく、特に市街化区域内の住居系用途地域（第 1 種低層住居専用地域）で最も差があった。これは、上記の通り、庭木や街路樹などのまとまった樹林地が住居系に多く分布していると考えられるためである。
- Google EIE による樹木エリアは、複数時期のデータを基に推定しているため、建物の倒れ込みや影、落葉といった 1 時期による影響に左右されにくい。一方で、ある特定の 1 時期の画像を使っていないことにより樹木エリアの外形など正しいのかを目視で確認できないことが課題である。
- Google EIE による樹木エリアは、農地内の樹木も抽出していたことから、樹林地データと比べてさらに面積が小さくなる可能性がある。樹木エリアと農地・草地が重複する際の扱い（そのまま樹木を残すのか、農地を優先し機械的に除外するのかなど）や、低木の抽出精度の違いを考慮したうえで、集計結果を扱う必要がある。

### （２）緑被調査への活用可能性に関する検討

前項（１）の結果を踏まえ、次回以降の緑被率調査において、Google EIE による樹木エリアデータによる活用可能性を検討した。第 2 章で実施した調査項目と、現状で考えられる樹木エリアデータの活用範囲を図表 3-2-10 に示す。

緑被調査項目において、Google EIE による樹木エリアデータは複数時期のデータを基に推定され、比較的精度良く抽出されていたことから、300 ㎡以上の樹林地の代替となり得る可能性は十分にある。なお、10㎡以上の樹木も同様に活用可能と考えられる。

一方で、樹木のまとまりや低木などの抽出基準が目視判読と異なること、樹林地面積を集計すると全体的に第 12 次調査時点より小さい傾向がみられたこと、草地や農地データの整備・結合が必要なことなど、緑被率として用いる際にはそれらの点に留意して整理する必要がある。

さらに、緑被調査はこれまで概ね５年に１度実施としているが、Google EIE による樹木エリアデータの更新時期は不明確なため、調査にあたり常に最新の状況が取得できる訳ではない。また、Google Earth で確認できる画像と樹木エリアの整備時点が一致しないため、２時期の比較による増減要因の把握が困難な場合も考えられる。例えば、Google Earth 上では宅地造成中で減少箇所であるにも関わらず、樹木エリアデータが抽出されているなどが考えられる。

**図表　3-2-10　緑被調査の項目の整理と GoogleEIE による樹木エリアの活用可能性**

| 規模 | | 300㎡以上 | | |
|---|---|---|---|---|
| 緑被区分 | | 樹林地 | 草地 | 農地 |
| 集計区分 | 市全域 | ○ | × | × |
| | 18区別 | ○ | × | × |
| | 市街化区域/市街化調整区域別 | ○ | × | × |
| | 用途地域別 | ○ | × | × |
| 増減要因 | | △ | × | × |

**出所：アジア航測株式会社が作成**

# 調査研究委員会名簿

# 委員会名簿

| | | |
|---|---|---|
| 委員長 | 横田　樹広 | 東京都市大学環境学部環境創生学科　教授 |
| 委　員 | 花里　真道 | 千葉大学予防医学センター　准教授 |
| | 三島　由樹 | 株式会社フォルク　代表取締役/ランドスケープデザイナー |
| | 佐藤　智也 | 横浜市みどり環境局戦略企画課　担当課長 |
| | 黒澤　友博 | 一般財団法人地方自治研究機構　法制執務部長兼研修部長 |
| ヒアリング協力者 | 前野　隆司 | 慶応義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科教授/武蔵野大学ウェルビーイング学部長 |
| 事務局 | 今村　隆 | 横浜市みどり環境局戦略企画課　担当係長 |
| | 堀　友香 | 横浜市みどり環境局戦略企画課　みどり政策調整担当 |
| | 野場　和希 | 横浜市みどり環境局戦略企画課　みどり政策調整担当 |
| | 山本　史門 | 一般財団法人地方自治研究機構　主任研究員 |
| | 杉浦　海輝 | 一般財団法人地方自治研究機構　研究員 |

（順不同・敬称略）

緑地の増減要因の分析と対策に向けた調査研究

－令和７年３月発行－

横浜市　みどり環境局　戦略企画課
〒231-0005
神奈川県横浜市中区本町6-50-10
電話 045-671-2121(代表)

一般財団法人　地方自治研究機構
〒104-0061
東京都中央区銀座7-14-16　太陽銀座ビル２階
電話 03-5148-0661(代表)

リサイクル適性Ⓐ
この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。